

MUTOH
創造、大切にします

取扱説明書

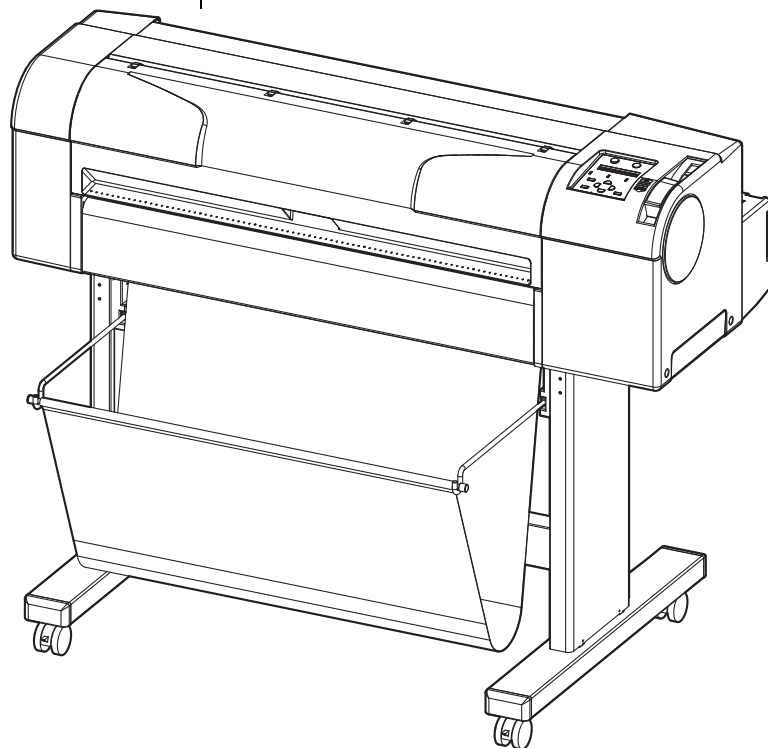
OPERATION
MANUAL

Full-Color Inkjet Plotter

DrafStation

フルカラー・インクジェットプロッタ

RJ-901X
RJ-900X



ご使用前に必ずお読みください

管理 No.	RJ900XJ-A-05
--------	--------------

重要なお知らせ

この装置は、クラス A 機器です。
この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

1. 受信障害について

この製品は弱い電波を出すので正しく設置・使用されていない場合には、ラジオやテレビの受信障害の原因となることがあります。
もしもこの製品がラジオ・テレビ受信の障害原因と思われましたら、次の方法を組み合わせて防止してください。

- 受信アンテナやフィーダの方向を変えてみる
- この製品の使用方向を変えてみる
- 受信機とこの製品の距離を変えてみる
- この製品と受信機とは別系統の電源ラインを使用してみる

2. 本書記載の商標

- MUTOH、Draf Station、RJ-901X、RJ-900X、MH-RTL、RTL-PASS は、武藤工業株式会社の商標および商品名です。
- Windows 10、Windows 8.1 は、米国マイクロソフト社の商標もしくは商品名です。
- 各社名、各機種名は、各社の商標もしくは商品名です。

注 記

- 本製品および本書の内容の全部または一部を個人で使用する他は、著作権者である弊社の承諾を得ずに複写・複製・転載することを禁止します。
 - 本製品や本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
 - 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡くださいますようお願い申し上げます。
 - 本製品および本書を運用した結果につきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
-

本書について

1. 本製品のマニュアル構成

本製品のマニュアルは、次の3部構成となっています。

設置要領書

本製品の開梱、設置、使用前の準備までの作業手順について説明しています。

プリンタ・アクティベーションガイド

本製品の初回起動時に行う作業の手順を説明しています。

取扱説明書（本書）

本製品の使用前の準備、日常の使用方法、応用的な機能の使用方法などについて説明しています。

2. 本書の目的と対象者

本書は、武藤工業株式会社のフルカラー・インクジェットプロッタ（RJ-901X、RJ-900X）の使用前の準備、日常の使用方法等について説明しています。

本書は、本製品を所有する人、使用するユーザーを対象として作成しています。

本製品を使用する場合は、本書の内容および指示を理解した上で、作業を行ってください。

3. 本書の構成






セクション	内容
1 安全に関する事項	この章では、本製品の設置および操作を行う人が知っておかなければならない警告用語の使い分け、守るべき注意事項、製品本体に貼ってある警告ラベルについて説明します。
2 製品の概要	この章では、本製品の各部の名称および機能について説明します。
3 使用前の準備	この章では、本製品の使用前に必要な作業手順について説明します。
4 操作方法	この章では、本製品の操作方法について説明します。
5 保守	この章では、本製品の日常行うべき保守の内容について説明します。
6 トラブルシューティング	この章では、本製品を使用中に起きることが予想されるトラブル事例と、対処方法について説明します。
7 付録	この章では、本製品の各仕様、オプション・サプライ用品、ユーザサポートについて説明します。

注 記

- 「1 安全に関する事項」～「4 操作方法」については、本製品の使用前に必ずお読みください。
- 「5 保守」～「7 付録」については、必要に応じて各項目をお読みください。

4. 本書の表記について

本書では、情報の意味をわかりやすくするため、以下の記号を使用して表記しています。

警告用語	意味
 警 告	回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用します。
 注 意	回避しないと軽傷または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状況の場合、または機器・装置が損傷する場合に使用します。
注 記	とくに注意を促したり、強調したい情報について使用します。
参 考	操作を行うときあるいは、装置に対する理解を深める上で参考になる事柄を示します。
	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
	操作を行うときに参照する本文中の箇所を示します。

目次

1 安全に関する事項

1.1	警告用語の種類と意味	1-2
1.2	安全遵守事項	1-3
1.3	警告ラベル	1-6
1.3.1	警告ラベルの取扱い上の注意	1-6
1.3.2	警告ラベルの貼付位置と種類	1-6
1.4	操作説明ラベル	1-7
1.4.1	操作説明ラベルの取扱い上の注意	1-7
1.4.2	操作説明ラベルの貼付位置と種類	1-7

2 製品の概要

2.1	特長	2-2
2.2	各部の名称と機能	2-3
2.2.1	正面部 (RJ-901X)	2-3
2.2.2	正面部 (RJ-900X)	2-4
2.2.3	背面部 (RJ-901X)	2-5
2.2.4	背面部 (RJ-900X)	2-6
2.2.5	操作パネル	2-7
2.2.6	インジケータ表示	2-10
2.2.6.1	インジケータ表示の内容	2-11
2.3	動作の概要	2-12
2.3.1	通常状態	2-12
2.3.2	設定メニュー表示状態	2-12
2.3.3	動作状態の切替え方法	2-12

3 使用前の準備

3.1	電源ケーブルの接続	3-2
3.2	電源を ON/OFF する方法	3-6
3.2.1	電源を ON する方法	3-6
3.2.2	電源を OFF する方法	3-7
3.3	インクカートリッジの取付け	3-9
3.4	用紙の取付け	3-12
3.4.1	ロール紙の取付け	3-12
3.4.2	ロール紙のセット方法	3-15
3.4.3	カット紙のセット方法	3-20
3.4.4	加圧アームの一部を機能解除する	3-25

3.4.5	用紙種類の設定手順	3-26
3.5	テスト作画	3-29
3.5.1	設定内容作画	3-31
3.5.2	ノズルチェック	3-32
3.5.3	パレット作画	3-33
3.5.4	メンテナンスステータス作画	3-34
3.6	コンピュータとの接続	3-35
3.6.1	システム条件の確認	3-35
3.6.2	接続ケーブルの準備	3-35
3.6.3	ネットワーク・インターフェースケーブルの接続	3-36
3.6.4	USB ケーブルの接続	3-37
3.6.5	IP アドレスの設定	3-39
3.7	プロッタドライバのインストール・アンインストール	3-41
3.7.1	プロッタドライバについて	3-41
3.7.2	プロッタドライバのインストール手順（ネットワーク接続の場合）	3-42
3.7.3	プロッタドライバのインストール手順（USB 接続の場合）	3-50
3.7.4	ソフトウェアのアンインストール	3-57
3.7.5	印刷設定の既定値を変更する	3-61
3.7.6	優先されるドライバの設定	3-63
3.7.7	LPR ポートの作成	3-64
4	操作方法	
4.1	作画までの流れ	4-2
4.2	用紙について	4-3
4.2.1	用紙種類	4-3
4.2.2	用紙の取扱上の注意	4-4
4.2.3	用紙の保管時の注意	4-4
4.2.4	作画領域	4-5
4.2.5	ヘッド高さ調整	4-6
4.3	排紙トレイのセット	4-8
4.4	プロッタドライバの設定	4-9
4.4.1	プロッタドライバの設定方法	4-9
4.4.2	プロッタドライバの設定項目	4-9
4.4.2.1	基本設定メニュー	4-10
4.4.2.2	詳細設定メニュー	4-11
4.4.2.3	オプションメニュー	4-12
4.4.2.4	環境設定メニュー	4-13
4.4.2.5	ユーティリティメニュー	4-14
4.5	操作パネルのメニュー設定	4-15
4.5.1	設定メニューの項目	4-15
4.5.1.1	テスト作画メニュー	4-16
4.5.1.2	用紙設定メニュー	4-16
4.5.1.2.1	用紙種類項目で専用指定紙に設定した場合	4-19
4.5.1.2.2	用紙種類項目で「ユーザ用紙1～4」に設定した場合	4-21
4.5.1.2.3	用紙送り補正メニュー	4-23
4.5.1.2.4	画質微調整	4-29

4.5.1.2.5	画質微調整値の初期化	4-34
4.5.1.3	コマンド設定メニュー	4-37
4.5.1.4	ペン設定メニュー	4-38
4.5.1.4.1	ペン優先項目で「パネル」に設定した場合	4-39
4.5.1.5	レイアウト設定メニュー	4-40
4.5.1.6	機能設定メニュー	4-42
4.5.1.7	ネットワーク設定メニュー	4-43
4.5.1.8	ユーティリティメニュー	4-44
4.5.1.8.1	初期化項目で「する」に設定した場合	4-47
4.5.1.8.2	プリフィード量メニュー	4-47
4.5.1.8.3	待機オートクリーニング	4-47
4.5.1.8.4	作画中オートクリーニング	4-48
4.5.1.8.5	作画開始前オートクリーニング	4-48
4.5.1.8.6	クリーニング種類	4-48
4.5.1.8.7	フラッシングリターン回数メニュー	4-49
4.5.1.9	利用状況表示メニュー	4-49
4.5.1.10	クリーニングメニュー	4-50
4.5.2	メニュー設定手順	4-51
4.6	操作パネルからの各種操作	4-54
4.6.1	用紙送り	4-54
4.6.2	作画動作の中断	4-55
4.6.3	用紙のカット	4-56
4.6.4	作画モードの選択	4-57
4.6.5	用紙送り補正の変更	4-58
4.6.6	作画の一時停止	4-59
5	保守	
5.1	消耗品の交換	5-2
5.1.1	インクカートリッジの交換	5-2
5.1.2	ロール紙の交換	5-6
5.1.3	カッターの交換	5-10
5.1.4	廃液ボックスの交換	5-17
5.1.5	フラッシングボックス用吸収材の交換	5-20
5.2	清掃	5-26
5.2.1	製品外装の清掃	5-26
5.2.2	製品内部の清掃	5-27
5.2.3	ヘッドクリーニング	5-29
5.2.4	クリーニングワイパの清掃	5-30
5.3	輸送・移動	5-35
5.3.1	移動の方法	5-35
5.3.2	輸送の方法	5-38

6 トラブルシューティング

6.1	製品の異常・故障	6-2
6.1.1	設置・導入時のトラブル.....	6-2
6.1.1.1	ドライバをインストールする前に USB 接続してしまったとき.....	6-4
6.1.2	全く作画しない場合.....	6-5
6.1.3	用紙に関するトラブル.....	6-7
6.1.4	作画に関するトラブル.....	6-10
6.2	表示の詳細	6-12
6.2.1	動作状態表示.....	6-12
6.2.2	メッセージ型エラー表示と対処方法.....	6-13
6.2.3	データエラー表示と対処方法.....	6-14
6.2.4	コマンドエラー表示と対処方法.....	6-15
6.2.5	再起動が必要なエラー.....	6-16
6.3	用紙が詰まった場合	6-17
6.3.1	ロール紙の場合.....	6-17
6.3.2	カット紙の場合.....	6-20

7 付録

7.1	製品仕様	7-2
7.1.1	本体仕様.....	7-2
7.1.2	作画動作仕様.....	7-4
7.1.2.1	作画動作仕様.....	7-4
7.2	インターフェース仕様	7-6
7.2.1	USB インターフェース仕様.....	7-6
7.2.2	ネットワーク・インターフェース仕様.....	7-7
7.3	オプション・サプライ用品リスト	7-8
7.3.1	オプション.....	7-8
7.3.2	サプライ用品.....	7-8
7.4	ユーザサポート	7-12
7.4.1	製品に関するお問い合わせ窓口.....	7-12
7.4.2	テクニカルサポート連絡窓口.....	7-12
7.4.3	保守・修理に関するお問い合わせ窓口.....	7-13

1 安全に関する事項



この章では、本製品の設置および操作を行う人が知っておかなければならない警告用語の使い分け、守るべき注意事項、製品本体に貼ってある警告ラベルについて説明します。



- 本製品の設置および操作を行う場合は、必ず本書の指示・警告に従ってください。

1.1 警告用語の種類と意味















取扱説明書に記載している警告表示、および製品本体に貼り付けてある警告ラベルの内容を危険度の高さ（または事故の大きさ）に応じて、次の3段階に分類しています。以下の、警告用語が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

警告用語	意味
 警告	回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用します。
 注意	回避しないと軽傷または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状況の場合、または機器・装置が損傷する場合に使用します。
注記	とくに注意を促したり、強調したい情報について使用します。

1.2 安全遵守事項

本製品を安全に使用するために、守らなければならない一般的な注意事項について説明します。

警告

-  本装置を以下の場所には設置しないでください。転倒・転落により、けがをする恐れがあります。
 - ぐらついた台の上
 - 傾いている場所
 - 他の機械等の振動が伝わる場所
-  本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。転倒・転落によりけがをする恐れがあります。
-  毛布やテーブルクロスのような布を本製品にかけ、通風孔をふさがないようにください。通風孔をふさぐと本体内部に熱がこもり、火災の恐れがあります。
-  湿気やホコリの多い場所に設置しないでください。感電・火災の恐れがあります。
-  破損した電源ケーブルを使用しないでください。感電・火災の原因になります。
-  濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
-  以下の場所には、アース線を接続しないでください。
 - ガス管
引火や爆発する恐れがあります。
 - 電話線用アース線および避雷針
落雷時に大量の電流が流れる可能性があります。
 - 水道管および蛇口
配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。
-  通風口などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差込んだり、落としたりしないでください。感電・火災の原因となります。
-  異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。感電・火災の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、「[7.4.2 テクニカルサポート連絡窓口](#)」までご連絡ください。
-  オプションを取付けるときは、必ず本製品の電源を OFF にして、電源プラグも抜いてください。感電の恐れがあります。
-  各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されているとおりに配線してください。配線を誤ると、火災の恐れがあります。
-  必ず同梱品の電源ケーブルを使用してください。同梱品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。
-  必ず指定の電源（AC 100V）を使用してください。指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。
-  電源コンセント（AC 100V）から直接電源を取ってください。蛸足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。



電源は必ずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。

注意

電源ケーブルを取扱う場合は、以下の点に注意してください。

- 電源ケーブルを加工しないこと。
- 電源ケーブルの上に重いものを載せないこと。
- 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないこと。
- 電源ケーブルを熱器具の近くに配線しないこと。



電源プラグを取扱う場合は、以下の事項に注意してください。取扱いを誤ると火災の原因となる恐れがあります。

- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差込まない
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差込む



インクカートリッジ、廃液ボックスを取扱うときは、保護具(手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護マスク、保護衣)を着用してください。目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。



インクカートリッジを分解しないでください。分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着する恐れがあります。



製品の初期動作中は、用紙セットレバーを操作しないでください。キャリッジ部と加圧ローラ部が干渉し、故障する恐れがあります。



シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。塗装を傷める原因となります。



製品内部に水気が入らないように注意してください。製品内部の電気回路がショートする恐れがあります。



ネジで固定してあるカバー類は、絶対に開けないでください。感電または故障する恐れがあります。



カッターの刃先には触れないでください。けがをする恐れがあります。



カッターの刃先を硬いものに当てたり、カッターを落としたりしないでください。カッター刃が傷ついたり、欠けたりする恐れがあります。



製品本体を傾けたり、立てかけたり、上下を逆にしないでください。製品内部のインクが漏れる恐れがあります。また移動後の正常動作が保証できません。



本製品を開梱または移動させる場合は、必ず次の人数で作業してください。

- RJ-901X : 2人以上
- RJ-900X : 3人以上










本製品を梱包箱から取出すときは、必ずビニールを外し、製品側面の取っ手を持ってください。ビニールを付けたままを持ち上げると、手を滑らせて落下、破損させる恐れがあります。



専用スタンドを本製品に取付ける場合は、必ず次の人数で作業してください。

- RJ-901X : 2人以上
- RJ-900X : 3人以上

-  専用スタンドを取付けるときは、必ず本製品の電源を OFF にして、電源プラグも抜いてください。感電の恐れがあります。
-  本製品を長期間使用しない場合は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
-  アース線は、必ず以下の規格を満たすアース線に接続してください。
 - 電源コンセントのアース端子
 - 銅片を深さ 650mm 以上の地中に埋めたアース線
 - D 種接地工事を行っている接地端子
-  ロール紙は、机の上などの平らな場所に置いた状態でセットしてください。スクローラを立てた状態でロール紙のセットを行うと、スクローラが破損する恐れがあります。
-  清掃を行うときは、必ず電源を OFF して、電源プラグをコンセントから抜いてください。
-  製品は水平の状態を保ったまま移動させてください。
-  この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。

1.3 警告ラベル

警告ラベルの取扱い、貼付位置、種類について説明します。
本製品には、特に注意を要する個所に警告ラベルが使用されています。これらの正確な位置および危険の内容について、十分に理解をしたうえで作業を行ってください。

1.3.1 警告ラベルの取扱い上の注意

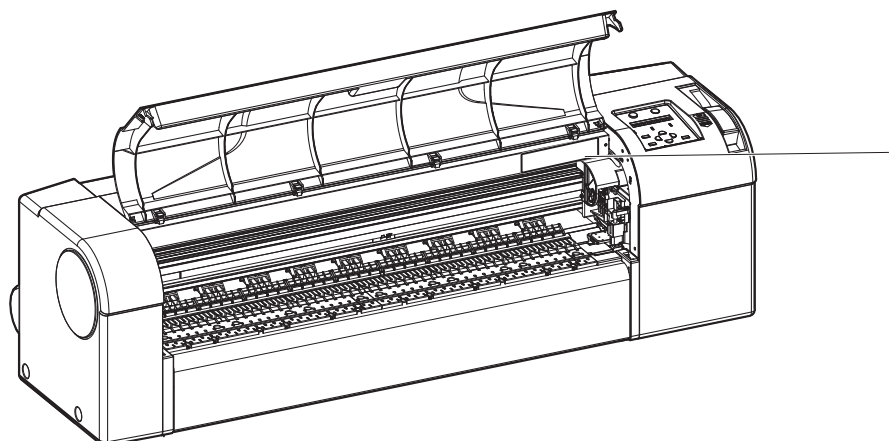
警告ラベルを取扱うときは、以下の点に注意してください。

注 記

- 警告ラベルが全て読めるか確認してください。文字やイラストが見えない場合は、ラベルの汚れを落としてください。
- 警告ラベルの汚れ落としには、布、水、中性洗剤を使用してください。有機溶剤やガソリンなどは使用しないでください。
- 警告ラベルの損傷、紛失、読めない場合は、ラベルを交換する必要があります。警告ラベルの交換が必要な場合は、「[7.4.1 製品に関するお問い合わせ窓口](#)」にご連絡ください。

1.3.2 警告ラベルの貼付位置と種類

警告ラベルの貼付位置を次図に示します。



番号	警告ラベルの種類
1	

1.4 操作説明ラベル

操作説明ラベルの取扱い、貼付位置、種類について説明します。
本製品には、操作するうえで特に注意すべき事項について、操作方法を簡単に説明した操作説明ラベルを貼付しています。これらの正確な位置や内容について、十分に理解をしたうえで作業を行ってください。

1.4.1 操作説明ラベルの取扱い上の注意

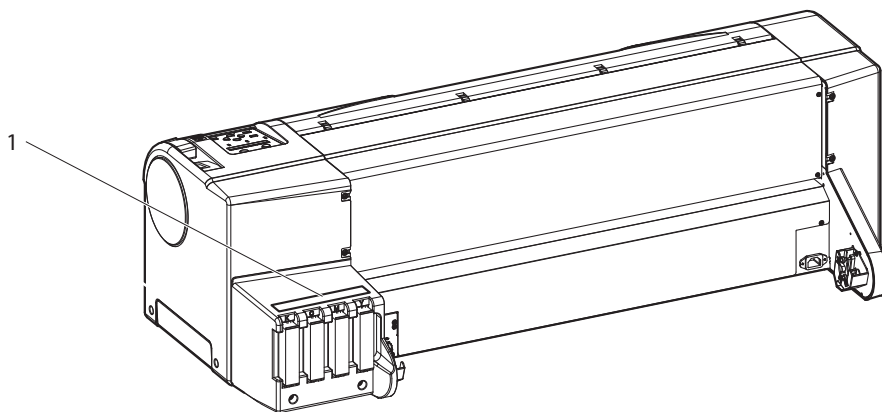
操作説明ラベルを取扱うときは、以下の点に注意してください。

注 記

- 操作説明ラベルが全て読めるか確認してください。文字やイラストが見えない場合は、ラベルの汚れを落としてください。
- 操作説明ラベルの汚れ落としには、布、水、中性洗剤を使用してください。有機溶剤やガソリンなどは使用しないでください。
- 操作説明ラベルの損傷、紛失、読めない場合は、ラベルを交換する必要があります。操作説明ラベルの交換が必要な場合は、「[7.4.1 製品に関するお問い合わせ窓口](#)」にご連絡ください。

1.4.2 操作説明ラベルの貼付位置と種類

操作説明ラベルの貼付位置を次図に示します。



番号	操作説明ラベル種類	参照
1	<p>インクを取り扱うときは保護具を着用してください。</p>	3.3 インクカートリッジの取付け 5.1.1 インクカートリッジの交換 5.1.4 廃液ボックスの交換 5.1.5 フラッシングボックス用吸収材の交換

2 製品の概要

この章では、本製品の特長、各部の名称および機能について説明します。

2.1 特長

本製品の主な特長について説明します。

(1) 高解像度画質

ヘッドには高画質、高品質で実績のあるオンデマンドピエゾヘッドを採用。1440dpi、2880dpi（位置指定）を実現することで、CAD 図面で求められる、線画からイメージまでシャープで細密な表現が可能です。

(2) ヘッド分離型インクカートリッジ

インク部とヘッド部の分離型カートリッジを採用。インク交換時に手を汚す心配がありません。

また、線画で多用するブラックインクには、顔料系インクを採用。従来対応が難しかったトレーシングペーパーや上質紙等への親和性を向上させるとともに、耐候性も向上しました。

(3) 薄紙の搬送性能が向上

用紙の加圧アームを部分的に解除する機能を搭載。薄紙を使用する際の不具合が起きにくくなりました。

(4) 作業効率の向上

本体前面からロール紙（RJ-901X のみ）やカット紙のセッティング、インクカートリッジの交換が可能になりました。

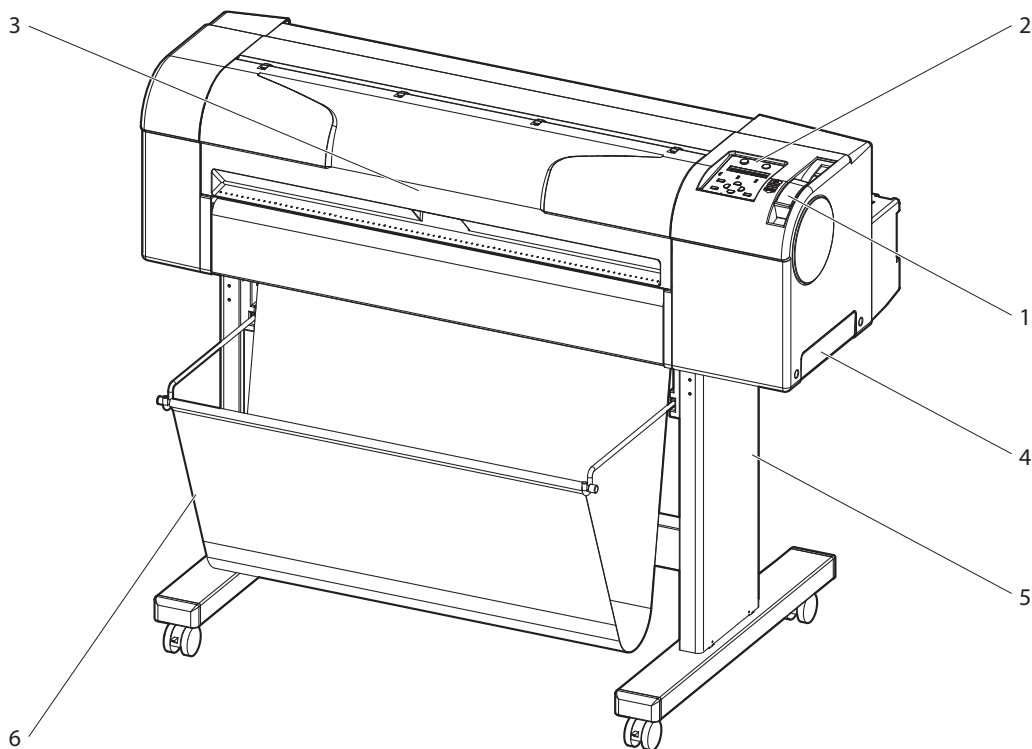
(5) 操作性の向上

プロッタ本体の設定は、本体に装備されている液晶パネルで簡単に設定できます。また、Windows ドライバのプロパティ画面は、印刷に必要な設定を一つの画面に集約し、少ない操作で最適な印刷をすることができます。

2.2 各部の名称と機能

各部の名称とその機能について説明します。

2.2.1 正面部 (RJ-901X)

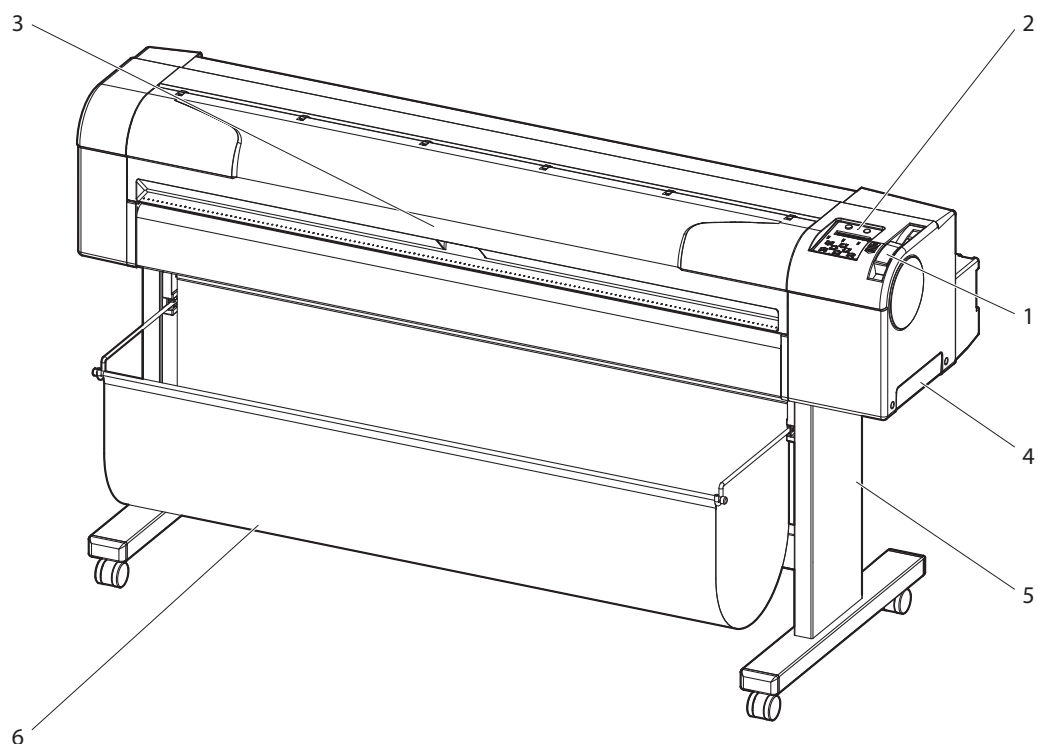


番号	名称	機能
1	用紙セットレバー	用紙を固定または解除するレバーです。
2	操作パネル	動作条件の設定、プロッタの状態表示、各種機能の設定を行います。
3	フロントカバー	本製品の動作中に、使用者を駆動部から保護するためのカバーです。消耗品交換時や紙詰まり時に開閉します。通常は閉じておきます。
4	廃液ボックス	製品から排出された廃インクを貯めておくためのボックスです。

オプション品

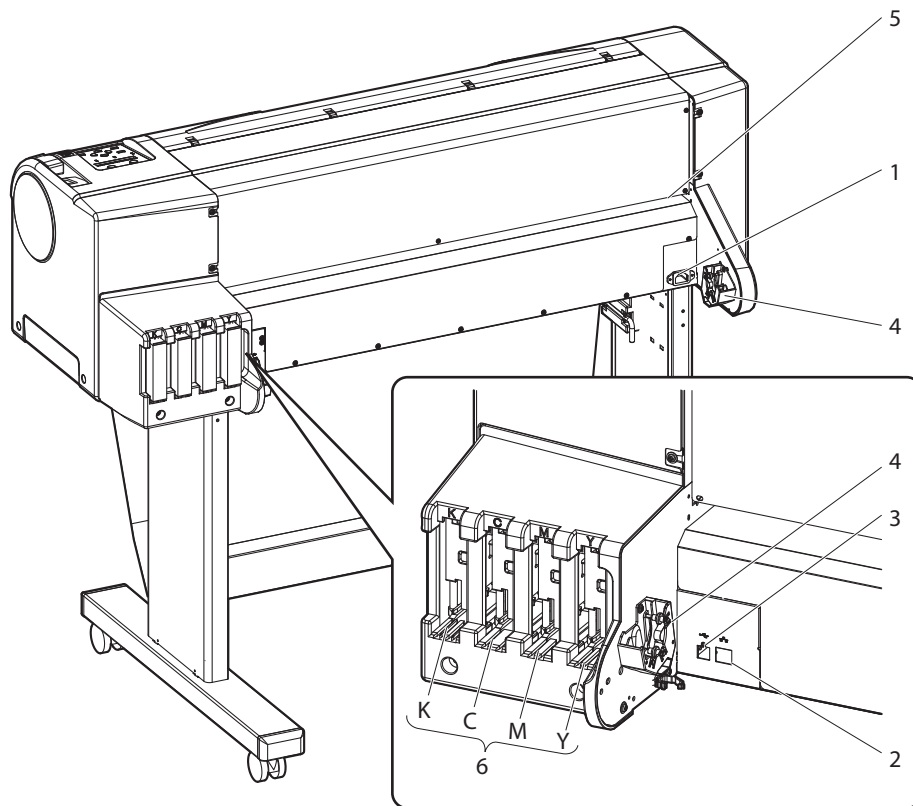
番号	名称	機能
5	専用スタンド	本製品を水平な床の上に設置する場合に使用します。
6	排紙トレイ	専用スタンドの一部です。排出された用紙を保持します。

2.2.2 正面部 (RJ-900X)



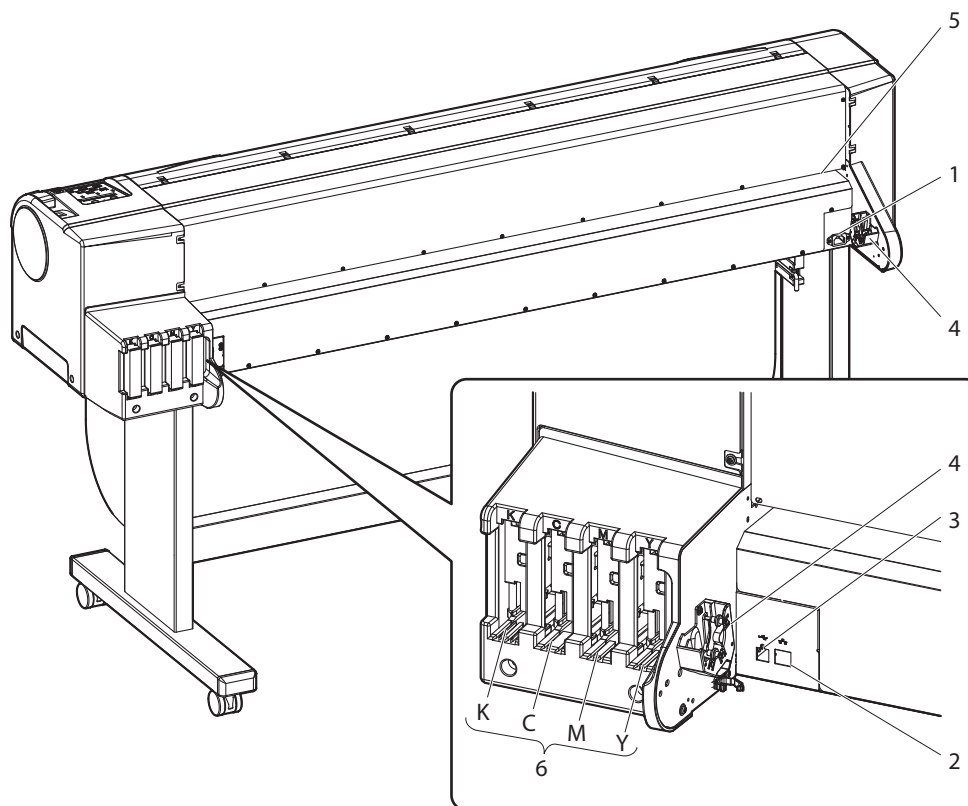
番号	名称	機能
1	用紙セットレバー	用紙を固定または解除するレバーです。
2	操作パネル	動作条件の設定、プロッタの状態表示、各種機能の設定を行います。
3	フロントカバー	本製品の動作中に、使用者を駆動部から保護するためのカバーです。消耗品交換時や紙詰まり時に開閉します。通常は閉じておきます。
4	廃液ボックス	製品から排出された廃インクを貯めておくためのボックスです。
5	専用スタンド	本製品を水平な床の上に設置する場合に使用します。
6	排紙トレイ	専用スタンドの一部です。排出された用紙を保持します。

2.2.3 背面部 (RJ-901X)



番号	名称	機能
1	AC インレット	電源ケーブルのプラグを差込みます。
2	ネットワーク・インターフェイスコネクタ	ネットワーク・インターフェースケーブルを接続するコネクタです。
3	USB コネクタ	USB2.0/1.1 ケーブルを接続するコネクタです。
4	スクローラ受け	ロール紙使用時にスクローラをセットします。
5	給紙スロット	用紙セット時に、用紙を差込むための給紙口です。
6	インクカートリッジスロット	インクカートリッジを装着します。

2.2.4 背面部 (RJ-900X)



番号	名称	機能
1	AC インレット	電源ケーブルのプラグを差込みます。
2	ネットワーク・インターフェイスコネクタ	ネットワーク・インターフェイスケーブルを接続するコネクタです。
3	USB コネクタ	USB2.0/1.1 ケーブルを接続するコネクタです。
4	スクローラ受け	ロール紙使用時にスクローラをセットします。
5	給紙スロット	用紙セット時に、用紙を差込むための給紙口です。
6	インクカートリッジスロット	インクカートリッジを装着します。

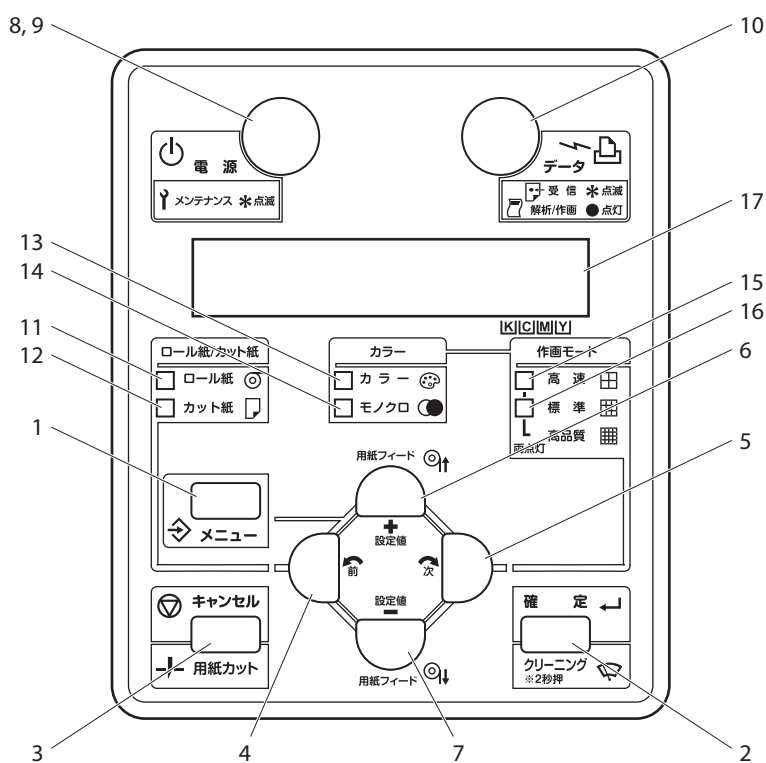
2.2.5 操作パネル

操作パネルは、動作条件の設定、製品の状態表示、各種機能の設定を行う場合に、使用します。

操作キー部および状態表示部の各名称、機能について説明します。

参考

- 操作パネルの操作方法の詳細については、以下を参照してください。
- 操作パネルからメニュー設定を行う場合：[4.5 操作パネルのメニュー設定](#)
- 操作パネルでの各種操作を行う場合：[4.6 操作パネルからの各種操作](#)



(1) 操作キー部

注 記

- 操作キー部には、動作状態（通常状態または設定メニュー表示状態）によって異なる機能・名称が割り当てられています。動作状態の詳細については、「[2.3 動作の概要](#)」を参照してください。

番号	名称	通常状態	設定メニュー表示状態
1	[メニュー] キー	設定メニュー状態に切り替えます。	設定メニュー表示状態から通常状態に移行します。
2	[確定] キー	—	<ul style="list-style-type: none"> 設定するメニューを選択し、次階層に移行します。 設定値を確定して保存します。
	[クリーニング] キー	2秒以上押しつづけると、プリントヘッドのクリーニングを行います。	—
3	[キャンセル] キー	<ul style="list-style-type: none"> 作画中：作画を強制終了して、残ったデータを1ファイル削除します。 受信・解析中：すでに受信、解析したデータを削除して、以降の受信データを1ファイル無視します。 インク乾燥時間待ち状態：インク乾燥時間待ち状態を解除して、用紙を排出します。 	<ul style="list-style-type: none"> ひとつ前のメニュー階層に戻ります。設定値変更は無効となります。 設定メニュー表示状態から通常状態に移行します。
	[用紙カット] キー	ロール紙がセットされている場合、その時の用紙位置でロール紙をカットします。	—
4	[前] キー	用紙種類を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定した用紙のランプが点灯（緑色）します。 	メニューを逆送りに変更します。
5	[次] キー	作画モードおよびカラーモードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定した作画モードおよびカラーモードのランプが点灯（緑色）します。 	メニューを順送りに変更します。
6	[用紙フィード↑] キー	用紙を逆方向に送ります。	—
	[設定値+] キー	—	<ul style="list-style-type: none"> 設定値を順方向に変更します。 数値入力時には値を増加させます。
7	[用紙フィード↓] キー	用紙を順方向に送ります。	—
	[設定値-] キー	—	<ul style="list-style-type: none"> 設定値を逆方向に変更します。 数値入力時には値を減少させます。
8	[電源] キー	製品の電源を ON/OFF します。	製品の電源を ON/OFF します。

(2) 状態表示部

番号	名称	色	状態	内容
9	電源ランプ	青色	点灯	電源が ON になっています。
			点滅	エラーが発生しています。エラー内容は液晶表示部に表示されます。
			消灯	電源が OFF になっています。
		緑色	点灯	省電力モードになっています。
			点滅	エラーが発生しています。エラー内容は液晶表示部に表示されます。
10	データランプ	橙色	点灯	<ul style="list-style-type: none"> 受信したデータを解析しています。 作画中です。
			点滅	データを受信しています。
			消灯	データを受信・解析していません。
11	ロール紙ランプ	緑色	点灯	セットされている用紙がロール紙に設定されています。
			消灯	セットされている用紙がカット紙に設定されています。
12	カット紙ランプ	緑色	点灯	セットされている用紙がカット紙に設定されています。
			消灯	セットされている用紙がロール紙に設定されています。
13	カラーランプ	緑色	点灯	カラーモードがカラーに設定されています。
			消灯	カラーモードがモノクロに設定されています。
14	モノクロランプ	緑色	点灯	カラーモードがモノクロに設定されています。
			消灯	カラーモードがカラーに設定されています。
15	高速ランプ	緑色	点灯	<ul style="list-style-type: none"> 作画モードが高速に設定されています。 標準ランプも点灯している場合は、作画モードが高品質に設定されています。
			消灯	作画モードが標準に設定されています。
16	標準ランプ	緑色	点灯	<ul style="list-style-type: none"> 作画モードが標準に設定されています。 高速ランプも点灯している場合は、作画モードが高品質に設定されています。
			消灯	作画モードが高速に設定されています。
17	液晶表示部	—	—	製品の動作状態やエラーメッセージを表示します。

参 考

- 再起動が必要なエラー（本製品が動作する上で致命的な障害）が発生した場合は、警告音とともに全てのランプが点滅します。
障害を取除いても再起動が必要なエラーが再発する場合は、本製品を購入された MUTOH 製品販売店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。

 6.2.5 再起動が必要なエラー

2.2.6 インジケータ表示

次の場合に、液晶表示部にインクやカートリッジの状態を示すインジケータを表示します。

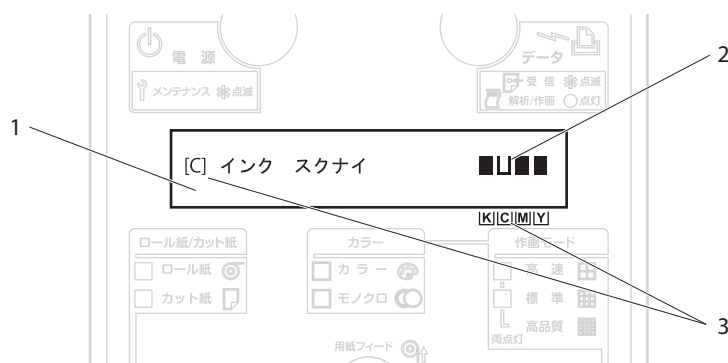
- 通常状態
[図 2.3.1 通常状態](#)
- 作画中
- インクやカートリッジのエラー表示
[図 6.2.2 メッセージ型エラー表示と対処方法](#)

インジケータ下にインク色が記号で印刷されており、以下の色を意味しています。

- K: ブラック
- C: シアン
- M: マゼンタ
- Y: イエロー

また、以下の状態のエラーメッセージが表示される場合、エラーメッセージの先頭に対象のインク色が表示されます。

- インク少ない
- インクなし
- カートリッジなし









番号	名称
1	液晶表示部
2	インジケータ
3	インク色

注 記

- すべてのインク色が対象の場合は、メッセージにインク色は表示されません。

2.2.6.1 インジケータ表示の内容

番号	インジケータ	インク / カートリッジ状態
1		インク残量 80% 以上 100% 以下
2		インク残量 60% 以上 80% 以下
3		インク残量 40% 以上 60% 以下
4		インク残量 20% 以上 40% 以下
5		インク残量 20% 未満
6		インク少ない
7		インクなし
8		カートリッジなし

2.3 動作の概要

本製品の動作状態について説明します。

2.3.1 通常状態

製品に用紙がセットされている場合に、作画することができる状態です。操作パネルで作画に関する各種操作を行うことができます。

2.3.2 設定メニュー表示状態

本製品の作画に関する各種設定を、操作パネルから行うことができる状態です。通常の作画に必要な製品の設定は、プロッタドライバまたはアプリケーション上で行いますが、操作パネルからも同様の設定を行うことができます。

2.3.3 動作状態の切替え方法

以下の手順に従って、動作状態の切替えを行ってください。

(1) 通常状態 → 設定メニュー表示状態

製品が通常状態の時に、操作パネルの [メニュー] キーを押します。

- 操作パネルに「*メニュー* テストサクカ` >」と表示され、設定メニュー表示状態に移行します。

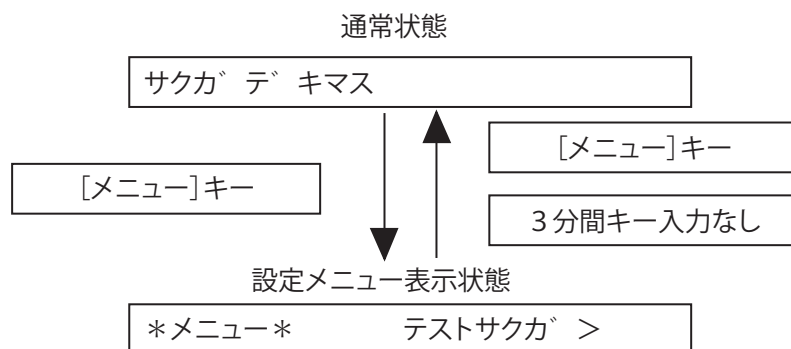
注 記

- 設定メニューの詳細については、「[4.5 操作パネルのメニュー設定](#)」を参照してください。

(2) 設定メニュー表示状態 → 通常状態

製品が設定メニュー表示状態の時に、以下のいずれかの操作を行うと、操作パネルが通常状態の表示に移行します。

- 操作パネルの [メニュー] キーを押す。
- 設定メニュー状態のときに、3 分間何もキー操作をせずに放置する。



注 記

動作状態表示の詳細については、「[6.2.1 動作状態表示](#)」を参照してください。

3 使用前の準備

この章では、本製品の使用前に必要な作業手順について説明します。

3.1 電源ケーブルの接続

電源ケーブルの接続手順について説明します。


警告

- 必ず同梱品の電源ケーブルを使用してください。同梱品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。
- 破損した電源ケーブルを使用しないでください。感電・火災の原因になります。

注意

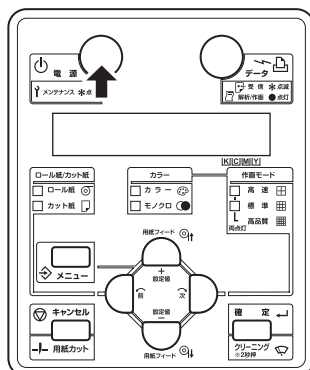
- 電源ケーブルを取扱う場合は、以下の点に注意してください。
 - 電源ケーブルを加工しないこと。
 - 電源ケーブルの上に重いものを載せないこと。
 - 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないこと。
 - 電源ケーブルを熱器具の近くに配線しないこと。

注記

- 電源ケーブルが破損した場合は、以下のいずれかに相談してください。
 - お買い求めの MUTOH 製品取扱店
 - MUTOH 各営業所
-  [7.4.1 製品に関するお問い合わせ窓口](#)

以下の手順に従って、電源ケーブルを取付けてください。

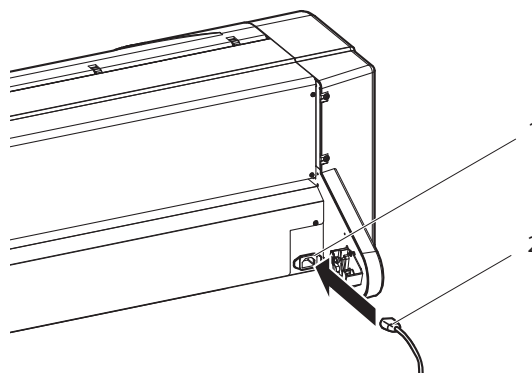
1. 製品の電源が OFF になっていることを確認します。



注 記

- 操作パネルの「電源」キーが奥に押し込まれているときは、電源が ON になっています。もう一度キーを押して、電源を OFF にしてください。

2. 製品背面の AC インレットに、電源ケーブルを接続します。



番号	名称
1	AC インレット
2	電源ケーブル

3. 電源ケーブルのプラグをコンセントに正しく差込みます。

警告

- 濡れた手で電源プラグを抜差ししないでください。感電の原因となります。
- 必ず指定の電源（AC 100V）を使用してください。指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。
- 電源コンセント（AC 100V）から直接電源を取ってください。蛸足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。
- 電源は必ずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。
- 以下の場所には、アース線を接続しないでください。
 - ガス管
引火や爆発する恐れがあります。
 - 電話線用アース線および避雷針
落雷時に大量の電流が流れる可能性があります。
 - 水道管および蛇口
配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。

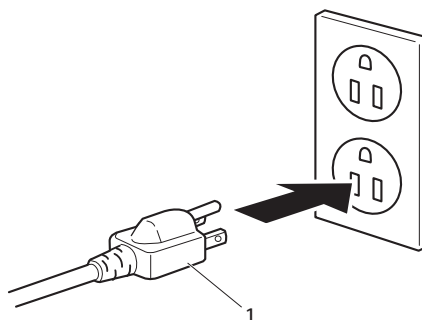
注意

- 電源プラグを取扱う場合は、以下の事項に注意してください。取扱いを誤ると火災の原因となる恐れがあります。
 - 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差込まない
 - 電源プラグは刃の根元まで確実に差込む
 - 本製品を長期間使用しない場合は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - アース線は、必ず以下の規格を満たすアース線に接続してください。
 - 電源コンセントのアース端子
 - 銅片を深さ 650mm 以上の地中に埋めたアース線
 - D 種接地工事を行っている接地端子

注記

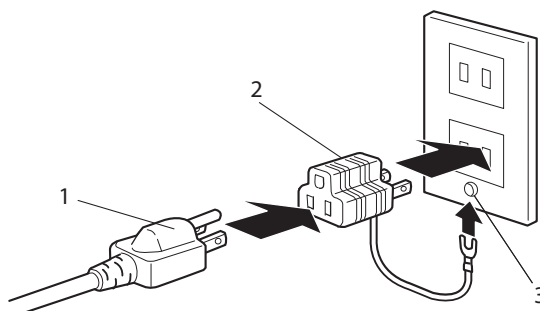
- コンセントに 3 芯プラグを差込めない場合は、同梱の 3 芯 2 芯変換コネクタを使用してください。
- アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 製品の電源が ON になっている場合は、電源ケーブルのプラグをコンセントから引抜かないでください。
もしプラグがコンセントから外れた場合は、1 分以上放置してから再びプラグをコンセントに差込んでください。

a. 3 芯プラグを使用する場合



番号	名称
1	電源プラグ

b. 3 芯 2 芯変換コネクタを使用する場合



番号	名称
1	電源プラグ
2	3 芯 2 芯変換コネクタ
3	アース端子

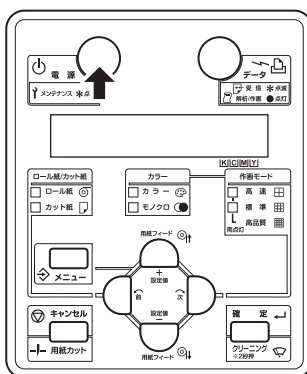
3.2 電源を ON/OFF する方法

製品の電源を ON/OFF する方法について説明します。

3.2.1 電源を ON する方法

以下の手順に従って、製品の電源を ON にしてください。

1. 操作パネルの「電源」キーを押して、製品の電源を ON します。
 - 操作パネルの電源ランプが点灯（青色）します。



- 製品は初期動作を開始します。
- 初期動作が終了後、製品は通常状態に移行します。

注 記

- 初期動作中に何らかのトラブルが発生した場合は、製品は操作パネルにメッセージを表示し、動作を停止する場合があります。動作が停止した場合は、「[6 トラブルシューティング](#)」を参照のうえ、適切な処置を行ってください。

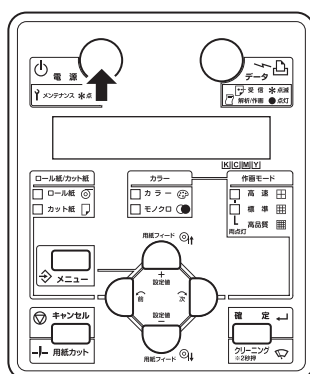
3.2.2 電源を OFF する方法

以下の手順に従って、製品の電源を OFF にしてください。

1. 製品の動作状態について、以下を確認してください。
 - 作画等の動作を行っていないこと
 - 操作パネルが通常状態であること
2. 操作パネルの [電源] キーを押して、製品の電源を OFF します。
 - 操作パネルの電源ランプが消灯します。

注 記

- 操作パネルが以下の場合、電源が ON になっています。
 - [電源] キーが奥に押し込まれている
 - 電源ランプが点灯しているもう一度キーを押して、電源を OFF してください。



- 製品は電源 OFF 動作を開始します。

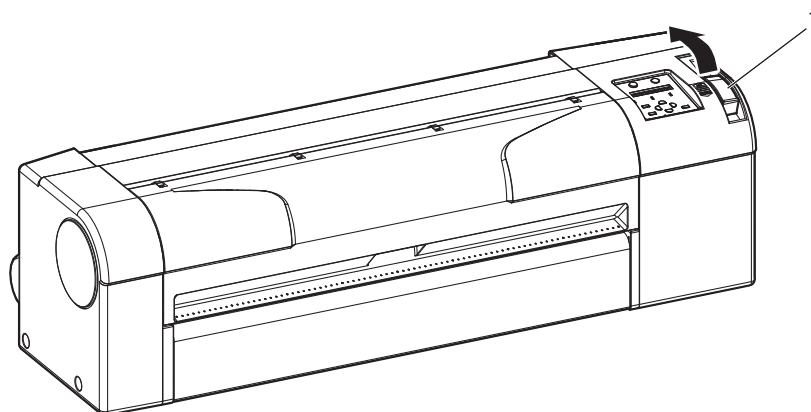
注 記

- 用紙が取付けられている場合は、操作パネルに「レバ`ーヲアケ`テクダ`サイ」と表示されます。用紙セットレバーを後に倒してください。
- 操作パネルに「シバ`ラクオマチクダ`サイ」と表示されます。
- 操作パネルの全てのランプおよび液晶表示部が消灯します。
- 製品は自動的に電源を OFF します。

注 記

- 電源 OFF 動作中に何らかのトラブルが発生した場合は、製品は操作パネルにメッセージを表示し、動作を停止する場合があります。
動作が停止した場合は、「6 トラブルシューティング」を参照のうえ、適切な処置を行ってください。
- 電源 OFF 後、再度電源を ON する場合は、10 秒以上放置してから電源を ON してください。

3. 製品を長時間使用しない場合は、用紙セットレバーを奥側に切替えます。



番号	名称
1	用紙セットレバー

3.3 インクカートリッジの取付け

インクカートリッジの取付手順について説明します。

注意

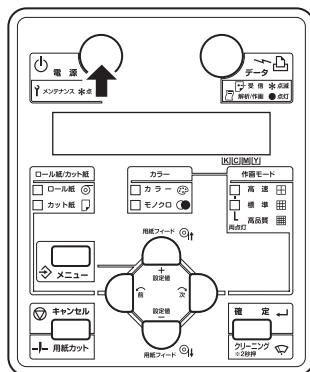
- インクカートリッジを取扱うときは、保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護マスク、保護衣）を着用してください。目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
- インクカートリッジを分解しないでください。分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着する恐れがあります。

注記

- インクを充てんする場合は、純正品のインクカートリッジをご使用ください。本製品は純正品のインクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外を使用すると、
 - 作画結果がかすれたり、インクエンドが正常に検出されなくなる恐れがあります。
 - 故障しても保証対象外（有償修理）となります。
- インクカートリッジの種類および詳細については、以下を参照してください。
[図7.3 オプション・サプライ用品リスト](#)
- インクカートリッジは強く振らないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。
- インクカートリッジを分解しないでください。分解したインクカートリッジは使用できません。
- インクカートリッジを、寒い所から暖かい所へ移動させた場合は、作画環境に3時間以上放置してから使用してください。

以下の手順に従って、インクカートリッジを取付けてください。

1. 製品の電源を ON します。



2. 製品が初期動作を開始します。

- 操作パネルに「[***] カートリッジ ナシ」と表示されます。

注 記

- [***] は対象のインク色を表します。詳しくは「[2.2.6 インジケータ表示](#)」を参照してください。すべてのインク色が対象の場合は、メッセージにインク色は表示されません。

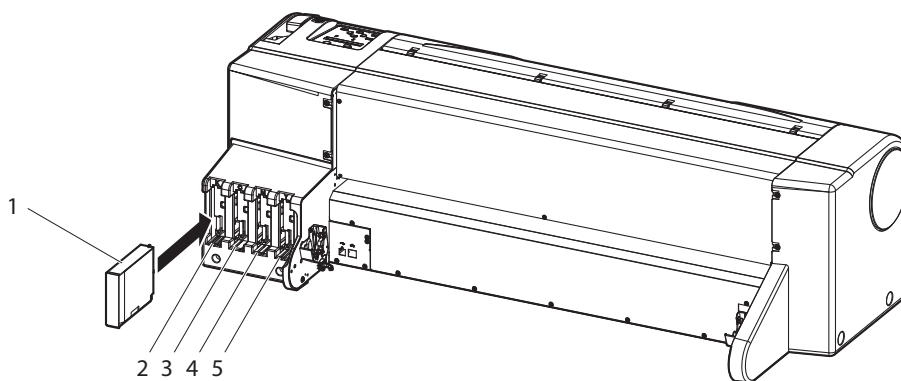
3. インクカートリッジを袋から取り出します。

4. インクカートリッジスロットに、インクカートリッジを取付けます。

- インクカートリッジの▲マークを上にして、装置側に向けて挿入してください。

注 記

- インクカートリッジはスロットの奥までしっかり挿入してください。
- インクカートリッジは、4色全て取付けてください。
- インクカートリッジは、色により装着するスロットが決まっています。スロット手前のマークの色とインクの色を合わせて取付けてください。
- インクカートリッジは誤挿入防止構造となっています。スロットにスムーズに挿入できない場合は、誤挿入の可能性があるので無理に押し込んだりしないでください。



番号	名称
1	インクカートリッジ
2	インクカートリッジスロット K
3	インクカートリッジスロット C
4	インクカートリッジスロット M
5	インクカートリッジスロット Y

5. 操作パネルに「インクシ ュウテンチュウ ノコリ**フン」と表示され、初期充てんを開始します。
 - 初期充てんには約 5 分間かかります。初期充てん中は、インク充てん動作と休止動作を繰り返します。

注 記

- インク充てん中は、以下のことを遵守してください。
 - 製品の電源を OFF しないこと。
 - 製品の電源ケーブルを抜かないこと。
 - フロントカバーを開けないこと。
 - 用紙セットレバーを後ろに倒さないこと。

6. 初期充てんが終了すると、操作パネルに「ヨウシナシ」と表示されます。

注 記

- 初期充てん終了直後にノズルチェック作画を行うと、次のような現象が発生する場合があります。
 - 作画した線がかすれる
 - 作画結果に白い筋が入るこのような場合には、「[5.2.3 ヘッドクリーニング](#)」に従って、微量充てん行ってから作画結果を確認してください。
- 微量充てんを行っても作画結果に変化が無い場合は、製品を 1 時間以上放置後、再度微量充てんを行ってから作画結果を確認してください。
それでも作画結果に変化が無い場合は、「[7.4.2 テクニカルサポート連絡窓口](#)」までご連絡ください。

3.4 用紙の取付け

用紙の取付け、セット、および用紙種類の設定方法について説明します。

注 記

- 用紙の取扱方法等の詳細については、以下を参照してください。
🔗 [4.2 用紙について](#)
- 本製品では、専用指定紙の使用を推奨します。
専用指定紙の種類および詳細については、以下を参照してください。
🔗 [4.2.1 用紙種類](#)
🔗 [7.3 オプション・サプライ用品リスト](#)

3.4.1 ロール紙の取付け

ロール紙の取付け手順について説明します。
ロール紙の取付けには、本体に同梱のスクローラを使用します。

注 記

- 本製品に同梱のスクローラには、次のロール紙を取付けることができます。
 - RJ-901X：紙管径 2 インチ（外径 100 mm 以下、重量 5 kg 以下）
 - RJ-900X：紙管径 2 インチ（外径 150 mm 以下、重量 19 kg 以下）

参 考

- スクローラにオプションの 3 インチ用アタッチメントを使用すると、次のロール紙を取り付けることができます。
 - RJ-901X：紙管径 3 インチ（外径 100 mm 以下）
 - RJ-900X：紙管径 3 インチ（外径 150 mm 以下）

詳細については、以下を参照してください。

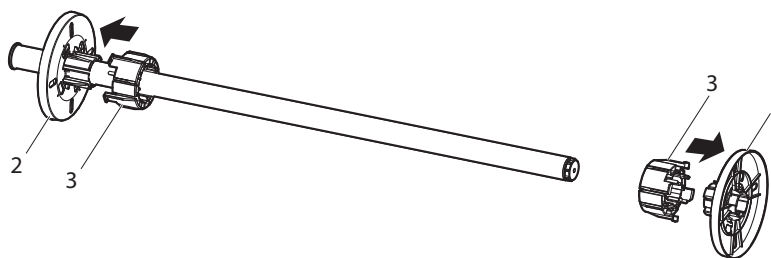
- 🔗 [7.1 製品仕様](#)
- 🔗 [7.3 オプション・サプライ用品リスト](#)

以下の手順に従って、ロール紙を取付けてください。

⚠ 注 意

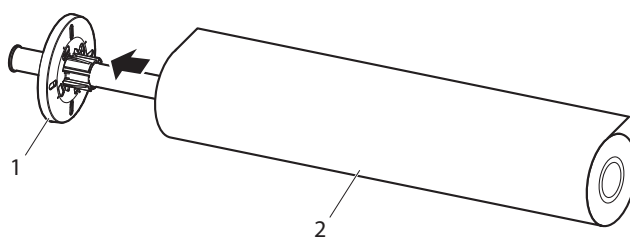
- ロール紙は、机の上などの平らな場所に置いた状態でセットしてください。
スクローラを立てた状態でロール紙のセットを行うと、スクローラが破損する恐れがあります。

1. 紙管径 3 インチのロール紙を使用する場合は、可動用紙ストップおよび固定用紙ストップにオプションの 3 インチ用アタッチメントを取付けます。



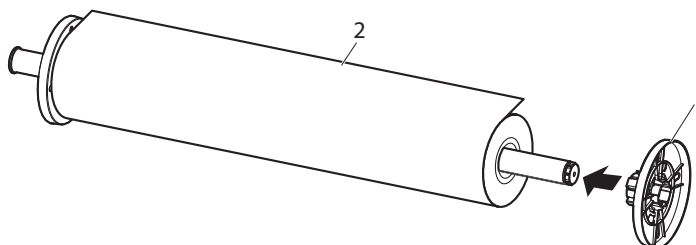
番号	名称
1	可動用紙ストップ
2	固定用紙ストップ
3	3 インチ用アタッチメント

2. 固定用紙ストップから見てロール紙の巻きが左巻きになるようにして、スクローラにロール紙をセットします。
3. 固定用紙ストップの右端に、ロール紙の芯が突き当たるまで押し込みます。



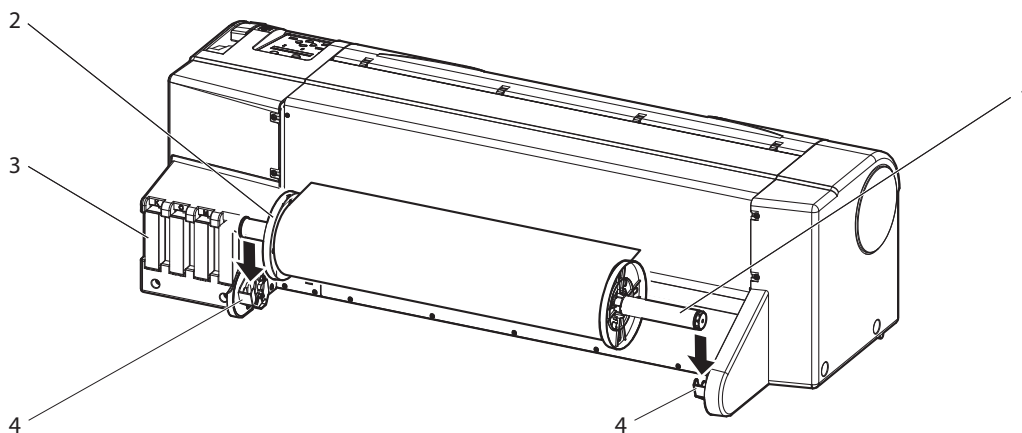
番号	名称
1	固定用紙ストップ
2	ロール紙

4. 可動用紙ストップを、ロール紙の芯にしっかりと固定するように取付けます。



番号	名称
1	可動用紙ストップ
2	ロール紙

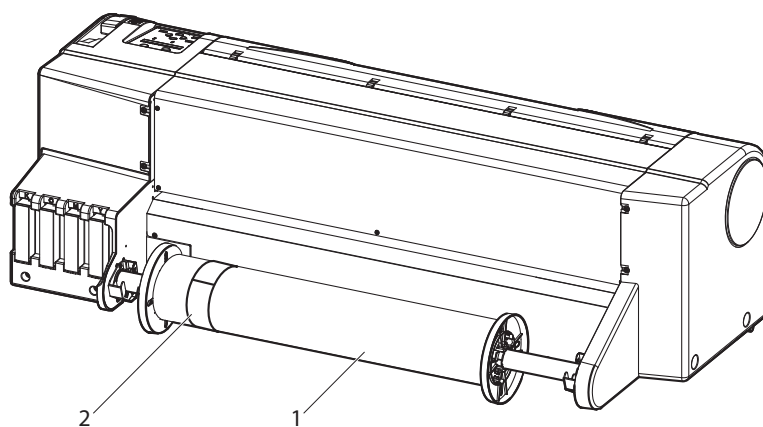
5. スクローラを、固定用紙ストッパがインクカートリッジスロット側になるようにスクローラ受けにセットします。



番号	名称
1	スクローラ
2	固定用紙ストッパ
3	インクカートリッジスロット
4	スクローラ受け

注 記

- オプションのスクローラに同梱のロール紙固定ベルトは、製品にセットされているロール紙が未使用のときに、ロール紙の巻きほぐれを防ぐために使用します。
- ベルトの端をロール紙に当て、ロール紙を回しながら巻きつけます。



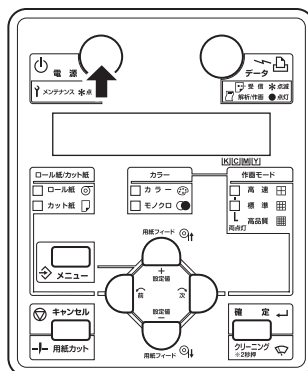
番号	名称
1	ロール紙
2	ロール紙固定ベルト

3.4.2 ロール紙のセット方法

ロール紙のセット方法について説明します。

以下の手順に従って、ロール紙をセットしてください。

1. 製品の電源を ON します。



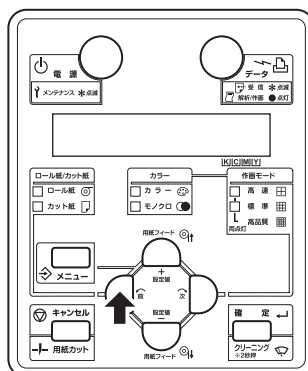
注意

- 製品の初期動作中は、用紙セットレバーを操作しないでください。キャリッジ部と加圧ローラ部が干渉し、故障する恐れがあります。

- 製品が初期動作を開始します。
 - 操作パネルに「ヨウシナシ」と表示されます。
2. 操作パネルの [前] キーを押して、「ロール紙」を選択します。
 - ロール紙ランプが点灯します。

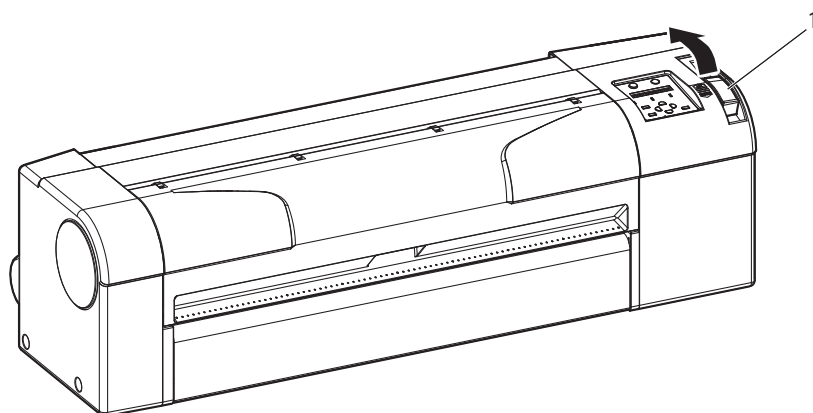
注記

- ロール紙をセットする場合に、操作パネルで「カット紙」を選択すると、用紙セットが正常に行われません。



3. 用紙セットレバーを後に倒します。

- 操作パネルに「ヨウシヨセットシテクダサイ」と表示されます。

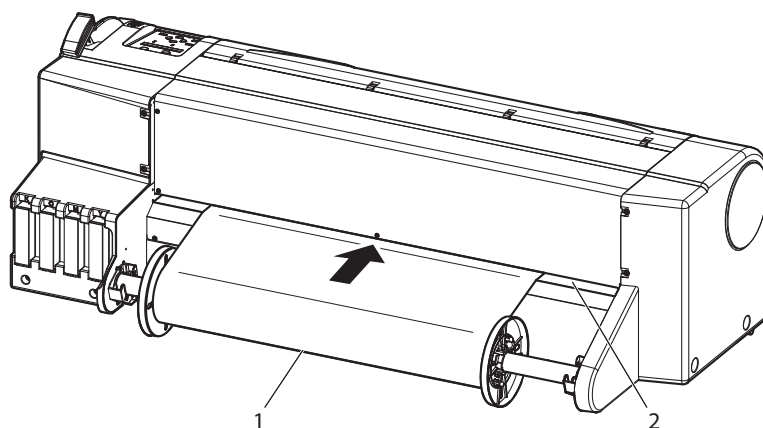


番号	名称
1	用紙セットレバー

4. ロール紙を給紙スロットにセットします。

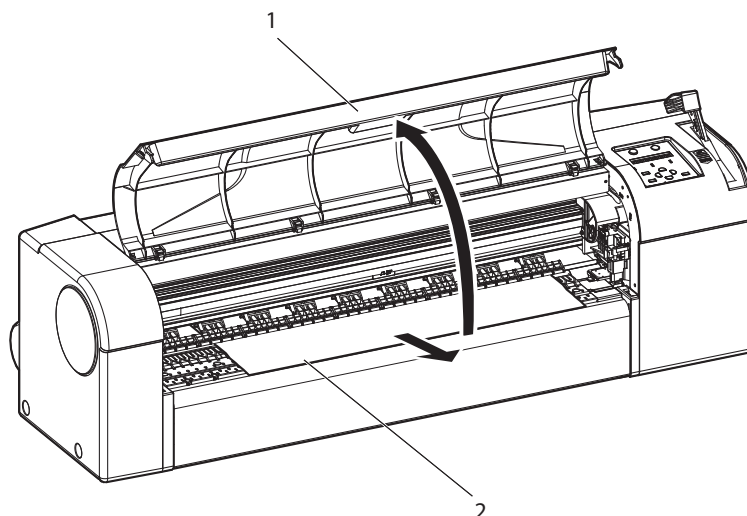
注 記

- ロール紙端に巻き乱れがある場合は、巻きなおしてからセットしてください。
- 新しいロール紙をセットした時に、ロール紙の先端がまっすぐになっていない場合は、ロール紙の先端をカットしてください。
ロール紙のカット方法については、「[4.6.3 用紙のカット](#)」を参照してください。



番号	名称
1	ロール紙
2	給紙スロット

5. フロントカバーを開け、ロール紙を引出します。

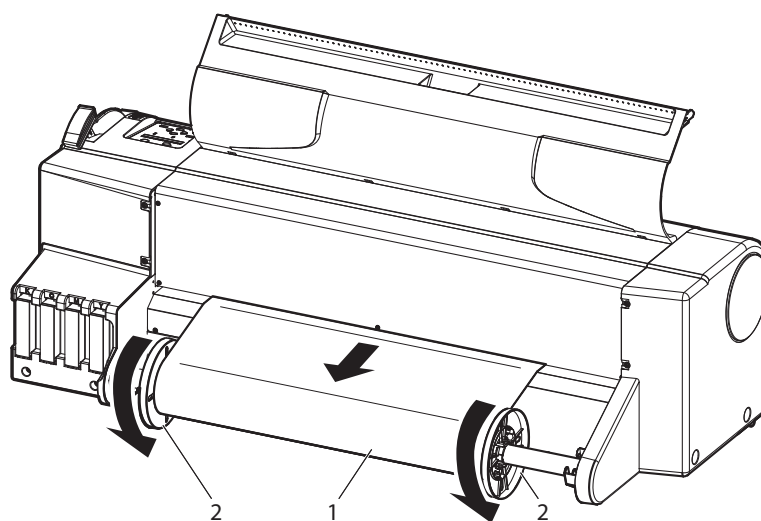


番号	名称
1	フロントカバー
2	ロール紙

6. 用紙先端を押さえながら、スクローラを持ってロール紙を少し巻き戻し、用紙のたわみおよび斜行を取除きます。

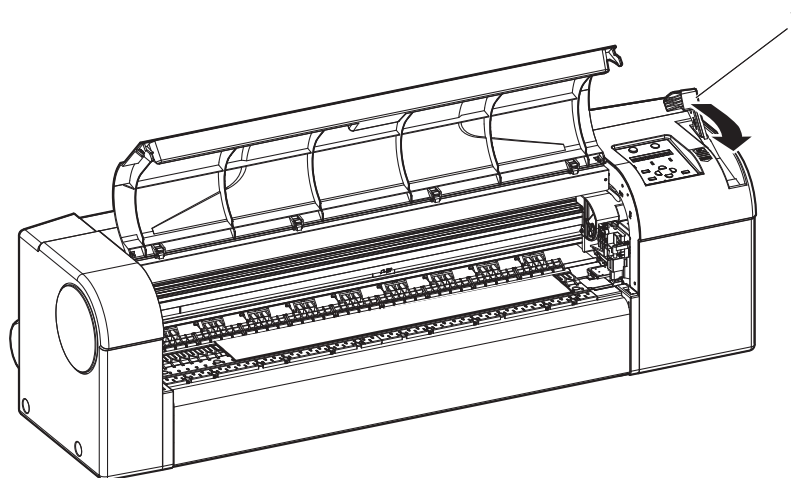
注 記

- ロール紙の右端が用紙セット目安よりも右側に入らないようにしてください。作画品質に影響する場合があります。
- ロール紙をセットする時、ロール紙の右端を用紙セット目安に無理に合わせないでください。斜行の原因となります。



番号	名称
1	ロール紙
2	スクローラ

7. 用紙セットレバーを手前に戻します。

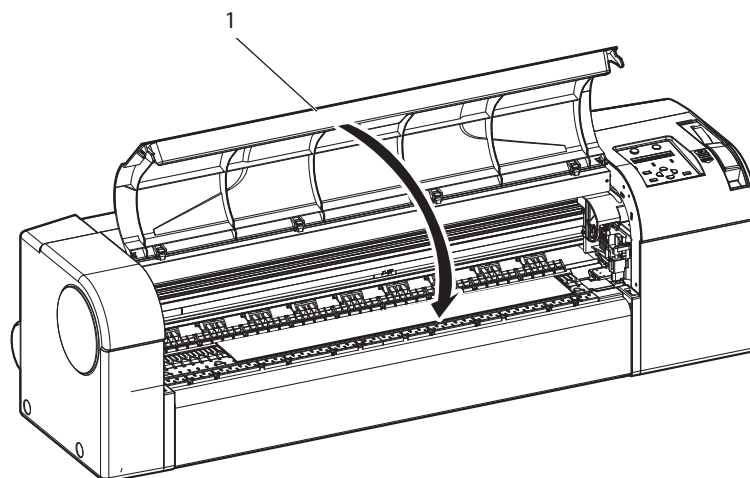


番号	名称
1	用紙セットレバー

注 記

- 新しいロール紙をセットした時に、ロール紙の先端がまっすぐになっていない場合は、ロール紙の先端をカットしてください。ロール紙のカット方法については、「[4.6.3 用紙のカット](#)」を参照してください。
- 用紙設定メニューの先端カット長さ項目を設定しておく、用紙イニシャル終了後、ロール紙の先端を自動的にカットできます。設定方法については「[4.5.1.2 用紙設定メニュー](#)」を参照してください。

8. フロントカバーを閉めます。



番号	名称
1	フロントカバー

- 操作パネルに用紙種類設定メニューが表示されます。

参 考

- 用紙種類を変更する場合は、「[3.4.5 用紙種類の設定手順](#)」に従って、用紙種類を設定してください。

3.4.3 カット紙のセット方法

カット紙のセット方法について説明します。
本製品では、以下のサイズのカット紙を使用できます。

RJ-901X

- 用紙幅：B5 サイズ 182 mm ～ A1 プラスサイズ 610 mm まで
(ユーザ用紙使用時は 150 mm ～ 610 mm)
- 用紙長：最大 1,200 mm

RJ-900X

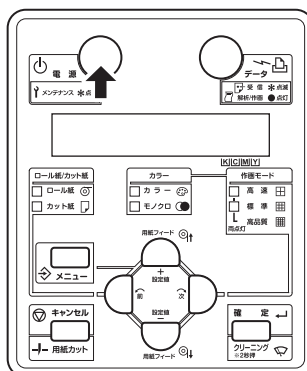
- 用紙幅：B5 サイズ 182 mm ～ A0 プラスサイズ 1,080 mm まで
(ユーザ用紙使用時は 150 mm ～ 1,080 mm)
- 用紙長：最大 1,600 mm

以下の手順に従って、カット紙をセットしてください。

注 記

- ロール紙がセットされている場合は、ロール紙を巻き戻してからカット紙をセットしてください。

1. 製品の電源を ON します。



注意

- 製品の初期動作中は、用紙セットレバーを操作しないでください。キャリッジ部と加圧ローラ部が干渉し、故障する恐れがあります。

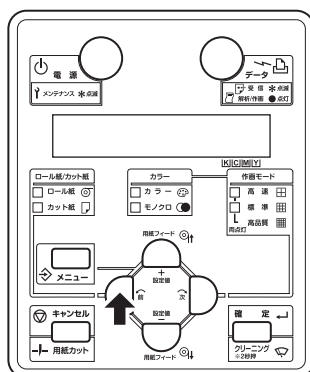
- 製品が初期動作を開始します。
- 操作パネルに「ヨウシナシ」と表示されます。

2. 操作パネルの [前] キーを押して、「カット紙」を選択します。

- カット紙ランプが点灯します。

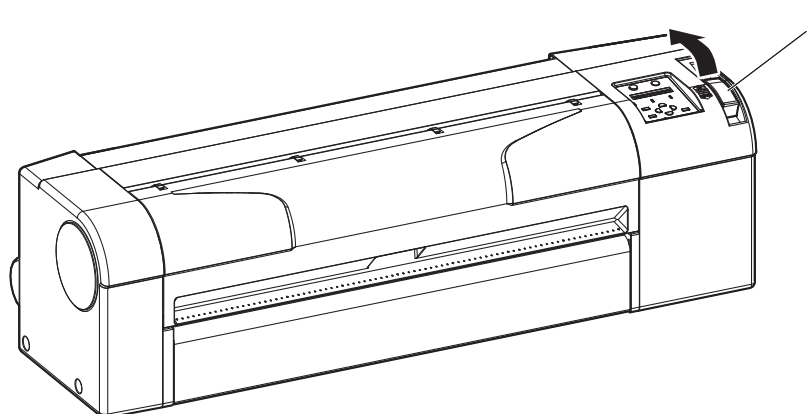
注 記

- カット紙をセットする場合に、操作パネルで「ロール紙」を選択すると、用紙セットが正常に行われない場合があります。



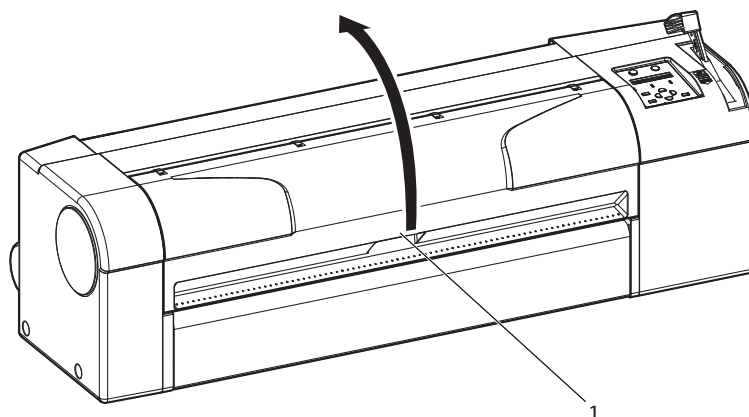
3. 用紙セットレバーを後に倒します。

- 操作パネルに「ヨウシヨセットシテクタ`サイ」と表示されます。



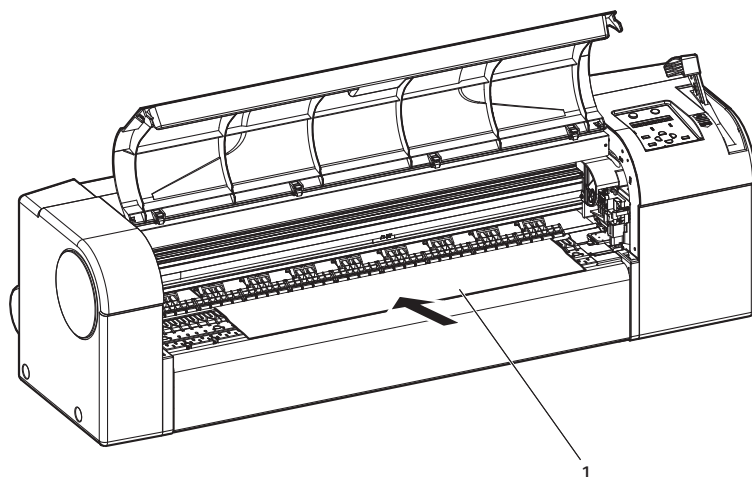
番号	名称
1	用紙セットレバー

4. フロントカバーを開けます。



番号	名称
1	フロントカバー

5. カット紙を製品正面側の給紙スロットに差込みます。

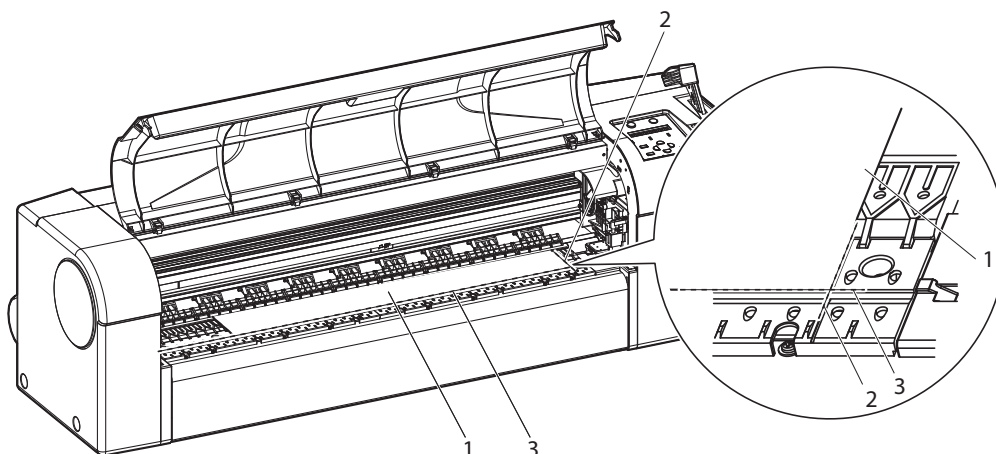


番号	名称
1	カット紙

6. 用紙の右端を用紙セット目安に、用紙の先端を作図板の段差部分に、それぞれあわせませす。

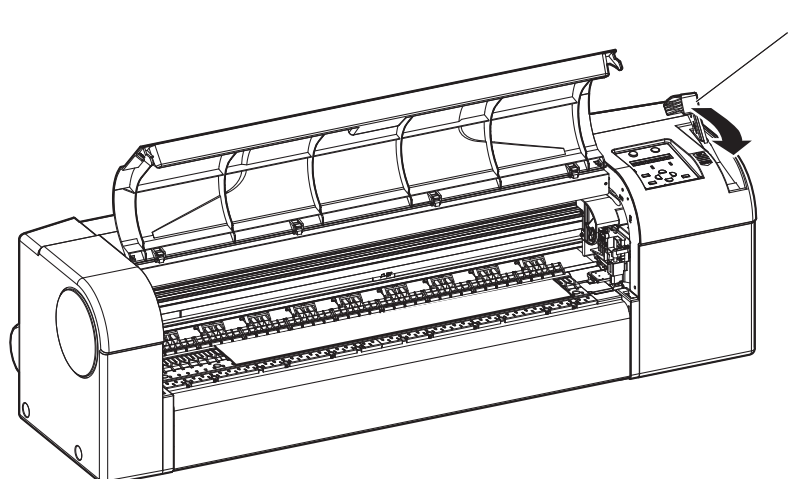
注 記

- カット紙の右端が用紙セット目安より左右にずれていると、用紙を検出できずに用紙セットエラーとなります。
カット紙右端の用紙セット目安から ± 5 mm 以内の範囲に用紙をセットしてください。



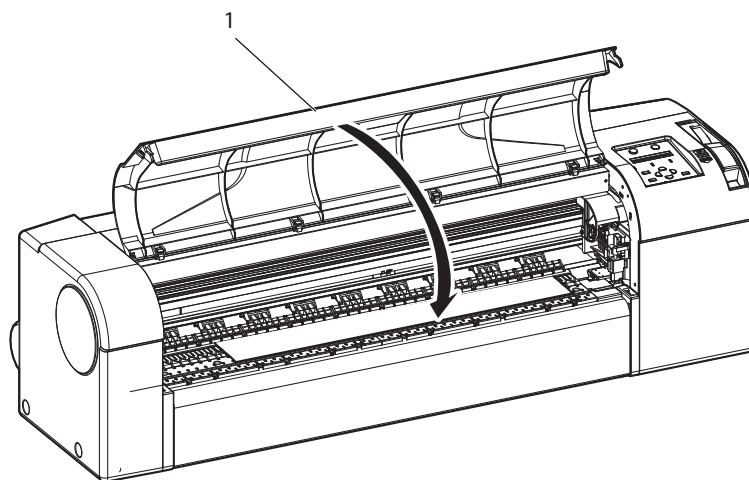
番号	名称
1	カット紙
2	用紙セット目安
3	作図板の段差部分

7. 用紙セットレバーを手前に戻します。



番号	名称
1	用紙セットレバー

8. フロントカバーを閉めます。



番号	名称
1	フロントカバー

- 操作パネルに用紙種類設定メニューが表示されます。

参 考

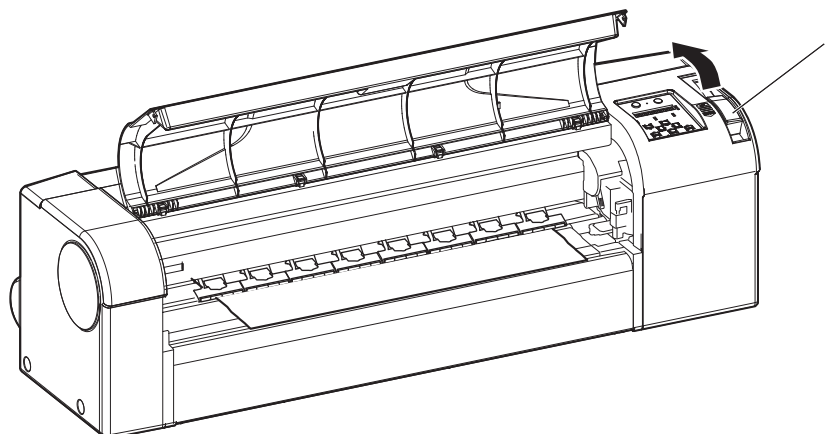
- 用紙種類を変更する場合は、「[3.4.5 用紙種類の設定手順](#)」に従って、用紙種類を設定してください。

3.4.4 加圧アームの一部を機能解除する

薄手の紙に印刷をしていてシワが寄るときは、加圧アームをいくつか機能解除してみてください。シワになるのを防げる場合があります。

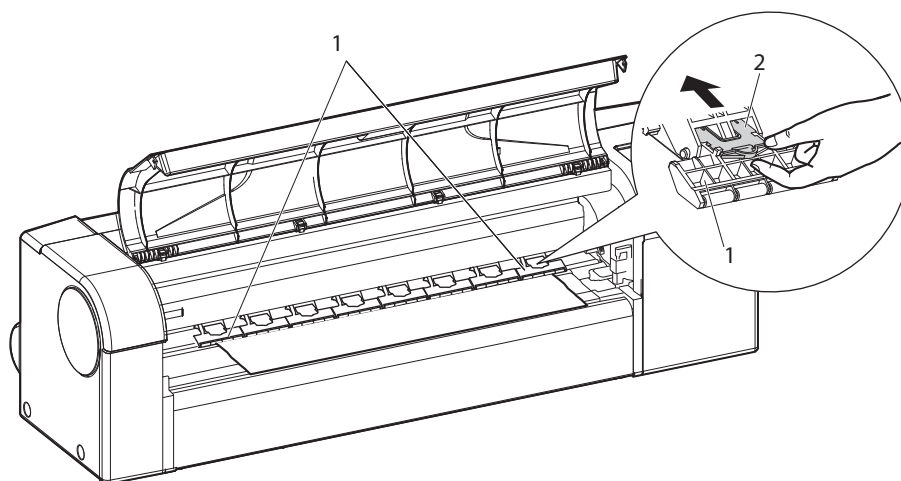
以下の手順に従って、加圧アームを機能解除してください。

1. 用紙セットレバーを後ろに倒します。



番号	名称
1	用紙セットレバー

2. 用紙の端を押さえている加圧アームの、解除スイッチを奥に向かって押し込みます。
 - 解除スイッチを奥にセットすると、加圧アームは加圧力がなくなります。



番号	名称
1	加圧アーム
2	解除スイッチ

注 記

- 機能解除するときは、必ず用紙両側の加圧アームを1セットとして解除してください。

- それでもシワが寄る場合は、解除する加圧アームの数を増やしてください。

注 記

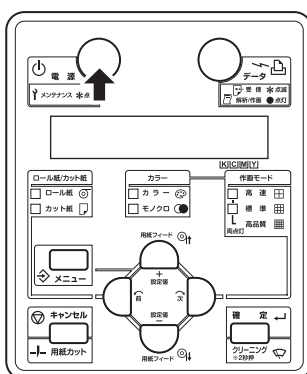
- 解除する加圧アームの数を増やしても、シワが解消できない場合があります。

3.4.5 用紙種類の設定手順

用紙種類の設定手順について説明します。

以下の手順に従って、用紙種類を設定してください。

- 製品の電源を ON し、用紙をセットします。



- 用紙セット後、用紙種類設定メニューに移行します。

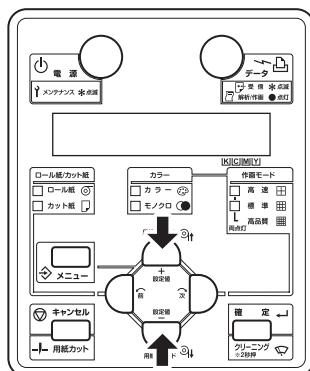
参 考

- 用紙セットの方法については、以下を参照してください

🔗 [3.4.2 ロール紙のセット方法](#)

🔗 [3.4.3 カット紙のセット方法](#)

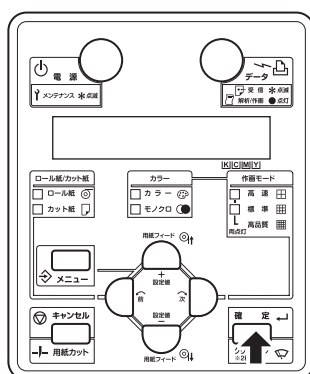
- 操作パネルの「設定値+」キーまたは「設定値-」キーを押して、セットしている用紙種類を選択します。



注 記

- 用紙種類の詳細については、「[4.2.1 用紙種類](#)」を参照してください。

- 操作パネルの「確定」キーを押します。



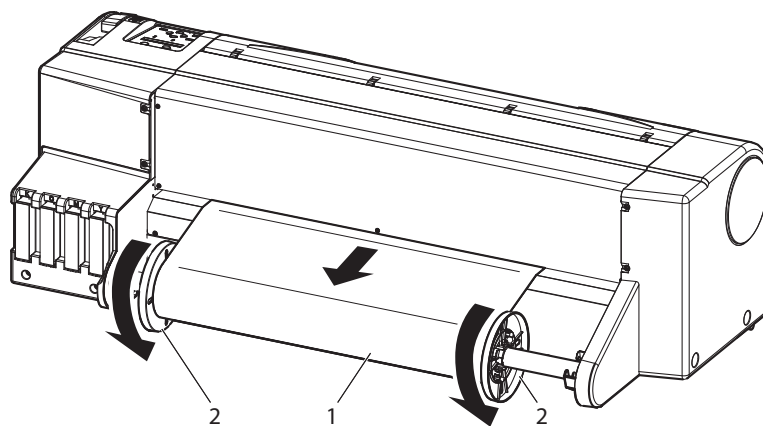
- 用紙種類が確定します。
- 操作パネルに「ヨウシケンシュツチュウ」と表示され、用紙イニシャル動作を開始します。

注 記

- 用紙種類設定メニューで、以下の操作を行った場合、用紙種類を設定せずに用紙イニシャル動作に移行します。
 - 操作パネルの「キャンセル」キーを押した場合
 - 操作パネルのキー操作を 10 秒間行わなかった場合

- 用紙イニシャル動作が終了すると、操作パネルに「サクカ`テ`キマス」と表示され、通常状態に移行します。

5. ロール紙を使用する場合は、スクローラを持ってロール紙を巻き戻し、用紙のたるみを取除きます。



番号	名称
1	ロール紙
2	スクローラ

6. 排紙トレイを使用する場合は、排紙トレイをセットします。

4.3 排紙トレイのセット

- 用紙セットが終了します。

3.5 テスト作画

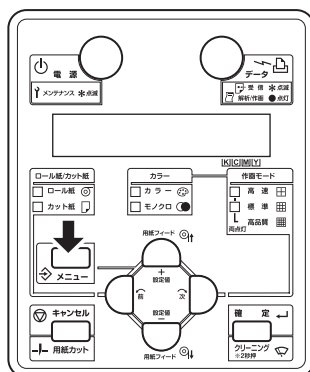
以下の手順に従ってテスト作画を行い、本機が正常に動作するか確認してください。

1. 製品の電源を ON し、A3 サイズ以上の作画用紙をセットします。

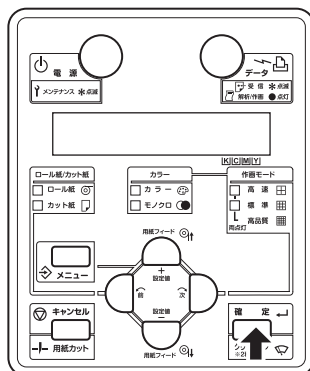
☞ 3.4.2 ロール紙のセット方法

☞ 3.4.3 カット紙のセット方法

2. 製品が通常状態であることを確認します。
3. 操作パネルの [メニュー] キーを押します。

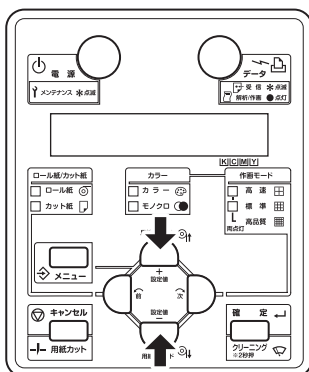


- 操作パネルに「*メニュー* テストサクカ` >」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
4. 操作パネルの [確定] キーを押します。



- 操作パネルに「テストサクカ` :セッテイナイヨウサクカ`」と表示されます。
- テスト作画メニューに移行します。

5. 操作パネルの「設定値+」キーまたは「設定値-」キーを押して、次の各項目から作画する項目を選択し、「確定」キーを押します。
 - 設定内容作画
 - ノズルチェック
 - パレット作画
 - メンテナンスステータス作画



6. 選択した各項目について作画を開始します。

参 考

- 各作画内容の詳細については、以下を参照してください。
📖 [3.5.1 設定内容作画](#) ~ [3.5.4 メンテナンスステータス作画](#)

3.5.1 設定内容作画

現在の製品の設定内容を確認する時に使用します。

注 記

- 作画した設定内容作画は大切に保管しておいてください。

参 考

- 作画手順については、以下を参照してください。

🔗 [3.5 テスト作画](#)

現在の設定内容

パネル設定 ロール紙/カット紙 = ロール紙 カラー = カラー 作画モード = 標準		フロッピー情報 シリアルNo. = ER1J000001 温度 24℃ 機種 = RJ-901X !エラー発生情報! PROM = V 1.10 0:なし [] 3:なし [] NVRAM = V 1.01 1:なし [] 4:なし [] メモリ容量 = 256MB 2:なし [] 5:なし []	
用紙設定 種類 = ユーザ用紙1 用紙送り補正 作画品質 = 図面 データX = 1000.00 作画分解能(CRXPF) = 360×360 ジョックX = 1000.00 作画方向 = 双方向 ロール紙カット方法 = 2段階 インク量 C:100% M:100% カット紙サイズ = 定型紙縦置き Y:100% K:100% 先端フィード = 0mm インク乾燥時間 = 0秒 ロール紙管理 = 無効 紙質 = 通常 先端カット長さ = 0mm ロール紙カット = オフ		ペン設定 ペン優先 = パネル ペントーン = 無効 ペンNo. 幅 パレットNo. トーン (先端) (つなぎ) 0 0.25mm 0 % 円弧 円弧 1 0.10mm 1 % 円弧 円弧 2 0.13mm 2 % 円弧 円弧 3 0.18mm 3 % 円弧 円弧 4 0.25mm 4 % 円弧 円弧 5 0.35mm 5 % 円弧 円弧 6 0.50mm 6 % 円弧 円弧 7 0.25mm 7 % 円弧 円弧 8 0.25mm 8 % 円弧 円弧 9 0.25mm 9 % 円弧 円弧 10 0.25mm 10 % 円弧 円弧 11 0.25mm 11 % 円弧 円弧 12 0.25mm 12 % 円弧 円弧 13 0.25mm 13 % 円弧 円弧 14 0.25mm 14 % 円弧 円弧 15 0.25mm 15 % 円弧 円弧	
コマンド設定 コマンド = MH-GL, GL/2 重ね書き = 後書き優先 原点 = 中心 線質 = 細線優先 作画単位 = 0.025mm (カット紙ローテート = オン) 書き出し位置 = P1点 (位置オフセットX = 0mm) ターミナータ = スベシヤル (位置オフセットY = 0mm) イメージ解像度 = 360dpi オンラインタイムアウト = 30秒		ネットワーク MACアドレス = 00:0E:0C:A7:E4:C7 IPアドレス = 192.168.001.253 サブネットマスク = 255.255.255.000 ゲートウェイ = 192.168.001.254 双方向ポート = 10610	
レイアウト設定 レイアウト = オン (ページサイズ = 自動) 配置方法 = コマンド マージン判定 = 通常 カットライン作画 = オフ レイアウトタイムアウト = 120秒		ユーティリティ メニュー表示 = 常に全て エラー表示 = オフ パワーオンクリーニング = オフ	
機能設定 スケール = 100.0% (階調表現 = 高速拡散) ミラー = オフ (CMY->BLACK = オン) ローテート = 0°			

3.5.2 ノズルチェック

ヘッドの目詰まり、作画の欠け・かすれがないかの確認をする時に使用します。

注 記

- ノズルチェックの結果、チェックパターンがかすれたり、欠けたりした場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。

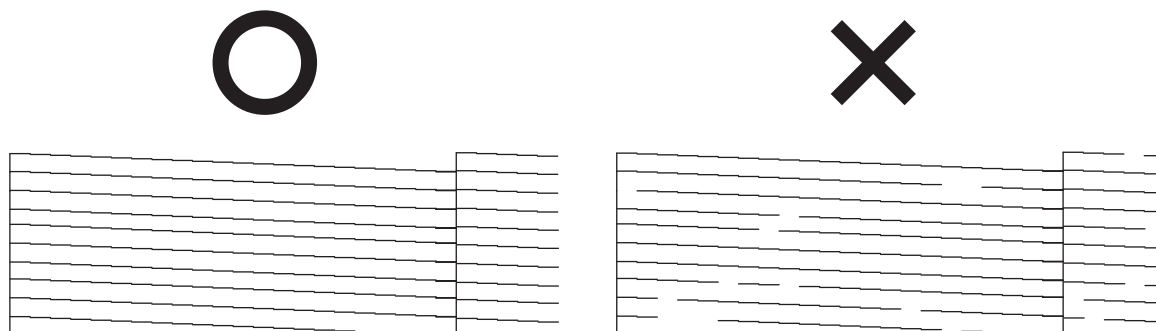
🔗 5.2.3 ヘッドクリーニング

作業終了後には、再度ノズルチェックを行なってください。

参 考

- 作画手順については、以下を参照してください。

🔗 3.5 テスト作画



3.5.3 パレット作画

使用する CAD のペン色設定と、製品での作画色の比較をする時に使用します。

参考

- 作画手順については、以下を参照してください。

📖 [3.5 テスト作画](#)



3.5.4 メンテナンスステータス作画

製品の部品寿命の確認に使用します。

注 記

- 部品寿命については、各項目の★印の数（最大 5 個：残り 100%）で表示しています。
- 部品寿命が近づくにつれて、★印の数が 1 個（20%）ずつ減っていきます。
- ★印が全て消えた場合は、部品寿命に達しています。以下に従って、寿命に達した部品を交換してください。
 - カッター
 ④ 5.1.3 カッターの交換
 - 廃液ボックス
 ④ 5.1.4 廃液ボックスの交換
 - その他の部品
 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。
 ④ 7.4 ユーザサポート
- 作画手順については、以下を参照してください。
 ④ 3.5 テスト作画

```

===== メンテナンス ステータス =====
バージョン                : 1.00
カッター寿命              : E★★★ F
ページ カウント          : 716
廃液ボックス残容量      : E★★★★ F
キャリッジ モータ寿命    : E★★★★F
ポンプ 寿命              : E★★★★ F
    
```


3.6 コンピュータとの接続

本製品とコンピュータの接続方法について説明します。

3.6.1 システム条件の確認

本製品のプロッタドライバが対応する OS は以下のとおりです。

動作 OS	Windows 10、Windows 8.1
-------	------------------------

注 記

- 各 OS のサポート期間は、Microsoft のサポート期間に準拠します。
- 使用するアプリケーションソフトウェアや、作画するデータの種類により、必要とされるメモリ容量は異なります。
- メモリとハードディスクは、できる限り大容量のものを使用することをお奨めします。

3.6.2 接続ケーブルの準備

本製品では、コンピュータとの接続に、ネットワーク・インターフェイスと、USB インターフェイスを装備しています。

本製品とコンピュータを接続するためには、ネットワーク・インターフェイスケーブルおよび USB ケーブルが必要です。接続するコンピュータや目的に応じて準備してください。

参 考

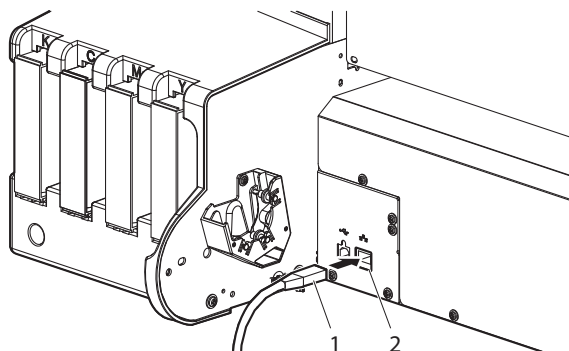
- ネットワーク・インターフェイスケーブルの接続方法については、「[3.6.3 ネットワーク・インターフェイスケーブルの接続](#)」を参照してください。
- USB ケーブルの接続方法については、「[3.6.4 USB ケーブルの接続](#)」を参照してください。
- 接続するケーブルの推奨仕様については、「[7.2 インターフェイス仕様](#)」を参照してください。

3.6.3 ネットワーク・インターフェースケーブルの接続

ネットワーク・インターフェースケーブルの接続手順について説明します。

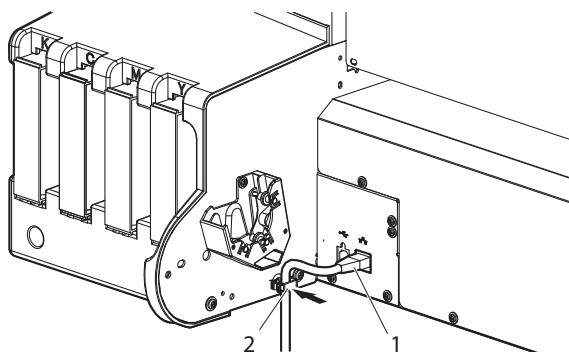
以下の手順に従って、本製品をコンピュータに接続してください。

1. 本製品とコンピュータ双方の電源を OFF します。
2. ネットワーク・インターフェースケーブルのコネクタを、製品背面のネットワーク・インターフェースコネクタに差込みます。



番号	名称
1	ネットワーク・インターフェースケーブル
2	ネットワーク・インターフェースコネクタ

3. ネットワーク・インターフェースケーブルを、ケーブルクランプに固定します。



番号	名称
1	ネットワーク・インターフェースケーブル
2	ケーブルクランプ

- ネットワーク・インターフェースケーブルのもう一方のコネクタを、コンピュータに接続します。

参 考

- コンピュータへの接続については、コンピュータに付属の取扱説明書を参照してください。
- プロッタ側のネットワーク設定は、「[4.5.2 メニュー設定手順](#)」を参照してください。

3.6.4 USB ケーブルの接続

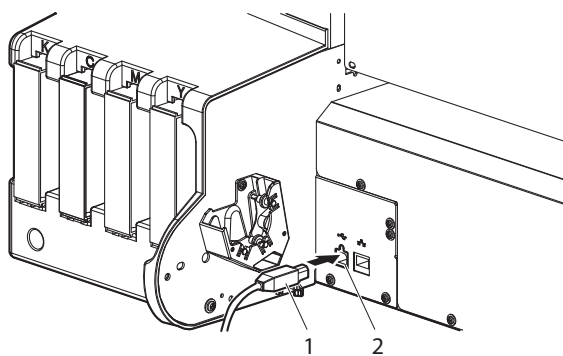
USB ケーブルの接続手順について説明します。

以下の手順に従って、本製品をコンピュータに接続してください。

注 記

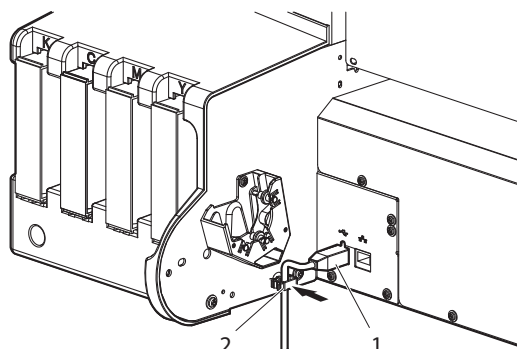
- プロッタドライバをインストールする前に USB ケーブルを接続しないでください。正常にインストールすることができません。
- USB 接続で印刷を行う場合は、コンピュータ側の USB ポートの差込口を変更せずに使用してください。
USB ポートの差込口を変更した場合は、再度プロッタドライバのインストールを行う必要があります。

- USB ケーブルを、製品背面の USB コネクタに差込みます。



番号	名称
1	USB ケーブル
2	USB コネクタ

2. USB ケーブルを、ケーブルクランプに固定します。



番号	名称
1	USB ケーブル
2	ケーブルクランプ

3. USB ケーブルのもう一方のコネクタを、コンピュータに接続します。

参考

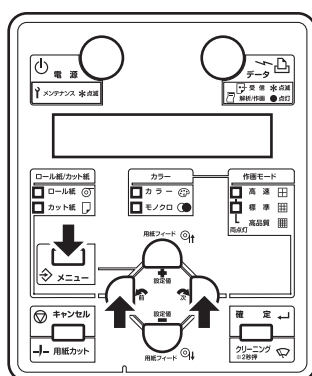
- コンピュータへの接続については、コンピュータに付属の取扱説明書を参照してください。
- 本製品は USB2.0 に対応しています。以下の使用環境で接続する場合、サポートする速度は USB1.1 相当になります。
 - パソコン側が USB2.0 に対応していない場合
 - USB2.0 非対応の USB ハブを使用している場合
- 本製品を USB で使用する場合は、製品付属または弊社指定のプロッタドライバを、使用するコンピュータにインストールしてください。

3.6.5 IP アドレスの設定

プロッタ側の IP アドレスの設定を行います。

以下の手順に従って、IP アドレスを設定してください。

- 製品の電源が ON になっていることを確認します。
[図 3.2.1 電源を ON する方法](#)
- 操作パネルの [メニュー] キーを押して、設定メニュー表示状態に入ります。
 - 操作パネルに「*メニュー* テストサクカ >」と表示されます。
- 操作パネルの [前] キーまたは [次] キーを押して、ネットワークメニューを表示させます。

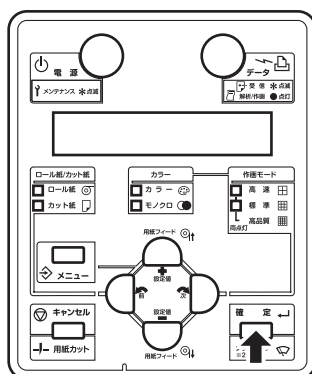


- 操作パネルに「*メニュー* ネットワーク >」と表示されます。

参考

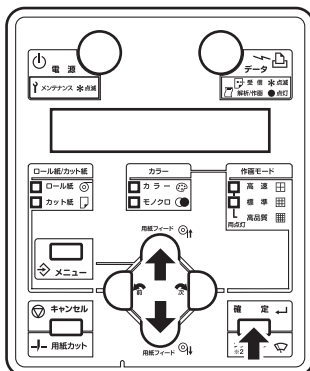
- 設定メニュー表示状態でのキー操作については、「[4.5.2 メニュー設定手順](#)」を参照してください。

- 操作パネルの [確定] キーを押して、IP アドレスメニューを表示させます。
 - 操作パネルに「ネットワーク： IP アドレス >」と表示されます。
- 操作パネルの [確定] キーを押して、IP アドレス設定メニューを表示させます。



- 操作パネルに「192.168. 1.253」（初期値）と表示されます。

6. 操作パネルの以下のキーを押して、数値を設定します。



- [設定値+] キー：設定値を増加させます。
- [設定値-] キー：設定値を減少させます。
- [確定] キー：次のセグメントの設定値を変更します。
 - 4つ目のセグメントでは設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。

注 記

- IP アドレスは必ずネットワーク管理者に相談してから設定してください。
- IP アドレスは、ローカルエリアネットワーク (LAN) 内のパソコンやルータと重複しない値を割り当ててください。
- ネットワークアドレス (通常は IP アドレスの3つ目のセグメントまで) は、製品に接続するコンピュータと同じ値を割り当ててください。
- RJ-900X/RJ-901X は DHCP に対応していません。IP アドレスを自動取得するネットワーク環境でご使用の場合は、DHCP 用のアドレスの範囲外にプロッタ用の IP アドレスを用意してください。

3.7 プロッタドライバのインストール・アンインストール

製品に付属のプロッタドライバの概要、インストール手順およびアンインストール手順について説明します。

3.7.1 プロッタドライバについて

プロッタドライバは、以下のオペレーティングシステムに対応しています。

- Windows 10
- Windows 8.1

プロッタドライバのインストール方法は、本製品とコンピュータの接続方法によって異なります。

以下の手順に従って、インストール作業を行なってください。

- ネットワーク接続の場合
🔗 [3.7.2 プロッタドライバのインストール手順（ネットワーク接続の場合）](#)
- USB 接続の場合
🔗 [3.7.3 プロッタドライバのインストール手順（USB 接続の場合）](#)

参 考

- プロッタドライバに関する各種機能、制約事項等の最新情報については、MUTOH Club からダウンロードした圧縮ファイル内に収められている以下のファイルを参照してください。
 - ヘルプ
 - Readme ファイル

プロッタドライバの最新版は、以下の MUTOH Club からダウンロードしてください。

<https://club.mutoh.co.jp/mutoh/guser>

3.7.2 プロッタドライバのインストール手順（ネットワーク接続の場合）

(1) IP アドレスを設定する

プロッタドライバをインストールする前に、製品に IP アドレスを設定します。

- IP アドレスの設定手順は「[3.6.5 IP アドレスの設定](#)」を参照してください。

すでに IP アドレスの設定が完了している場合は、「[\(2\) プロッタドライバをインストールする](#)」に進みます。

(2) プロッタドライバをインストールする

1. 製品をあらかじめネットワークに接続しておきます。

[3.6.3 ネットワーク・インターフェイスクーブルの接続](#)

2. 製品の電源を ON します。
3. コンピュータの電源を ON します。

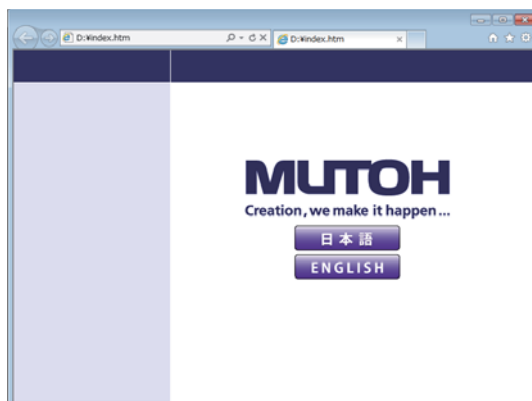
注 記

- プロッタドライバのインストールは、管理者権限のあるユーザーアカウントで行ってください。

4. コンピュータが正常に起動したことを確認してから、MUTOH Club からダウンロードした圧縮ファイルに含まれている `index.htm` をクリックします。

- ブラウザが起動します。

- 使用する言語をクリックします。

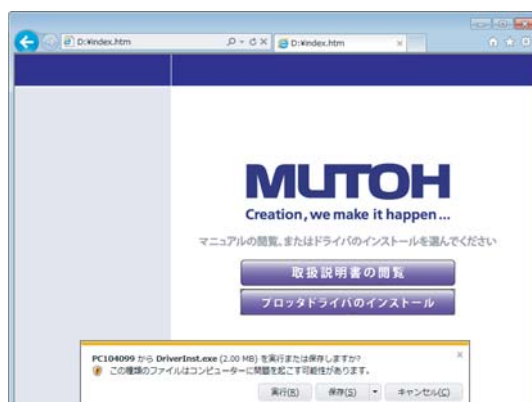


- 次の画面に進みます。

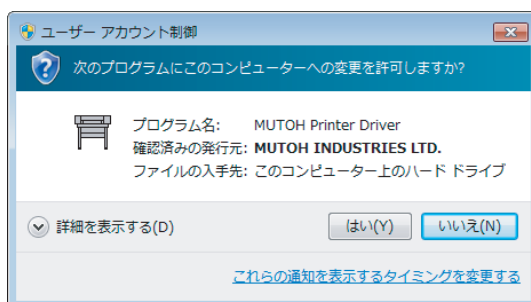
- 「プロッタドライバのインストール」をクリックします。



- プログラム実行の確認メッセージが表示された場合は、「実行」をクリックします。



8. ユーザーアカウント制御の設定により、下記のようなメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックします。



注 記

- 「いいえ」をクリックすると、プロッタドライバのインストールを中止します。

- 次の画面に進みます。

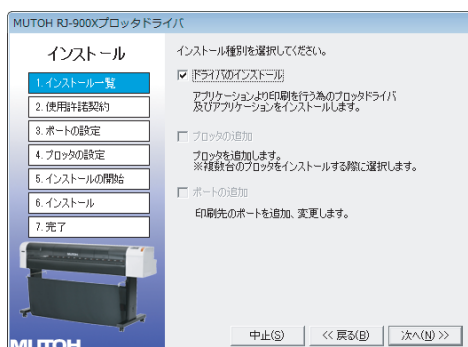
9. 使用する機種を選択して、「インストール」をクリックします。



注 記

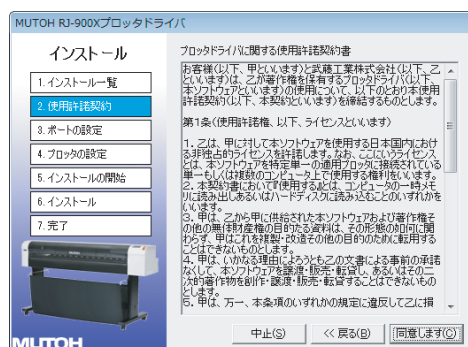
- 「中止」をクリックすると、プロッタドライバのインストールを中止します。

10. 「ドライバのインストール」をチェックし、「次へ」をクリックします。



11. 「プロッタドライバに関する使用許諾契約書」が表示されます。

- a. 記載内容に同意する場合：
 - 「同意します」をクリックします。
 - 次の画面に進みます。
- b. 記載内容に同意しない場合：
 - 「中止」をクリックします。
 - プロッタドライバのインストールを中止します。



- 次の画面に進みます。

12. 「ネットワーク」をクリックします。



- a. プロッタドライバを初めてインストールする場合：
手順 13 に進みます。
- b. 過去にプロッタドライバを同じコンピュータにインストールしたことがある場合：
手順 14 に進みます。

13. 以下の項目を設定し、「設定」をクリックします。

- a. ポート名：
任意の名称を入力します。
- b. IP アドレス：
製品に設定されている IP アドレスを入力します。→ 例「192.168.1.1」

注 記

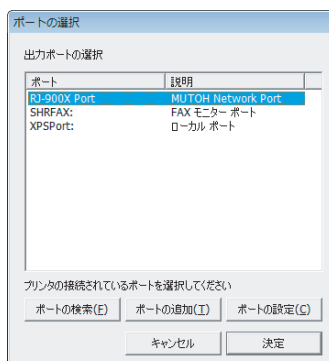
- 製品に設定されている IP アドレスについては、「ネットワーク設定メニュー」を参照してください。
🔗 [4.5.1.7 ネットワーク設定メニュー](#)



- 手順 15 に進みます。

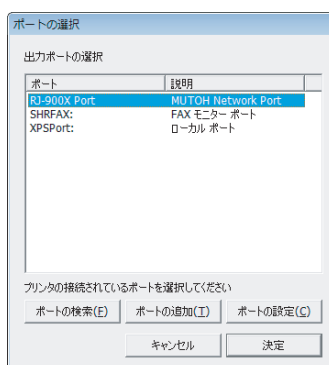
14. 出力ポート一覧に、過去にインストールした出力ポートが表示されます。

- a. 過去にインストールした出力ポートを使用する場合は、出力ポート一覧から選択して、「決定」をクリックします。

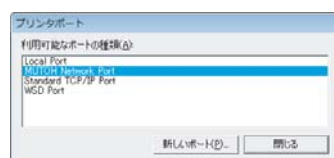


- 手順 15 に進みます。

- b. 新しくポートを追加したい場合は、
1) 「ポートの追加」をクリックします。



- 2) 「MUTOH Network Port」を選択して、「新しいポート」をクリックします。



- 手順 13 に進みます。

15. プロッタ名を設定し、「次へ」をクリックします。
プロッタ名を変更する必要のない場合は、デフォルト名を使用します。



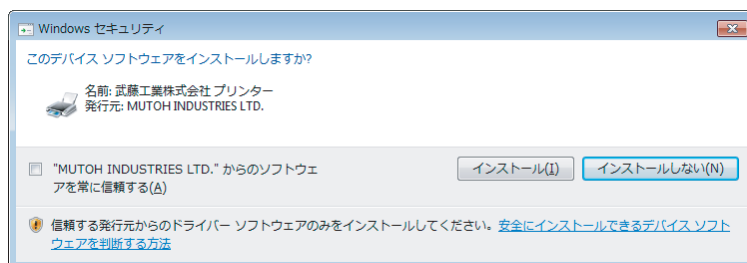
- 次の画面に進みます。

16. 表示内容を確認して、問題がなければ「次へ」をクリックします。



- ドライバのインストールを開始します。

17. インストール中、Windows セキュリティの警告が表示される場合があります。その場合は「インストール」をクリックします。



- プロッタドライバのインストールが完了すると、次の画面が表示されます。

18. 「終了」 をクリックします。



- プロッタドライバのインストールを終了します。

注 記

- 「メニュー」 をクリックすると、インストーラの最初の画面に戻ります。

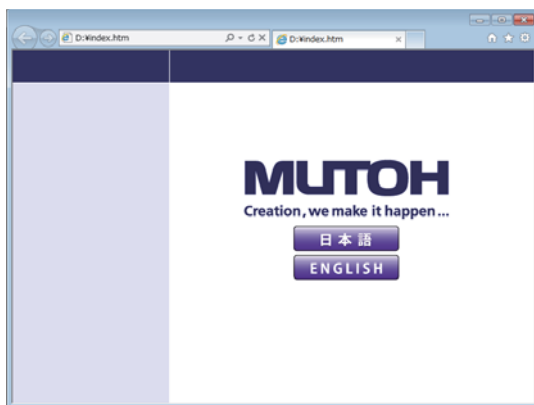
3.7.3 プロッタドライバのインストール手順（USB 接続の場合）

1. プロッタの電源を OFF します。

注 記

- USB ケーブルはまだ接続しないでください。
- 誤って先に接続してしまった場合は、「[6.1.1.1 ドライバをインストールする前に USB 接続してしまったとき](#)」を確認してください。

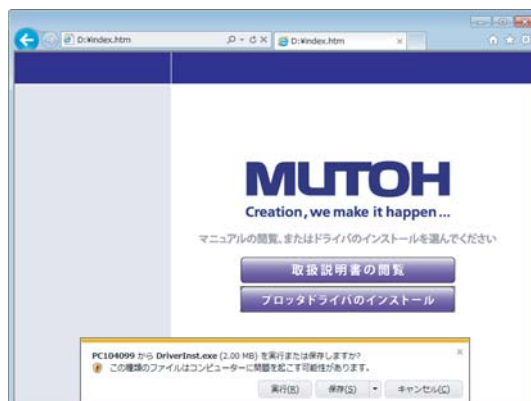
2. コンピュータの電源を ON します。
3. コンピュータが正常に起動したことを確認してから、MUTOH Club からダウンロードした圧縮ファイルに含まれている `index.htm` をクリックします。
 - ブラウザが起動します。
4. 使用する言語をクリックします。



- 次の画面に進みます。
5. 「プロッタドライバのインストール」をクリックします。



6. プログラム実行の確認メッセージが表示された場合は、「実行」をクリックします。



7. ユーザーアカウント制御の設定により、下記のようなメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックします。



注 記

- 「いいえ」をクリックすると、プロッタドライバのインストールを中止します。

- 次の画面に進みます。

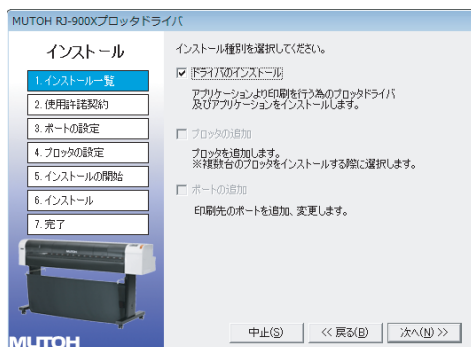
8. 使用する機種を選択して、「インストール」をクリックします。



注 記

- 「中止」をクリックすると、プロッタドライバのインストールを中止します。

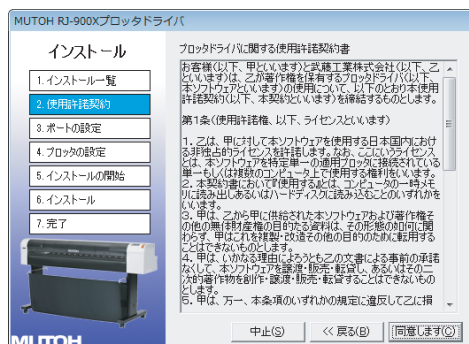
9. 「ドライバのインストール」をチェックし、「次へ」をクリックします。



- 次の画面に進みます。

10. 「プロッタドライバに関する使用許諾契約書」が表示されます。

- a. 記載内容に同意する場合：
「同意します」をクリックします。
 - 次の画面に進みます。
- b. 記載内容に同意しない場合：
「中止」をクリックします。
 - プロッタドライバのインストールを中止します。



11. 「USB」をクリックします。

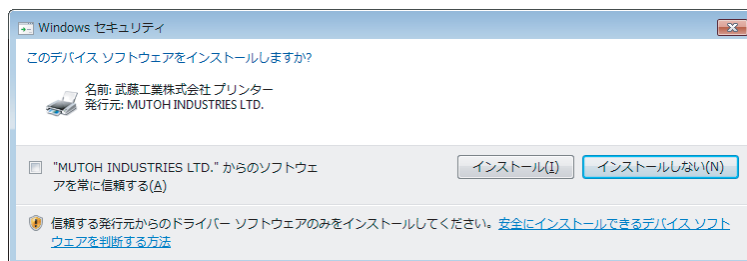


- 次の画面に進みます。

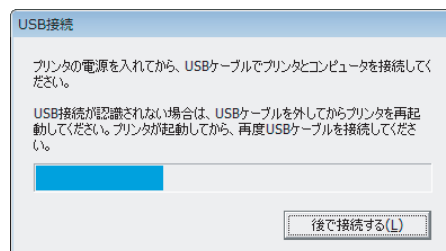
12. インストールを行うドライバ、ポートが表示されます。
表示内容を確認して、問題がなければ「次へ」をクリックします。



13. インストール中、Windows セキュリティの警告が表示される場合は、「インストール」をクリックします。



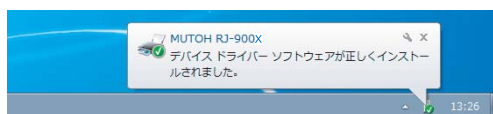
14. インストーラは USB 接続の待機状態になります。
 - a. 待機ダイアログが表示されるまでお待ちください。
 - b. プロッタの電源を ON します。
 - c. USB ケーブルでプロッタとコンピュータを接続します。



注 記

- 誤って先に接続してしまった場合は、「[6.1.1.1 ドライバをインストールする前に USB 接続してしまったとき](#)」を確認してください。
- プロッタの準備が出来ていない場合は、「後で接続する」をクリックします。

- ドライバのインストールを開始します。
- Windows へのドライバインストールが完了すると、USB 接続のダイアログが自動的に閉じられます。



15. 「終了」 をクリックします。



- プロッタドライバのインストールを終了します。

注 記

- 「メニュー」 をクリックすると、インストーラの最初の画面に戻ります。
- インストール中に接続しなかった場合は、この後接続してください。

3.7.4 ソフトウェアのアンインストール

注 記

- ソフトウェアのアンインストールを行うと、プロッタドライバが削除されます。アンインストール後に作画したい場合は、再度プロッタドライバをインストールしてください。

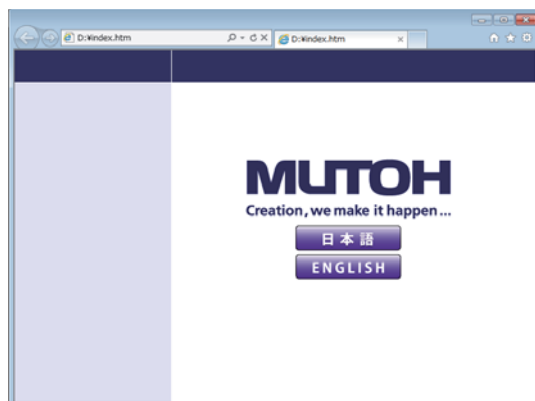
1. コンピュータの電源を ON します。
2. アンインストールを始める前に、現在の印刷設定を保存します。
 - a. プロッタドライバを起動します。
 - b. 印刷設定の「環境設定」タブで「設定パラメータの保存」をクリックし、設定ファイルを作成します。



注 記

- 保存した印刷設定は、プロッタドライバのバージョンアップ時や、コンピュータの変更時に役立ちます。
3. MUTOH Club からダウンロードした圧縮ファイルに含まれている `index.htm` をクリックします。
 - ブラウザが起動します。

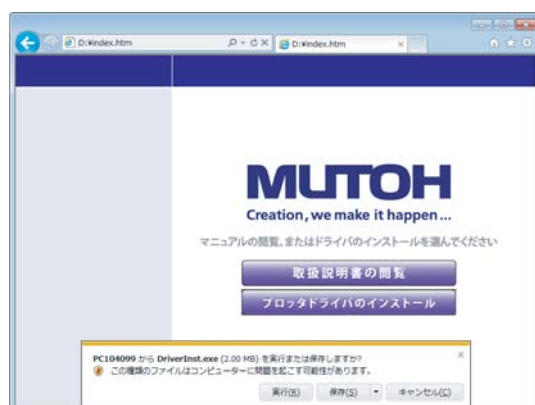
4. 使用する言語をクリックします。



5. 「プロッタドライバのインストール」をクリックします。



6. プログラム実行の確認メッセージが表示された場合は、「実行」をクリックします。



7. ユーザーアカウント制御の設定により、下記のようなメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックします。



注 記

- 「いいえ」をクリックすると、プロッタドライバのインストールを中止します。

- 次の画面に進みます。

8. 「アンインストール」をクリックします。

注 記

- 「中止」をクリックした場合、ソフトウェアのアンインストールを中止します。



- 次の画面に進みます。

9. アンインストール前の注意事項を確認して、「次へ」をクリックします。



- アンインストールを開始します。



- 次の画面が表示されます。

10. 「終了」をクリックします。



- プロッタドライバのインストールを終了します。

注 記

- システムから完全に削除されるのは Windows の再起動後です。プロッタドライバのバージョンアップを行う場合は必ず Windows を再起動してください。

3.7.5 印刷設定の既定値を変更する

よく使用する設定内容を、アプリケーションソフトの印刷設定の初期値にすることができます。

1. 「コントロールパネル」のカテゴリ表示から、「デバイスとプリンターの表示」を選択してください。



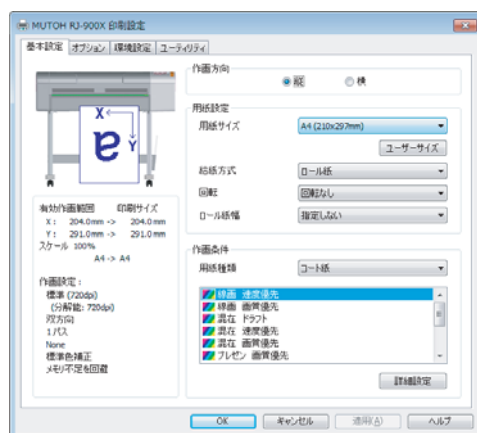
参考

- アイコン表示の場合は、「デバイスとプリンター」を選択してください。

2. 既定値を変更するプロッタのアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。



3. 必要に応じて設定内容を変更し、「OK」をクリックします。



3.7.6 優先されるドライバの設定

プロッタドライバは、印刷時にプロッタの設定を一時的に変更する機能を有しています。多くの機能でプロッタ側での設定が有効にならず、常にプロッタドライバでの設定が優先されますのでご注意ください。

プロッタドライバで設定変更可能な機能は、以下の一覧でご確認ください。

パネルメニュー	ドライバ設定	初期設定	備考
カラー	カラーモード	常にドライバ優先	[基本設定] - [詳細設定]
作画モード	作画モード	常にドライバ優先	[基本設定] - [詳細設定]
作画品質	パス	常にドライバ優先	[基本設定] - [詳細設定]
作画分解能	作画モード	常にドライバ優先	[基本設定] - [詳細設定]
作画方向	印字吐出方向	常にドライバ優先	[基本設定] - [詳細設定]
エフェクト	エフェクト	常にドライバ優先	[基本設定] - [詳細設定]
インク量	プリンタ濃度調整	常にドライバ優先	[基本設定] - [詳細設定] - [カラー調整]
インク乾燥時間	インク乾燥時間	プリンタ優先	[基本設定] - [詳細設定]
先端フィード	用紙先端フィード	常にドライバ優先	[オプション]
コマンド	出力方式(色補正)	常にドライバ優先	[基本設定] - [詳細設定]
原点	—	常にドライバ優先	—
作画単位	—	常にドライバ優先	—
ターミネータ	—	常にドライバ優先	—
イメージ解像度	—	常にドライバ優先	—
重ね書き	—	常にドライバ優先	—
線質	線質	常にドライバ優先	[基本設定] - [詳細設定]
レイアウト	—	設定による	コンピュータメモリ設定時はドライバ優先
配置方法	—	設定による	コンピュータメモリ設定時はドライバ優先
マージン判定	—	設定による	コンピュータメモリ設定時はドライバ優先
スケール	スケール	常にドライバ優先	[オプション]
ミラー	ミラー	常にドライバ優先	[オプション]
ローテート	作画方向	常にドライバ優先	[基本設定]
ペン設定	—	常にドライバ優先	—

注 記

- プロッタドライバで設定可能な機能は、プロッタドライバの機種やバージョンにより異なる場合があります。

3.7.7 LPR ポートの作成

LPR ポートを使用して印刷する場合は、以下の手順に従って、LPR ポートの追加を行ってください。

1. Windows 10

[スタート] - [すべてのアプリ] - [Windows システムツール] - [コントロールパネル]の順にクリックします。

Windows 8.1

デスクトップ上でチャームバーを表示し、[設定] - [コントロールパネル]の順にクリックします。

- 「コントロールパネル」が表示されます。

2. 「プログラム」を選択します。



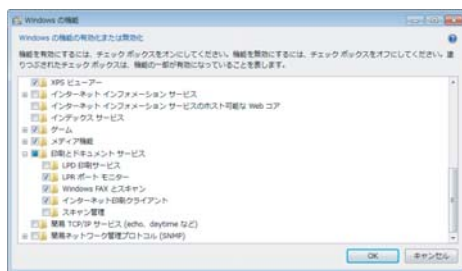
- 「プログラム」が表示されます。

3. 「Windows の機能の有効化または無効化」を選択します。



- 「Windows の機能」が表示されます。

4. 「印刷とドキュメントサービス」の「LPR ポートモニター」をチェックし、「OK」をクリックします。



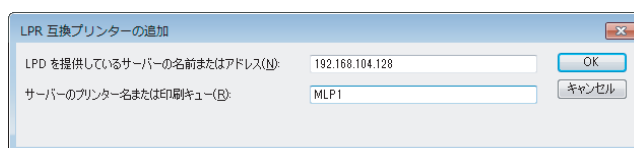
5. LPR ポートを以下のように設定します。

LPD を提供しているサーバーの名前またはアドレス

- プロッタに割り当てた IP アドレスを入力してください。

サーバーのプリンタ名または印刷キュー

- 半角英数大文字で「MLP1」

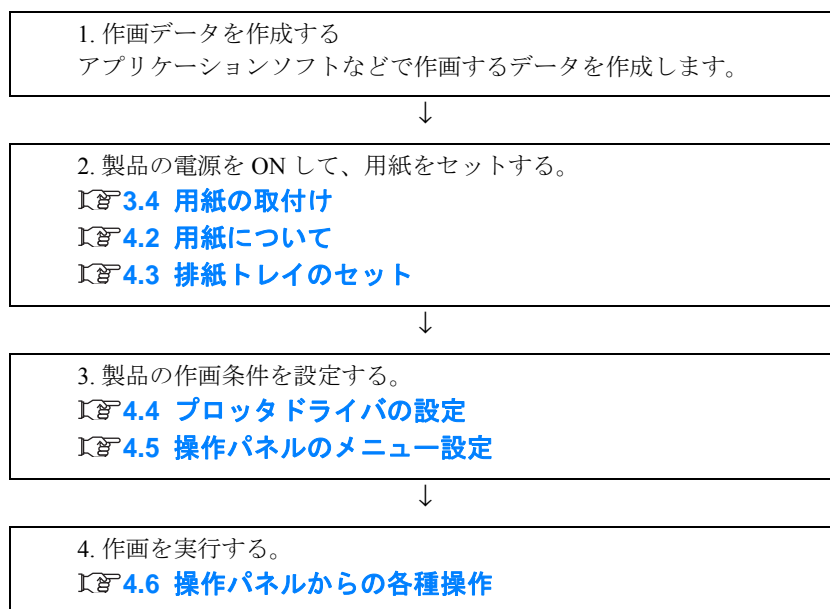


4 操作方法

この章では、本製品の操作方法について説明します。

4.1 作画までの流れ

本製品で作画するために必要な手順を以下のフローに示します。
必要に応じて、それぞれの項目を参照してください。



注 記

- 作画中はフロントカバーを開けないでください。フロントカバーを開けた場合、製品は作画を中断します。
フロントカバーを閉じると製品は作画を再開しますが、作画品質は保証できなくなります。

4.2 用紙について

本製品で使用可能な用紙の詳細について説明します。

4.2.1 用紙種類

用紙の種類と品質は、作画結果の仕上がりに大きく影響します。以下の説明をよく理解して、用途に合った用紙を使用してください。

本製品では、以下の各種専用指定紙を用意しています。用途にあわせて、適切な用紙を選択してください。

- モノクロトレーシングペーパー
- モノクロイレーザブルトレペ
- マットフィルム
- コート紙
- 再生紙
- 普通紙
- チェック紙
- 光沢紙

注 記

- 各種専用指定紙の用紙設定は「[7.3.2 サブライ用品](#)」を参照してください。
 - 専用指定紙以外の用紙を使用して、製品の異常または故障が発生した場合は、
 - 保証対象外（有償修理）となります。
 - 対処方法については、以下を参照してください。
 - ▶ [5 保守](#)
 - ▶ [6 トラブルシューティング](#)
- 修理を依頼される場合は、「[7.4.2 テクニカルサポート連絡窓口](#)」にお問合せください。

参 考

- 専用指定紙を使用する場合、作画画質に関する設定値は、用紙種類毎に設定されています。設定内容については、「[7.1.2 作画動作仕様](#)」を参照してください。
- 専用指定紙以外の用紙に作画する場合、
 - 用紙の種類や製品の適切な設定についての情報は、用紙の取扱説明書または用紙の購入先にお問合せください。
 - 作画画質に関する設定値は、「[4.5.1.2 用紙設定メニュー](#)」に従って、設定を行ってください。

4.2.2 用紙の取扱上の注意

用紙を取扱う場合は、以下の点に注意してください。

注 記

- 専用指定紙は、適切な環境下でご使用ください。
作画に適した温度・湿度は次のとおりです。

	温度	湿度
作画精度補償範囲	15℃～28℃	40%～60%
変化率	1時間あたり2℃以内	1時間あたり5%以内

- 折り目、傷、破れ、および巻き癖のある用紙は使用しないでください。
- 用紙は、作画環境の湿度変化により、一定の割合で寸法が変化することがあります。用紙の使用前には、作画環境に約 30 分間放置して、作画環境に慣らしてください。
- 作画環境に慣らさないうちに作画を行うと、作画用紙のズレ、シワなどにより紙ジャムが発生する恐れがあります。また、作画品質にも悪影響があります。
- 用紙には印字面と非印字面があります。非印字面に印字すると、カスレ・にじみの原因となります。
- 用紙の印字面には手を触れないでください。手についた水分・油脂が、作画品質に影響します。
- 用紙をセットした状態で、長時間放置しないでください。用紙によっては癖がつき、紙浮き、紙ジャム、印字品質低下の原因となります。特に冬季・乾燥期・正式出図時には、こうした用紙の使用は避けてください。
- 用紙の個装箱・個装袋は、用紙の保管時に使用しますので、紛失しないでください。

4.2.3 用紙の保管時の注意

用紙を保管する場合は、以下の点に注意してください。

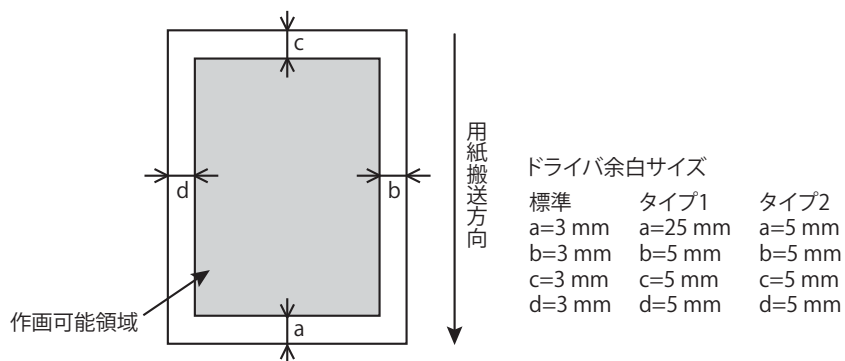
注 記

- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 開封後のカット紙は、袋に戻して水平な状態で保管してください。
- 使用しないロール紙は、スクローラから取外し、きちんと巻きなおしてから、梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。

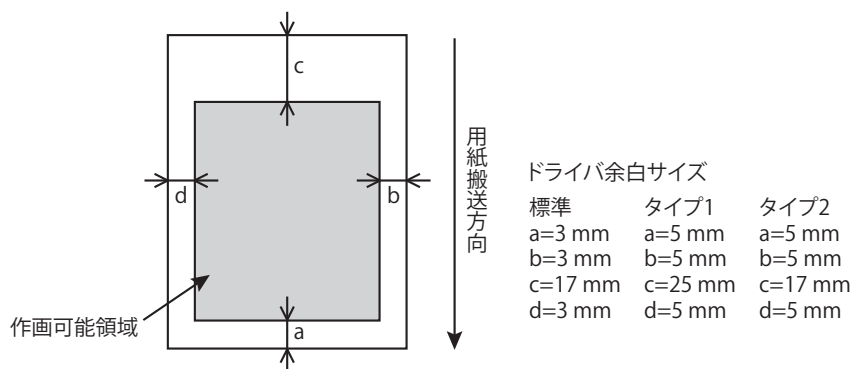
4.2.4 作画領域

本製品の作画可能な領域は以下のとおりです。

(1) ロール紙



(2) カット紙



4.2.5 ヘッド高さ調整

印字率の高い作画を行う場合や反りの強い用紙を使用する場合、ヘッド擦れを起こす場合があります。

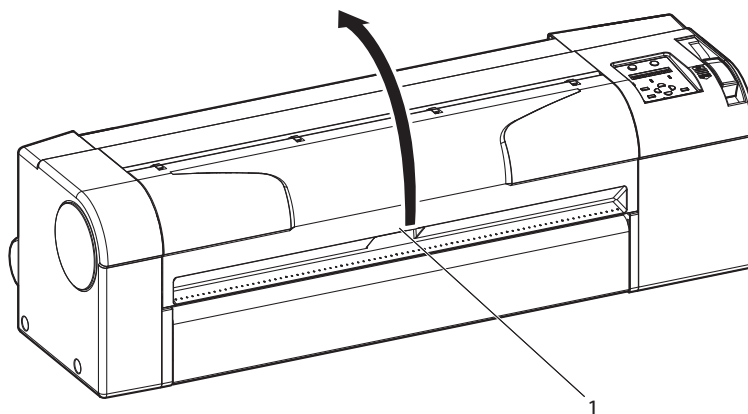
ヘッド高さを切替えることでヘッド擦れを回避できる場合があります。

以下の手順に従って、ヘッド高さを切替えてください。

注 記

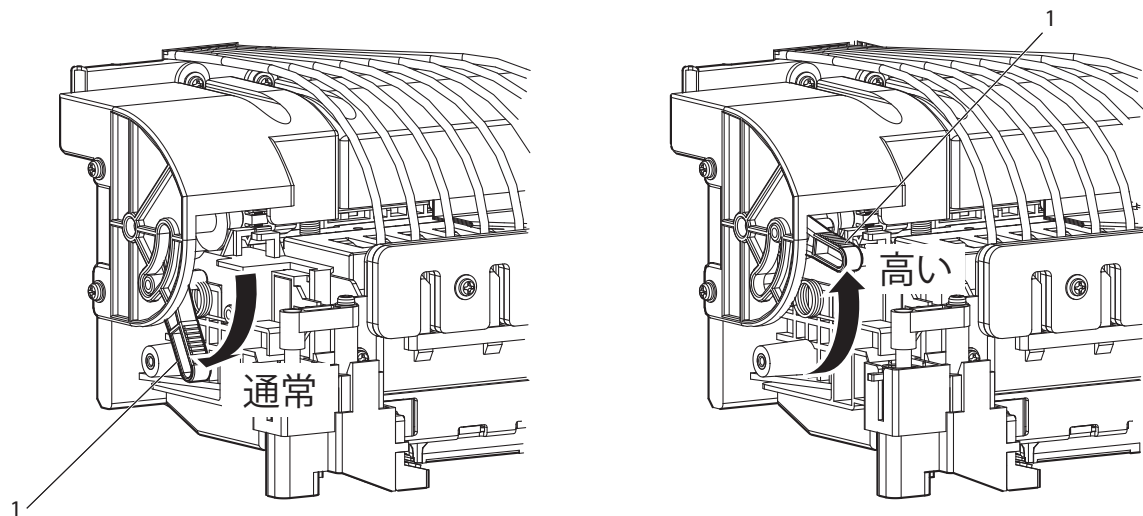
- ヘッド高さ調整レバーを上げた場合、作画品質は保証できません。
- 作画中にフロントカバーを開け、ヘッド高さを切替えないでください。ヘッド高さを切替えると、画質調整が変わってしまい、作画品質が保証できません。

1. フロントカバーを開けます。



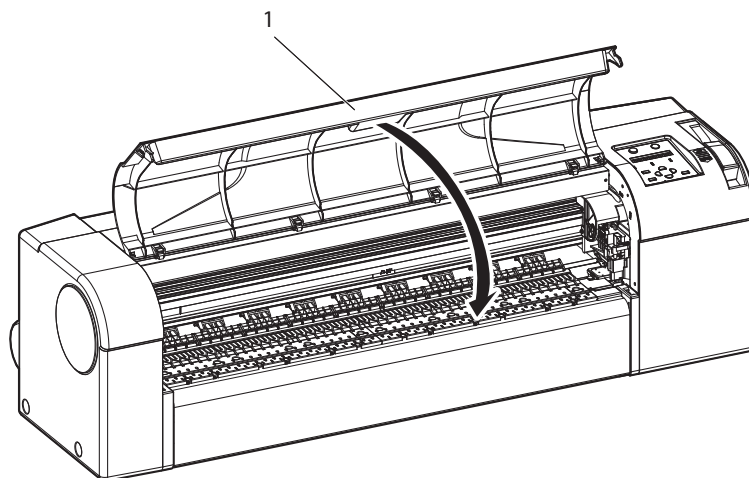
番号	名称
1	フロントカバー

2. ヘッド高さ調整レバー（オレンジ色）を動かして、ヘッド高さを切替えます。



番号	名称
1	ヘッド高さ調整レバー

3. フロントカバーを閉じます。



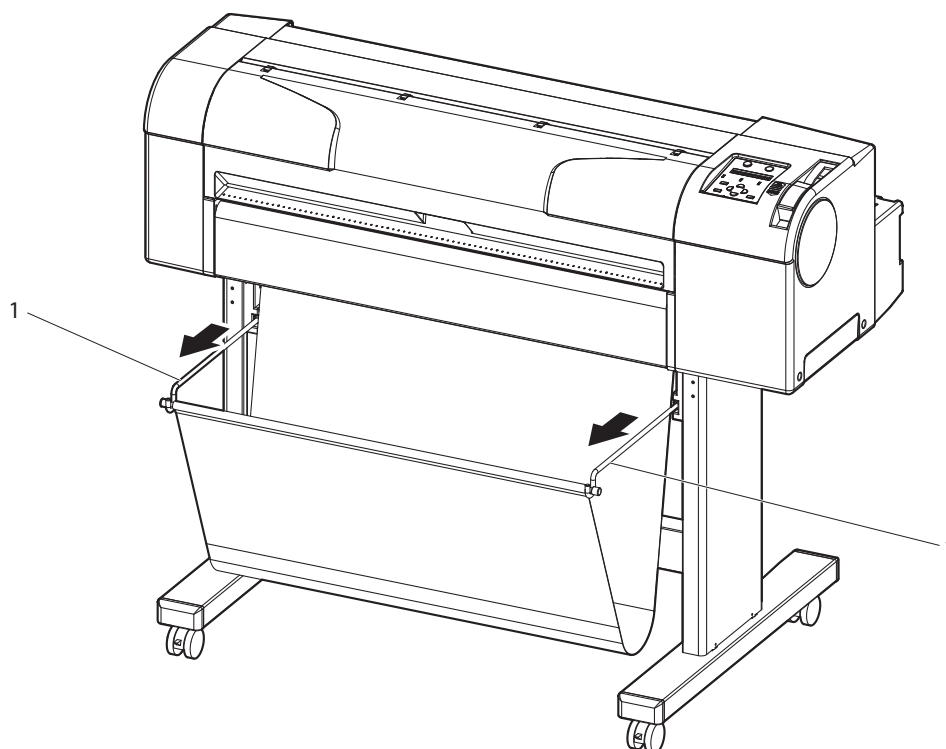
番号	名称
1	フロントカバー

4.3 排紙トレイのセット

排紙トレイ（RJ-901X はオプション）のセット方法について説明します。

専用スタンドに付属の排紙トレイは、作画された用紙の汚れ・折れなどを防ぎ、スムーズに排紙されるために、必要に応じて使用します。

1. トレイフックをいっぱいに引出します。



番号	名称
1	トレイフック

4.4 プロッタドライバの設定

プロッタドライバの設定方法について説明します。

4.4.1 プロッタドライバの設定方法

Windows アプリケーションソフトウェアで作成された作画データを、本製品に出力して作画するには、作画条件に合わせてプロッタドライバを設定する必要があります。

以下の手順に従って、次の各項目の設定を行ってください。

1. プロッタドライバの選択
2. プロッタドライバの設定

注 記

- プロッタドライバの設定手順については、プロッタドライバに添付のヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルは、プロッタドライバ設定画面の [ヘルプ] をクリックすると表示されます。

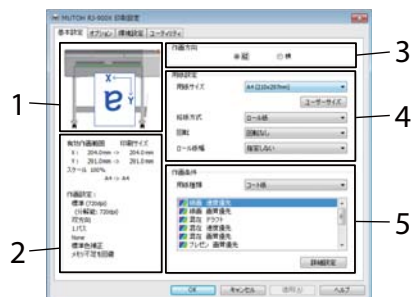
4.4.2 プロッタドライバの設定項目


プロッタドライバの設定項目について説明します。

設定項目	内容
基本設定	作画についての基本的な設定と、設定内容の確認を行います。 ☞ 4.4.2.1 基本設定メニュー
詳細設定	作画条件についての詳細設定と、設定内容の確認を行います。 ☞ 4.4.2.2 詳細設定メニュー
オプション	印刷のオプション機能に関する設定と、設定内容の確認を行います。 ☞ 4.4.2.3 オプションメニュー
環境設定	設定内容の呼び出し、保存、初期化などを行います。 ☞ 4.4.2.4 環境設定メニュー
ユーティリティ	クリーニングやノズルチェックを行います。 ☞ 4.4.2.4 環境設定メニュー

4.4.2.1 基本設定メニュー

作画についての基本的な設定と、設定内容の確認を行います。



番号	名称	内容
1	ガイド図	プロッタへの出力イメージを表示します。
2	設定情報表示ボックス	各項目で設定されている情報が表示されます。
3	作画方向設定	作画方向を設定します。
4	用紙設定	下記を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 用紙サイズ • 給紙方式 • 回転 • ロール紙幅
5	作画条件	作画条件を設定します。 「詳細設定」をクリックすると詳細設定メニューに移行します。  4.4.2.2 詳細設定メニュー

4.4.2.2 詳細設定メニュー

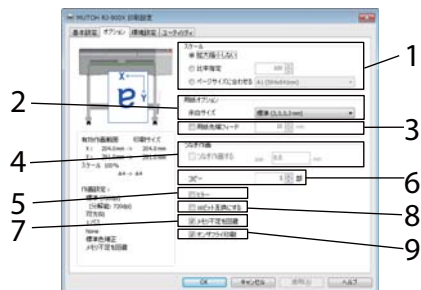
作画条件についての詳細設定と、設定内容の確認を行います。



番号	設定項目	内容
1	用紙種類	現在設定されている用紙種類を表示します。
2	カラーモード	カラーモードを設定します。
3	作画条件名	作画条件名を表示します。 新規の作画条件名を入力することができます。
4	作画条件リスト	デフォルトの作画条件のリストを表示します。 新しい作画条件名で保存を行うと、新しい作画条件がリストに追加されます。
5	作画品質	作画品質を設定します。
6	色補正	色補正を設定します。 「カラー調整」をクリックすると詳細な設定を行うことができます。
7	階調処理	階調処理を設定します。
8	インク乾燥時間	インク乾燥時間を設定します。
9	保存	変更した作画条件を保存します。 デフォルトの作画条件名を上書き保存することはできません。
10	削除	作画条件リストから作画条件を削除します。 デフォルトの作画条件は削除できません。

4.4.2.3 オプションメニュー

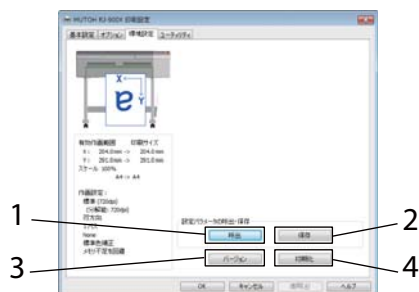
印刷のオプション機能に関する設定と、設定内容の確認を行います。



番号	設定項目	内容
1	スケール	スケール機能を設定します。
2	余白サイズ	余白サイズを設定します。
3	用紙先端フィード	用紙先端フィード機能を設定します。 「1 mm ~ 100 mm」まで設定可能です。
4	つなぎ作画	つなぎ作画機能を設定します。
5	ミラー	ミラー機能を設定します。
6	コピー	コピー部数を設定します。
7	メモリ不足回避	メモリ不足回避機能を設定します。
8	16ビット互換	16ビット互換機能を設定します。
9	オンザフライ印刷	オンザフライ印刷機能を設定します。 設定すると、ドライバで処理したデータをすぐにプロッタに送信します。PCの性能やデータによっては、印刷中にプリントヘッドが停止したり、タイムアウトエラーが発生し印刷できない場合があります。

4.4.2.4 環境設定メニュー

設定内容の呼び出し、保存、初期化などを行います。



番号	設定項目	内容
1	呼出	指定したファイル (*.MTP) から全設定を呼び出します。
2	保存	現在の設定内容をファイル (*.MTP) に保存します。
3	バージョン	バージョン情報、コピーライトを表示します。
4	初期化	「基本設定」「オプション」タブの設定内容を初期化します。

4.4.2.5 ユーティリティメニュー

クリーニングやノズルチェックを行います。



番号	設定項目	内容
1	クリーニング	ヘッドクリーニングを行います。 【 5.2.3 ヘッドクリーニング 】
2	ノズルチェック	ノズルチェック作画を行います。 【 3.5.2 ノズルチェック 】
3	設定内容作画	設定内容作画を行います。 【 3.5.1 設定内容作画 】
4	カラーパレット作画	カラーパレット作画を行います。 【 3.5.3 パレット作画 】

4.5 操作パネルのメニュー設定

4.5.1 設定メニューの項目

製品の各設定メニューについて説明します。
設定メニューには、以下の項目があります。

設定項目	内容
テスト作画メニュー	テスト作画を行います。
用紙設定メニュー	作画する用紙についての各種設定を行います。
コマンド設定メニュー	プロッタコマンドの各種条件設定を行います。
ペン設定メニュー	作画に使用するペンについての各種設定を行います。
レイアウト設定メニュー	レイアウト機能についての各種設定を行います。
機能設定メニュー	作画データの処理についての各種設定を行います。
ネットワーク設定メニュー	ネットワーク・インターフェイスについての各種設定を行います。
ユーティリティメニュー	製品の応用的な機能について各種設定を行います。
利用状況表示メニュー	インクの残量やカッター寿命等を表示します。
クリーニングメニュー	ヘッドクリーニングを行います。

注 記

- ユーティリティメニューのメニュー表示項目が「通常」に設定されている場合、以下のメニューは表示されません。
 - コマンド設定メニュー
 - ペン設定メニュー
 - 機能設定メニュー
 - ネットワーク設定メニューの双方向ポート項目
 - ユーティリティメニューの初期化メニュー

参 考

- 各表中の < > 部は、工場出荷時の設定値（初期値）です。

4.5.1.1 テスト作画メニュー

各項目のテスト作画を行います。

設定項目	内容
設定内容作画	設定内容作画を行います。 ☞ 3.5.1 設定内容作画
ノズルチェック	ノズルチェックを行います。 ☞ 3.5.2 ノズルチェック
パレット作画	パレット作画を行います。 ☞ 3.5.3 パレット作画
メンテナンスステータス作画	メンテナンスステータス作画を行います。 ☞ 3.5.4 メンテナンスステータス作画

4.5.1.2 用紙設定メニュー

作画する用紙についての各種設定を行います。

注 記

- 専用指定紙以外の用紙（ユーザ用紙）を使用した場合、次の諸問題が発生することがあります。
 - 用紙検出エラー
 - 用紙の斜行、破れ、シワ
 - 用紙の詰まり
 - インクのにじみ、かすれ、汚れにより、良好な作画品質が得られない
 - ロール紙のエンド検出が出来ない 等
- ユーザ用紙の使用が原因となって発生した諸問題については、保証対象外（有償修理）となります。

設定項目	設定値	内容
用紙種類	モノクロトレペ カラートレペ 普通紙 <コート紙> フィルム 光沢紙 ユーザ用紙 1 ユーザ用紙 2 ユーザ用紙 3 ユーザ用紙 4	<ul style="list-style-type: none"> 使用する専用指定紙の種類を設定します。次の設定項目に進みます。 【参考】 4.5.1.2.1 用紙種類項目で専用指定紙に設定した場合 専用指定紙以外の用紙を使用する場合は、「ユーザ用紙 1～4」を使用します。次の設定項目に進みます。 【参考】 4.5.1.2.2 用紙種類項目で「ユーザ用紙 1～4」に設定した場合
カット紙サイズ	自動検出 自動検出 2 <定型紙縦置き> 定型紙横置き	<p>カット紙をセットする場合に、用紙サイズの検出方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動検出：カット紙の縦・横のサイズを自動的に検出します。 自動検出 2：「自動検出」で用紙検出できない場合に設定します。 定型紙縦置き：定型サイズのカット紙を縦にセットした場合に設定します。 定型紙横置き：定型サイズのカット紙を横にセットした場合に設定します。 <p>参 考</p> <ul style="list-style-type: none"> 専用指定紙以外のカット紙を使用する場合は、「自動検出」または「自動検出 2」に設定してください。 本製品では、以下の定型サイズのカット紙をセットできます。 <ul style="list-style-type: none"> RJ-901X ISO 系列 (A1, A2, A3, A4) JIS 系列 (B2, B3, B4, B5) ARCH 系列 (A, B, C, D) RJ-900X ISO 系列 (A0, A1, A2, A3, A4) JIS 系列 (B0, B1, B2, B3, B4, B5) ARCH 系列 (A, B, C, D, E)
用紙検出	<オン> オフ	<p>作画開始時に用紙検出を行なうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> オン：用紙検出を行ないません。 オフ：用紙検出を行いません。[確定]キーを押し、印刷したい用紙幅を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> RJ-901X: 150 mm ~ <594 mm> ~ 610 mm RJ-900X: 150 mm ~ <841 mm> ~ 1,143 mm <p>参 考</p> <ul style="list-style-type: none"> 用紙幅の変更は、[設定値+][設定値-]キーで行ないません。[確定]キーで確定します。



設定項目	設定値	内容
先端フィード	<0 mm> ~ 100 mm	<p>作画開始時に用紙送りを行います。ロール紙に作画する場合に設定します。</p> <p>注 記</p> <ul style="list-style-type: none"> 先端フィードを 0 mm に設定している場合は、用紙の余白は 3 mm になります。
ロール紙管理	<無効>	ロール紙残量の管理を行いません。
	ロール紙 1	<p>ロール紙残量を設定します。 0 m ~ 99 m の範囲で設定できます。 設定値は「ロール紙 1」～「ロール紙 4」として、それぞれ 4 通り設定できます。</p>
	ロール紙 2	
	ロール紙 3	
	ロール紙 4	
先端カット長さ	<0 mm> ~ 500 mm	用紙イニシャル時に、設定した長さ分の用紙をカットします。

4.5.1.2.1 用紙種類項目で専用指定紙に設定した場合

参 考




- 専用指定紙を使用する場合、作画画質に関する設定値は、用紙種類毎に設定されています。設定内容については、「[7.1.2 作画動作仕様](#)」を参照してください。

設定項目	設定値	内容
エフェクト	<None>	エフェクト機能を使用しません。
	Wave	作画のつなが目を波状にします。 None より作画品質が向上する場合があります。
	Fog	作画のつなが目をぼかします。 「Wave」で白スジや縦ムラ等が目立つ場合に設定します。 低解像度向きのモードです。
	Fine&Fuzz	作画のつなが目を波状にし、かつぼかします。 「Wave」より若干遅い速度で作画を行います。
	Fine&Fog	作画のつなが目をぼかします。 「Fine&Fuzz」で横ムラが目立つ場合に設定します。 「Fine&Fuzz」より遅い速度で印刷します。
	A-S. Fine&Wave	プリントヘッドの半分のノズルを使用して 「Wave」作画を行います。 半分のノズルしか使用しないため作画速度が 「Wave」の約半分になります。 「Fine&Fuzz」より作画画質を向上させたい場合に 設定します。また、片側のノズルが詰まった場合に 使用すると、画質の低下を防ぐことができます。
	B-S. Fine&Wave	「A-S.Fine&Wave」の反対側の半分のノズルを使用 して「Wave」作画を行います。 半分のノズルしか使用しないため作画速度が 「Wave」の約半分になります。 「Fine&Fuzz」より作画画質を向上させたい場合に 設定します。また、片側のノズルが詰まった場合に 使用すると、画質の低下を防ぐことができます。
ロール紙カット	<オン>	作画終了後、用紙カットするかどうかを設定します。
	オフ	<ul style="list-style-type: none"> • オン：作画終了後、自動的に用紙をカットします。 • オフ：作画終了後、用紙をカットしません。

設定項目	設定値	内容
ロール紙カット方法	<2 段階 - 弱い>*1	ロール紙を使用する場合、用紙のカット方法を設定します。 ・ 2 段階：用紙を 2 回に分けてカットします。 ・ 強い / 弱い：断ち切る力が異なります。 ・ 3 段階：用紙を 3 回に分けてカットします。 ・ 強い / 弱い：断ち切る力が異なります。 *1: 初期値は用紙により異なります。 ・ 光沢紙：2 段階 - 強い ・ その他の用紙：2 段階 - 弱い
	<2 段階 - 強い>*1	
	3 段階 - 弱い	
	3 段階 - 強い	
用紙送り補正	初期調整作画	作画した調整パターンをもとに、データ上の長さ と実測距離を設定値として入力します。  4.5.1.2.3 用紙送り補正メニュー
	初期調整値	
	確認調整作画	
	微調整作画	
	微調整値	
画質微調整	パターン A	精度調整作画または調整値初期化を行います。  4.5.1.2.4 画質微調整
	パターン B	
	パターン C	
	調整値初期化	

4.5.1.2.2 用紙種類項目で「ユーザ用紙 1～4」に設定した場合

設定項目	設定値	内容
作画品質	< 図面 >	作画データの内容にあわせて、作画品質を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 図面：線画に適した作画品質で作画します。 • フォト：画像に適した作画品質で作画します。
	フォト	
作画分解能	HS360dpi / 360dpi / <720dpi> / 1440dpi / 2880dpi	作画データの分解能を設定します。
作画方向	片方向	作画時のヘッドの動作方向を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 片方向：片道方向のみ印字します。 • 双方向：往復方向で印字します。
	< 双方向 >	
エフェクト	<None>	エフェクト機能を使用しません。
	Wave	作画のつなが目を波状にします。 None より作画品質が向上する場合があります。
	Fog	作画のつなが目をぼかします。 「Wave」で白スジや縦ムラ等が目立つ場合に設定します。 低解像度向きモードです。
	Fine&Fuzz	作画のつなが目を波状にし、かつぼかします。 「Wave」より若干遅い速度で作画を行います。
	Fine&Fog	作画のつなが目をぼかします。 「Fine&Fuzz」で横ムラが目立つ場合に設定します。 「Fine&Fuzz」より遅い速度で印刷します。
	A-S. Fine&Wave	プリントヘッドの半分のノズルを使用して「Wave」作画を行います。 半分のノズルしか使用しないため作画速度が「Wave」の約半分になります。 「Fine&Fuzz」より作画画質を向上させたい場合に設定します。また、片側のノズルが詰まった場合に使用すると、画質の低下を防ぐことができます。
	B-S. Fine&Wave	「A-S.Fine&Wave」の反対側の半分のノズルを使用して「Wave」作画を行います。 半分のノズルしか使用しないため作画速度が「Wave」の約半分になります。 「Fine&Fuzz」より作画画質を向上させたい場合に設定します。また、片側のノズルが詰まった場合に使用すると、画質の低下を防ぐことができます。
インク量 (ブラック)	5% ~ <70%> ~ 100%	用紙の性質に合わせて、作画時のブラックインク吐出量を調節します。
インク量 (カラー)	5% ~ <60%> ~ 100%	用紙の性質に合わせて、作画時のカラーインク吐出量を調節します。

設定項目	設定値	内容
紙質	<通常>	用紙の硬さによって、用紙を作図板に吸着させる力を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 通常：一般的な用紙を使用する場合に設定します。 • 弱い：柔らかい用紙を使用する時に、作画時等の紙送りに失敗し、用紙ジャムを起こす恐れがある場合に設定します。 • さらに弱い：とくに柔らかい用紙を使用する時に、「弱い」設定でも用紙ジャムを起こす恐れがある場合に設定します。 • 枠付き：周囲に補強用の枠が付いた用紙を使用する場合に設定します。
	弱い	
	さらに弱い	
	枠付き	
インク乾燥時間	<0 秒> ~ 270 秒 ~ 60 分	作画用紙のインクを乾燥させるため、作画終了からロール紙カットまでの待機時間を設定します。
ロール紙カット	<オン>	ロール紙を使用する場合、作画終了後に用紙カットするかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • オン：作画終了後、自動的に用紙をカットします。 • オフ：作画終了後、用紙をカットしません。
	オフ	
ロール紙カット方法	<2 段階 - 弱い>*1	ロール紙を使用する場合、用紙のカット方法を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 2 段階：用紙を 2 回に分けてカットします。 • 強い / 弱い：断ち切る力が異なります。 • 3 段階：用紙を 3 回に分けてカットします。 • 強い / 弱い：断ち切る力が異なります。 <p>*1: 初期値は用紙により異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 光沢紙：2 段階 - 強い • その他の用紙：2 段階 - 弱い
	<2 段階 - 強い>*1	
	3 段階 - 弱い	
	3 段階 - 強い	
用紙送り補正	初期調整作画	作画した調整パターンをもとに、データ上の長さ と実測距離を設定値として入力します。  4.5.1.2.3 用紙送り補正メニュー
	初期調整値	
	確認調整作画	
	微調整作画	
	微調整値	
画質微調整	パターン A	精度調整作画または調整値初期化を行います。  4.5.1.2.4 画質微調整  4.5.1.2.5 画質微調整値の初期化
	パターン B	
	パターン C	
	調整値初期化	

4.5.1.2.3 用紙送り補正メニュー

用紙送りについて説明します。

用紙によっては、用紙送り量が変化するため、作画結果に以下の現象がみられることがあります。

- 作画された画像が重なる
- 作画された画像に白い筋が入る 等

このような場合には、次の方法で改善することがあります。

1. 操作パネルに用紙送り補正メニューを表示させます。
 - a. 操作パネルの [メニュー] キーを押します。
 - 操作パネルに「*メニュー* テストサクカゝ >」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
 - b. 操作パネルの [>] キーを押します。
 - 操作パネルに「*メニュー* ヨウシセツテイ >」と表示されます。
 - c. 操作パネルの [確定] キーを押します。
 - 操作パネルに「シュルイ : コートシ」が表示されます。
 - d. 操作パネルの [設定値+] キーまたは [設定値-] キーを押して、使用する用紙種類を選びます。
 - e. 操作パネルの [確定] キーを押します。
 - 操作パネルに「エフェクト : None」が表示されます。

注 記

- ユーザー用紙 1～4 をご使用の場合は、操作パネルに「サクカゝ ヒンシツ : スゞ メン」が表示されます。

- f. 操作パネルの [>] キーを数回押して「オクリホセイ : ショキチヨウセイサクカゝ >」を選びます。
 - 用紙送り補正メニューに移行します。

2. 初期調整作画を行います。

a. 操作パネルの [確定] キーを押します。

- 操作パネルに「フィード ナカ サ : 250 mm」と表示されます。

参 考

- 初期調整作画の用紙搬送方向の長さ（フィード長さ）は、通常は 250mm に設定されています。
- フィード長さを長くすると、用紙送り補正の精度が若干向上します。
フィード長さを変更する場合は、操作パネルの [設定値+] キーまたは [設定値-] キーを押して、設定値を変更してください。

b. 操作パネルの [確定] キーを押します。

- 操作パネルに「データサクカ チュウ」と表示されます。
- 初期調整作画を開始します。



番号	名称
1	フィード長さ
2	用紙搬送方向

- 初期調整作画が終了すると、通常状態に移行します。

c. 初期調整作画終了後、用紙をカットします。

☞ 4.6.3 用紙のカット

3. 定規等を使用して、初期調整作画の「+」間の長さを測ります。

4. 初期調整値を設定します。
 - a. 手順 1 と同様に、操作パネルに用紙送り補正メニューを表示させます。
 - b. 操作パネルの [設定値+] キーまたは [設定値-] キーを押して、「オクリホセイ： ショキチヨウセイチ」を選びます。
 - c. 操作パネルの [確定] キーを押します。
 - 操作パネルに「チヨウセイチ： 250.0 / 250 mm」と表示されます。
 - d. 操作パネルの [設定値+] キーまたは [設定値-] キーを押して、手順 3 で測った実測値を入力します。
 - e. 操作パネルの [確定] キーを押します。
 - 初期調整値が保存されます。
 - 操作パネルに「オクリホセイ： ショキチヨウセイチ」と表示されます。
5. 確認調整作画を行います。
 - a. 操作パネルの [設定値+] キーまたは [設定値-] キーを押して、「オクリホセイ： カクニンチヨウセイサクカ[°]」を選びます。
 - b. 操作パネルの [確定] キーを押します。
 - 操作パネルに「フィート[°] ナカ[°] サ： 250 mm」と表示されます。


参 考

- 確認調整作画の用紙搬送方向の長さ（フィード長さ）は、通常は 250 mm に設定されています。
- フィード長さを長くすると、用紙送り補正の精度が若干向上します。
フィード長さを変更する場合は、操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定値を変更してください。

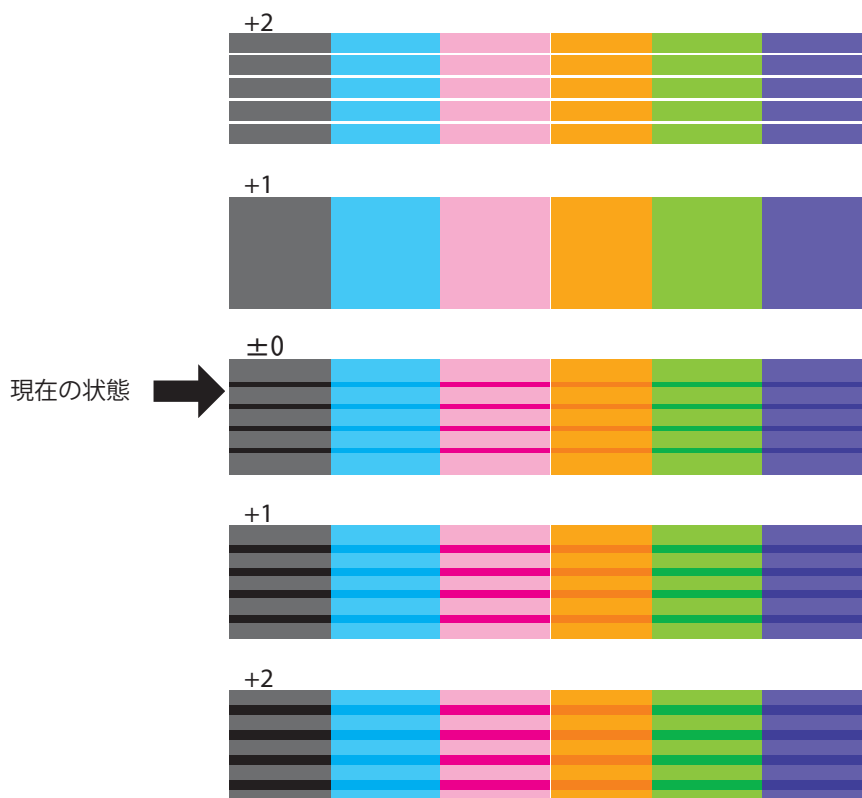
- c. 操作パネルの [確定] キーを押します。
- 操作パネルに「データサクカ`チュウ」と表示されます。
 - 確認調整作画を開始します。



番号	名称
1	フィード長さ
2	用紙搬送方向

- 確認調整作画が終了すると、通常状態に移行します。
- d. 確認調整作画終了後、用紙をカットします。
 **4.6.3 用紙のカット**
- 定規等を使用して、確認調整作画の作画された「+」間の長さを測り、作画時のフィード長さと一致しているか確認します。
 - 長さが一致していない場合は、手順 1～5 に従って再度調整を行います。
 - 長さが一致した場合は、手順 7 に進みます。
 - 微調整作画を行います。
 - 手順 1 と同様に、操作パネルに用紙送り補正メニューを表示させます。
 - 操作パネルの [設定値+] キーまたは [設定値-] キーを押して、「オクリホセイ : ヒ`チョウセイサクカ`」を選びます。

- c. 操作パネルの [確定] キーを押します。
- 操作パネルに「データサクカ^レチュウ」と表示されます。
 - 微調整作画を開始します。



- 微調整作画が終了すると、操作パネルに「オクリホセイ : ヒ^レチョウセイサクカ^レ」と表示されます。

8. 次図を参考にして、作画結果を確認します。



9. 微調整値を設定します。
 - a. 操作パネルの [設定値 +] キーまたは [設定値 -] キーを押して、「オクリホセイ : ヒョウセイチ」を選びます。
 - b. 操作パネルの [確定] キーを押します。
 - 操作パネルに「ヒョウセイチ : 0 pulse」と表示されます。
 - c. 操作パネルの [設定値 +] キーまたは [設定値 -] キーを押して、手順7の作画結果に従って微調整値を入力します。
作画結果のなかで最も白スジ・画像の重なりがないところが最適な調整値です。作画結果の左上にある数字を微調整値として入力してください。±0 が現在の状態を表します。手順7のイラストの場合、+1 が最適な調整値です。
 - d. 操作パネルの [確定] キーを押します。
 - 微調整値が保存されます。
 - 操作パネルに「ホセイ5 : ヒョウセイチ」と表示されます。
10. 操作パネルの [メニュー] キーを押します。
 - 操作パネルが通常状態に戻ります。
 - 用紙送り補正值の調整を終了します。

4.5.1.2.4 画質微調整

作画に最適な画質の調整を行います。

ご使用になる用紙種類設定、カラー設定、作画モードの関係により、必要な調整パターンが異なります。

- さまざまな用紙設定をご使用になる場合や、プロッタドライバなどで印刷設定のカスタマイズを行う場合：調整パターン A～C のすべてを実行してください。
- 決まった用紙設定のみ使用する場合：下表を参照の上、必要な調整パターンを実行してください。

用紙種類設定	カラー設定	作画モード	パターン A	パターン B	パターン C
モノクロトレペ	モノクロ／カラー共通	高速	—	—	○
		標準	—	○	—
		高品質	○	—	—
カラートレペ	モノクロ／カラー共通	高速	—	○	—
		標準	○	—	—
		高品質	○	—	—
普通紙	モノクロ／カラー共通	高速	—	—	○
		標準	—	○	—
		高品質	○	—	—
コート紙	モノクロ／カラー共通	高速	—	○	—
		標準	○	—	—
		高品質	○	—	—
フィルム	モノクロ	高速／標準／高品質共通	○	—	—
	カラー	高速	—	○	—
		標準	○	—	—
		高品質	○	—	—
光沢紙	モノクロ／カラー共通	高速／標準／高品質共通	○	—	—
ユーザー用紙 1～4	—	—	下表参照		

- ユーザー用紙 1 ～ 4 に対応する調整パターン

作画分解能 設定	パターン A	パターン B	パターン C
HS360dpi	—	—	○
360dpi	—	○	—
720dpi	○	—	—
1440dpi	○	—	—
2880dpi	○	—	—

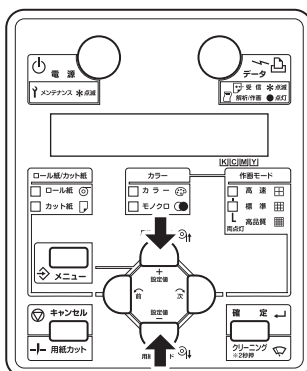
以下の手順に従って、画質微調整を行ってください。

1. 電源を ON し、A3 サイズ以上の作画用紙をセットします。
 - 🔗 [3.4.2 ロール紙のセット方法](#)
 - 🔗 [3.4.3 カット紙のセット方法](#)
2. 操作パネルに画質微調整メニューを表示させます。
 - a. 操作パネルの [メニュー] キーを押します。
 - 操作パネルに「*メニュー* テストサクカ` >」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
 - b. 操作パネルの [>] キーを押します。
 - 操作パネルに「*メニュー* ヨウシセッテイ>」と表示されます。
 - c. 操作パネルの [確定] キーを押します。
 - 操作パネルに「シュルイ： コートシ」と表示されます。
 - d. 操作パネルの [設定値+] キーまたは [設定値-] キーを押して、使用する用紙種類を選びます。
 - e. 操作パネルの [確定] キーを押します。
 - 操作パネルに「エフェクト： None」と表示されます。

注 記

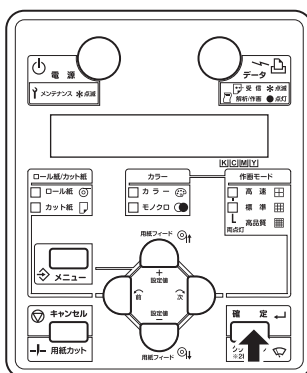
- ユーザー用紙 1 ～ 4 をご使用の場合は、操作パネルに「サクカ` ヒンシツ： ス`メン」と表示されます。
- f. 操作パネルの [>] キーを数回押して「カ` シツヒ` チョウセイ：ハ` ターン A」を選びます。
 - 画質微調整メニューに移行します。

3. 操作パネルの「設定値+」キーまたは「設定値-」キーを押して、次の各項目から実行する項目を選択します。



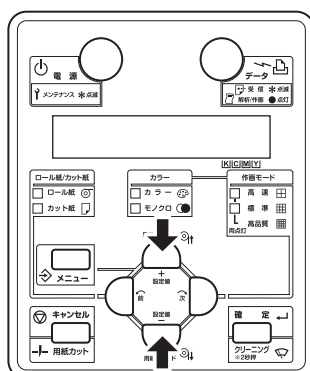
- パターン A：調整パターン A を実行します。
- パターン B：調整パターン B を実行します。
- パターン C：調整パターン C を実行します。
- 初期化：選択した項目の調整値を初期化します。
[図 4.5.1.2.5 画質微調整値の初期化](#)へ進みます。

4. 操作パネルの「確定」キーを押します。

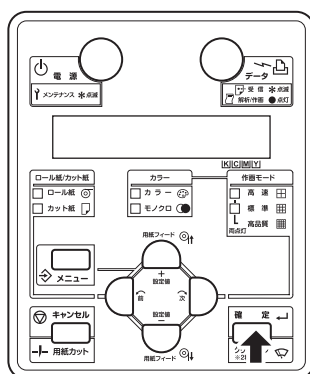


- 操作パネルに「ヘッド タカサ： Low」と表示されます。

- 操作パネルの「設定値+」キーまたは「設定値-」キーを押して、ヘッド高さを「Low」または「High」から選択します。



- 操作パネルの「確定」キーを押します。



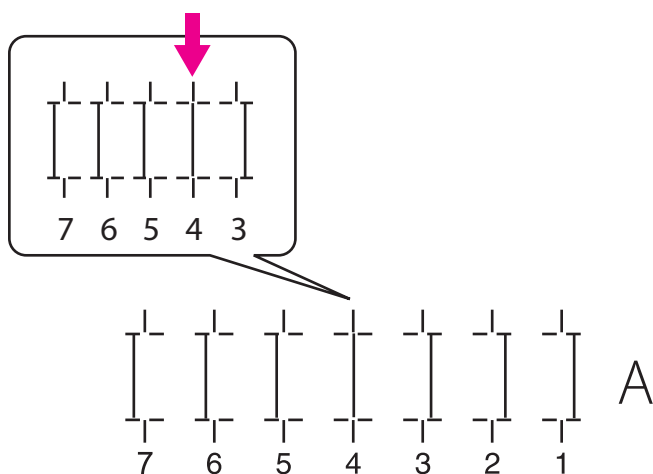
- 選択した調整パターンの作画を開始します。

注記

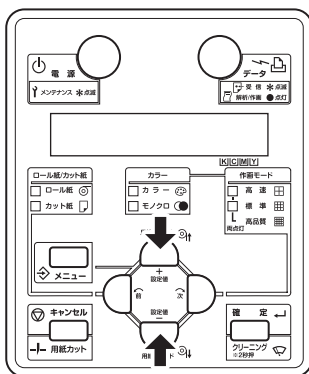
- 選択したヘッド高さが実際の高さと異なる場合は、ヘッド高さの変更を促すメッセージを表示します。ヘッド高さを変更すると作画を開始します。

4.2.5 ヘッド高さ調整

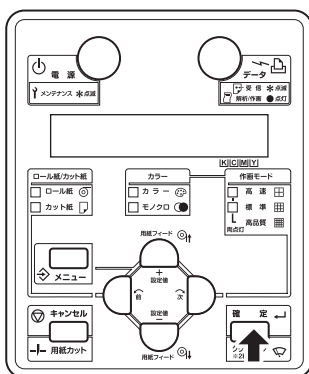
7. 用紙両端と中央の作画結果を見て、もっとも直線にズレのないように見える番号を探します。次図の作画サンプルの例では、「4」です。



8. 操作パネルの「設定値+」キーまたは「設定値-」キーを押して、手順7で選んだ番号を入力します。



9. 操作パネルの「確定」キーを押します。



- 他のパターンも調整する場合は、手順1から再度実行します。
- 作画微調整を終了します。

4.5.1.2.5 画質微調整値の初期化

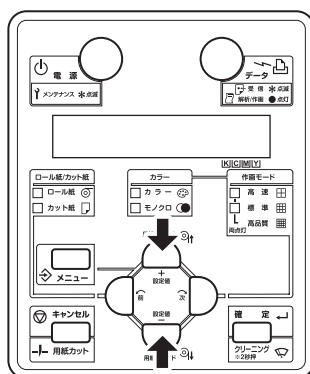
以下の手順に従って、画質微調整の初期化を行ってください。

1. 操作パネルに画質微調整メニューを表示させます。
 - a. 操作パネルの [メニュー] キーを押します。
 - 操作パネルに「*メニュー* テストサクカ` >」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
 - b. 操作パネルの [>] キーを押します。
 - 操作パネルに「*メニュー* ヨウシセツテイ」と表示されます。
 - c. 操作パネルの [確定] キーを押します。
 - 操作パネルに「シュルイ : コートシ」と表示されます。
 - d. 操作パネルの [設定値+] キーまたは [設定値-] キーを押して、使用する用紙種類を選びます。
 - e. 操作パネルの [確定] キーを押します。
 - 操作パネルに「エフェクト : None」と表示されます。

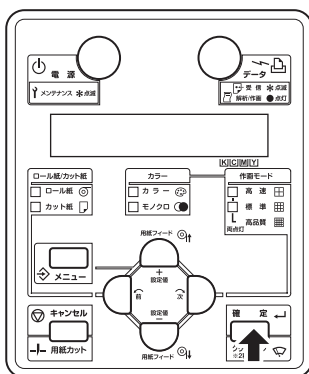
注 記

- ユーザー用紙 1～4 をご使用の場合は、操作パネルに「サクカ` ヒンシツ : ス`メン」と表示されます。

- f. 操作パネルの [>] キーを数回押して「カ` シツヒ` チョウセイ : ハ` ターン A」を選びます。
 - 画質微調整メニューに移行します。
2. 操作パネルの [設定値+] キーまたは [設定値-] キーを押して、「初期化」を選択します。

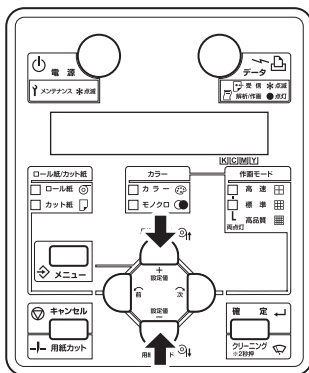


3. 操作パネルの「確定」キーを押します。



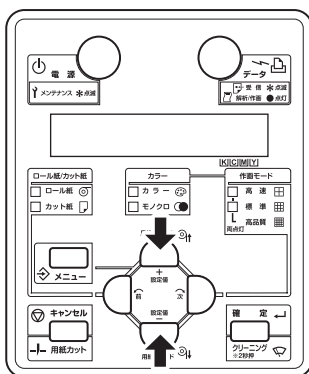
- 操作パネルに「ショキカ：ハ°ターンA」と表示されます。

4. 操作パネルの「設定値+」キーまたは「設定値-」キーを押して、初期化したいパターンを選択します。

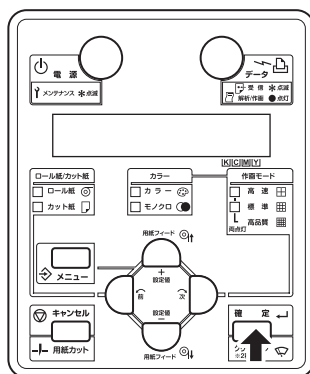


- 操作パネルに「ヘッドタカサ：Low」と表示されます。

5. 操作パネルの「設定値+」キーまたは「設定値-」キーを押して、ヘッド高さを「Low」または「High」から選択します。



6. 操作パネルの「確定」キーを押します。



- 選択した調整値を初期化します。
- 他の調整値も初期化する場合は、手順 1 から再度実行します。
- 調整値初期化を終了します。

4.5.1.3 コマンド設定メニュー

プロッタコマンドの各種条件設定を行います。

設定項目	設定値	内容
コマンド	<MH-GL, GL/2>	コンピュータから製品に送信するプロッタコマンドの条件設定を行います。
	MH-GL/2	
原点	<中心>	作図データの原点位置を設定します。 ・ 中心：ハードクリップの中心 ・ LL 点：ハードクリップの左下位置
	LL 点	
作画単位	<0.025 mm>	作画時のソフトウェア分解能の単位を設定します。
	0.010 mm	
書き出し位置	<P1 点>	作画時の初期書き出し位置を設定します。 ・ P1 点：スケールリングポイントの初期位置 ・ LL 点：ハードクリップの左下位置 ・ フル：用紙の左下位置
	LL 点	
	フル	
ターミネータ	ノーマル	作画データに含まれるプロッタコマンドについて、作画終了時の機能を設定します。 ・ ノーマル：プロッタコマンド本来の機能のみを使用する ・ スペシャル：SP0; (SP;) コマンドをデータの終了として認識する
	<スペシャル>	
イメージ解像度	300dpi / <360dpi> / 600dpi / 720dpi / 1200dpi / 1440dpi	画像データを作成する場合の解像度を設定します。
オンラインタイムアウト	オフ	コンピュータからの作画データ受信が途切れてから、作画データの終了を認識するまでの時間を設定します。
	2 秒～ <30 秒> ～ 800 秒	
重ね描き	<後書き優先>	作画データで、図形が重なり合った部分の作画方法を設定します。
	混ぜ合わせ	
線質	<細線優先>	作画時の画質について、どの図形を優先して作画するかを設定します。
	塗りつぶし優先	

注 記

- ・ コマンド設定メニューのコマンド項目が「MH-GL/2」に設定されている場合、以下の設定項目の設定値は無効になります。
 - ・ 原点メニュー
 - ・ 設定メニューの操作方法は、「[4.5.2 メニュー設定手順](#)」を参照してください。

4.5.1.4 ペン設定メニュー

作画に使用するペンについての各種設定を行います。

設定項目	設定値	内容
ペン優先	パネル	ペン設定（線幅、色、トーン）について、パネルでの設定を優先するか、コマンドからの設定を優先するかを指定します。 「パネル」に設定した場合は、次の設定項目に進みます。 【図】 4.5.1.4.1 ペン優先項目で「パネル」に設定した場合
	<コマンド>	
ペントーン	有効	各ペン番号に対するペントーンの設定を有効にするか、無効にするか設定します。
	<無効>	

注 記

- 設定メニューの操作方法は、「**4.5.2 メニュー設定手順**」を参照してください。

参 考

- モノクロ2値（白/黒）で作画するには、パネルのカラーモードを「モノクロ」、ペントーンを「有効」、各ペンのトーンを「100%」に設定します。

4.5.1.4.1 ペン優先項目で「パネル」に設定した場合

設定項目	設定値	内容
ペン 0 幅～ペン 15 幅	0.10 mm / 0.13 mm / 0.18 mm / 0.25 mm / 0.35 mm / 0.50 mm / 0.60 mm / 0.70 mm / 0.80 mm / 0.90 mm / 1.00 mm	<p>コンピュータから受信した作画データの、ペン番号に対するペンの幅（線幅）を設定します。</p> <p>注 記</p> <ul style="list-style-type: none"> ペン番号に対するペン幅の初期設定値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ペン 0 : 0.25 mm ペン 1 : 0.10 mm ペン 2 : 0.13 mm ペン 3 : 0.18 mm ペン 4 : 0.25 mm ペン 5 : 0.35 mm ペン 6 : 0.50 mm ペン 7 ~ 15 : 0.25 mm
ペン 0 色～ペン 15 色	0 / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 ~ 255 (カラー設定時)	<p>コンピュータから受信した作画データの、ペン番号に対するペンの色（線の色）を設定します。</p> <p>注 記</p> <ul style="list-style-type: none"> ペン番号に対するペン色の初期設定値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ペン 0 : 0 ペン 1 : 1 ペン 2 : 2 ペン 3 : 3... ペン 15 : 15 ペン番号とペン色の対応関係については、パレット作画サンプルで確認してください。 図 3.5.3 パレット作画
ペン 0 トーン～ ペン 15 トーン	0% / 10% / 20% ~ 100% (モノクロ設定時)	<p>コンピュータから受信した作画データの、ペン番号に対するペンのトーンを設定します。</p> <p>注 記</p> <ul style="list-style-type: none"> ペン番号に対するペントーンの初期設定値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ペン 0 ~ ペン 15 : 100%

設定項目	設定値	内容
全て幅	0.10 mm / 0.13 mm / 0.18 mm / 0.25 mm / 0.35 mm / 0.50 mm / 0.60 mm / 0.70 mm / 0.80 mm / 0.90 mm / 1.00 mm	全てのペン幅を同じ設定にします。
全て色	0 / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 ~ 255 (カラー設定時)	全てのペン色を同じ設定にします。
全てトーン	0% / 10% / 20% ~ 100% (ペントーン有効設定 時)	全てのペントーンを同じ設定にします。

4.5.1.5 レイアウト設定メニュー

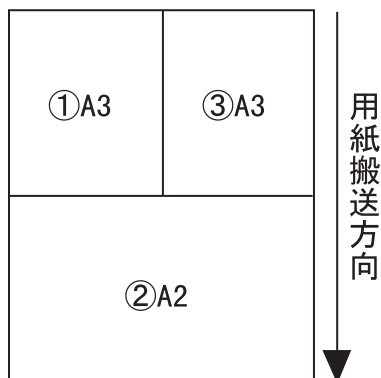
レイアウト機能についての各種設定を行います。

設定項目	設定値	内容
レイアウト	オン	レイアウト機能を有効にするか、無効にするか設定します。
	<オフ>	
配置方法	MAX-MIN	作画データのレイアウト方法を設定します。 ・ コマンド：作画データにてページサイズ指定コマンドがある場合、ページサイズ指定コマンドにて指定した領域から用紙サイズを判断し、データを配置します。 ・ MAX-MIN：座標系原点やページサイズ指定コマンドに関係なく実データの最大値 (MAX) 最小値 (MIN) より、そのデータがどの用紙サイズに収まるかを判断し、領域の中心が用紙の中心と一致するようにデータを配置します。
	<コマンド>	
マージン判定	<通常>	作画データのレイアウト方法について、データの原点を基準として、どの用紙サイズに収まるかの判断方法を設定します。 ・ 通常：作画データの大きさを、用紙の作画可能範囲によって判断します。作画データによっては、CAD で設定した用紙サイズよりも、1 サイズ大きな用紙に作画される場合があります。 ・ フルサイズ：作画データの大きさを、セットされた用紙サイズにより判断します。作画データによっては、作画内容が途中で途切れる場合があります。
	フルサイズ	
カットライン作画	オン	同一ページ内に複数の作画データを配置する場合に、データの境界線を作成するかどうか設定します。
	<オフ>	
レイアウトタイムアウト	オフ	コンピュータからの作画データ受信が途切れてから、作画データを出力するまでの待機時間を設定します。
	10 秒 ~ <120 秒> ~ 800 秒	

注 記

- レイアウト機能とは、コンピュータから送られてきた作画データのサイズを自動判別して、使用するロール紙に無駄なく配置して作画する機能です。
- レイアウト項目が「オン」に設定されている場合、以下の例に従って作図データを配置します。

(例) 作画データを①A3→②A2→③A3の順に受信した場合、右図のようにレイアウトします。実際の作画は、②A2→①・③A3データの順に作画します。



- レイアウト項目が「オフ」に設定されている場合、作画データを受信すると順次作画を行います。
- カット紙をセットしている場合は、レイアウト機能は無効になります。
- 作画データによっては、レイアウト機能が有効にならない場合があります。
- 設定メニューの操作方法は、「[4.5.2 メニュー設定手順](#)」を参照してください。

4.5.1.6 機能設定メニュー

作画データの処理についての各種設定を行います。

設定項目	設定値	内容
スケール	25% ~ <100%> ~ 400%	作画データの拡大・縮小倍率を設定します。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">注 記</div> <ul style="list-style-type: none"> きわめて細かい線が含まれるラスターデータを、拡大または縮小して作画すると、データが正しく作画されない場合があります。このような場合は、スケールを 100% に設定して作画してください。
ミラー	<オフ>	作画データを X 軸、Y 軸それぞれの方向に反転させて作画する機能を設定します。
	X 軸オン	
	Y 軸オン	
	XY 軸オン	
ローテート	<0°>	作画データを反時計方向に回転させて作画する機能を設定します。
	90°	
	180°	
	270°	

注 記

- 設定メニューの操作方法は、「[4.5.2 メニュー設定手順](#)」を参照してください。

4.5.1.7 ネットワーク設定メニュー

ネットワーク・インターフェイスについての各種設定を行います。


設定項目	設定値	内容
IP アドレス	0.0.0.0 ~ <192.168. 1.253> ~ 255.255.255.225	製品の IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	0.0.0.0 ~ <255.255.255.000> ~ 255.255.255.225	製品のサブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	0.0.0.0 ~ <192.168. 1.254> ~ 255.255.255.225	製品が接続しているゲートウェイの IP アドレスを設定します。
双方向ポート	1024 ~ <10610> ~ 49151	製品の双方向ポートのポート番号を設定します。 プロッタドライバ等のインストール時に設定した 双方向用ポート番号と同じ番号を設定します。
MAC アドレス	表示のみ	MAC アドレスが表示されます。

注 記

- 設定メニューの操作方法は、「[4.5.2 メニュー設定手順](#)」を参照してください。

4.5.1.8 ユーティリティメニュー

製品の応用的な機能について各種設定を行います。

設定項目	設定値	内容
バージョン	-	ファームウェアバージョンを表示します。
シリアル No.	-	本製品のシリアル No. を表示します。
メニュー表示	< 通常 >	設定メニューについて、表示する項目を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 通常 : 以下の設定項目を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • テスト作画メニュー • 用紙設定メニュー • レイアウト設定メニュー • ネットワーク設定メニュー (双方向ポート項目を除く) • ユーティリティメニュー (初期化項目を除く) • 利用状況表示メニュー • 全て : 電源を OFF するまでの間、全ての設定項目を表示します。 • 常に全て : 常に全ての設定項目を表示します。
	全て	
	常に全て	
エラー表示	オン	軽度のエラーが発生した場合の、操作パネルへの表示方法を設定します。
	< オフ >	
初期化	する	設定値を工場出荷時の設定に戻します。 「する」に設定した場合は、次の設定項目に進みます。  4.5.1.8.1 初期化項目で「する」に設定した場合
	< しない >	
データダンプ	スタート-エンド	オンライン機能チェック用のダンプ作画を行います。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 2px 10px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">注 記</div> <ul style="list-style-type: none"> • ダンプ作画機能は、当社のサービスマンが本製品の機能をチェックする場合に使用します。通常の作画には使用しないでください。
	全て	
消耗品交換	< しない >	消耗品交換処理を行います。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 2px 10px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">参 考</div> <ul style="list-style-type: none"> • カッター交換手順については、「5.1.3 カッターの交換」を参照してください。
	する	
パワーオンクリーニング	< オフ >	電源を ON した時に、自動的にクリーニングを行うかどうかを設定します。
	オン	

設定項目	設定値	内容
プリフィード	<データ>	<p>プリフィード動作について設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> データ：作画データ分、フロントフィードとバックフィードを行います。 ロール紙をたるませる事により、用紙送りムラが軽減できる場合があります。 マニュアル：「プリフィード量メニュー」で設定した値分、フロントフィードとバックフィードを行います。 ロール紙をたるませる事により、用紙送りムラが軽減できる場合があります。 ☞ 4.5.1.8.2 プリフィード量メニュー オフ：フロントフィード、バックフィードを行いません。
	マニュアル	
	オフ	
オートクリーニング	待機時間	<p>場面と時間を設定すると、自動でクリーニングを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 待機時間：待機中のオートクリーニングについて設定します。 ☞ 4.5.1.8.3 待機オートクリーニング 作画時間：作画中のオートクリーニングについて設定します。 ☞ 4.5.1.8.4 作画中オートクリーニング 作画前：作画開始前のオートクリーニングについて設定します。 ☞ 4.5.1.8.5 作画開始前オートクリーニング
	作画時間	
	作画前	
フラッシング	<オン>	<p>作画中のフラッシング動作を設定します。</p> <p>注 記</p> <ul style="list-style-type: none"> フラッシングを「オフ」に設定すると、フラッシング動作を行わないため、ノズル詰まりが発生しやすくなります。その場合、作画品質は保証できません。 フラッシング動作はプリントヘッドから微量のインクを排出します。 <p>☞ 4.5.1.8.7 フラッシングリターン回数メニュー</p> <ul style="list-style-type: none"> オン：プリントヘッドが1往復する毎に、フラッシングボックスに戻ってフラッシング動作を行います。 ☞ 4.5.1.8.7 フラッシングリターン回数メニュー メディア上：プリントヘッドが、用紙の余白上でもフラッシング動作を行います。フラッシングボックスまで戻る回数が減るため、作画速度が向上します。 ☞ 4.5.1.8.7 フラッシングリターン回数メニュー オフ：フラッシング動作を行いません。
	メディア上	
	オフ	

設定項目	設定値	内容
巻取り装置	<オフ>	巻取り装置を使用するかどうかを設定します。 ・ オフ：巻取り装置を使用しません ・ オン：巻取り装置を使用します。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;">注 記</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ オンに設定すると、プロッタの動作が巻取り装置に対応します。
	オン	
インク容量 (K/C/M/Y)	<110 ml>	インク容量を各色 (K/C/M/Y) ごとに設定します。ご使用のインクカートリッジ容量に合わせて設定してください。 ・ 110 ml：110 ml のインクカートリッジを使用します。 ・ 220 ml：220 ml のインクカートリッジを使用します。
	220 ml	
言語	<日本語>	操作パネルに表示する言語を選択します。
	英語	
	ドイツ語	
	フランス語	
	イタリア語	
	スペイン語	
	オランダ語	
	ポルトガル語	

注 記

- ・ メニュー表示項目で「通常」に設定されている場合、初期化メニューは表示されません。
- ・ 設定メニューの操作方法は、「[4.5.2 メニュー設定手順](#)」を参照してください。

4.5.1.8.1 初期化項目で「する」に設定した場合

設定項目	設定値	内容
全体	する	全ての設定値を、工場出荷時の設定値に戻します。
	<しない>	
用紙設定	する	用紙設定メニューの設定値を、工場出荷時の設定値に戻します。
	<しない>	
コマンド	する	コマンド設定メニューの設定値を、工場出荷時の設定値に戻します。
	<しない>	
ペン	する	ペン設定メニューの設定値を、工場出荷時の設定値に戻します。
	<しない>	
レイアウト	する	レイアウト設定メニューの設定値を、工場出荷時の設定値に戻します。
	<しない>	
機能設定	する	機能設定メニューの設定値を、工場出荷時の設定値に戻します。
	<しない>	
ネットワーク	する	ネットワーク設定メニューの設定値を、工場出荷時の設定値に戻します。
	<しない>	


4.5.1.8.2 プリフィード量メニュー

設定した値分、フロントフィードとバックフィードを行います。ロール紙をたるませる事により、用紙送りムラが軽減できる場合があります。

設定項目	設定値	内容
プリフィード量	0 mm ~ 3,000 mm	プリフィード量を設定します。


4.5.1.8.3 待機オートクリーニング

待機中にオートクリーニングを行うまでの経過時間を選択します。

設定項目	設定値	内容
待機時間	0 min ~ 10 min ~ <360 min> ~ 1,440 min	待機中にオートクリーニングを行う時間を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 0 min : オートクリーニングを行いません。 • その他 : 時間を設定し、次の設定項目に進みます。  4.5.1.8.6 クリーニング種類


4.5.1.8.4 作画中オートクリーニング

作画中にオートクリーニングを行う間隔を選択します。

設定項目	設定値	内容
印刷時間	<0 min> ~ 5 min ~ 180 min	<p>作画中にオートクリーニングを行う間隔を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0 min : オートクリーニングを行いません。 • その他 : 時間を設定し、次の設定項目に進みます。 <p> 4.5.1.8.6 クリーニング種類</p>

4.5.1.8.5 作画開始前オートクリーニング

作画開始前にオートクリーニングを行うかどうかを選択します。

設定項目	設定値	内容
作画前	<Off>	<ul style="list-style-type: none"> • Off : オートクリーニングを行いません。 • On : 作画開始前にオートクリーニングを行います。次の設定項目に進みます。 <p> 4.5.1.8.6 クリーニング種類</p>
	On	

4.5.1.8.6 クリーニング種類

オートクリーニングを行うときのクリーニング種類を選択します。

設定項目	設定値	内容
クリーニング	<微量>	<ul style="list-style-type: none"> • 微量 : 「通常」よりも少量のインクを排出します。 • 通常 : 通常はこのモードを選択します。
	通常	
	強力	<ul style="list-style-type: none"> • 強力 : 「通常」よりも多量のインクを排出します。通常のヘッドクリーニングでは、プリントヘッドが回復しない場合に使用します。

4.5.1.8.7 フラッシングリターン回数メニュー

フラッシングメニューで「オン」「メディア上」に設定した場合に、プリントヘッドがフラッシングボックスに戻る間隔を設定します。設定した回数だけプリントヘッドが往復するごとに、プリントヘッドがフラッシングボックスまで戻ります。

注 記

- ・フラッシングリターン回数を多く設定すると、フラッシングボックス上でフラッシング動作を行わないため、長時間印刷する場合にノズル詰まりが発生しやすくなります。その場合、作画品質は保証できません。

設定項目	設定値	内容
リターン回数	<1回>～999回	フラッシングリターン回数を設定します。

4.5.1.9 利用状況表示メニュー

製品の部品使用状況等を表示します。
部品交換の目安にしてください。

設定項目	設定値	内容
K インク残量	0～100%	各色のインク残量を表示します。 0%で「インクナシ」エラーが表示されます。
C インク残量	0～100%	
M インク残量	0～100%	
Y インク残量	0～100%	
ロール紙残量	**m	ロール紙の残量を表示します。 ロール紙管理メニューで設定されている場合に 表示されます。
廃液ボックス残量	0～100%	廃液ボックスの残量を表示します。 0%で廃液ボックスの廃液量が満タンになります。
カッター残り寿命	0～100%	カッターの寿命を表示します。 0%で部品寿命に達します。

注 記

- ・製品の電源が OFF になっている場合は、インクカートリッジを交換しないでください。インク残量の検出が正しく行えず、正常な作画ができなくなります。
- ・寿命に達した部品を交換せずに使用し続けた場合、発生した諸問題については、保証対象外となります。
- ・設定メニューの操作方法は、「[4.5.2 メニュー設定手順](#)」を参照してください。

4.5.1.10 クリーニングメニュー

ヘッドクリーニングを行います。

注 記

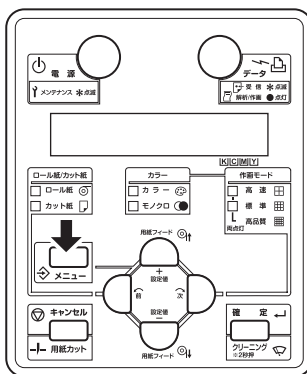
- ヘッドクリーニングは、製品が通常状態の時でも行うことができます。操作手順については、以下を参照してください。
📖 [5.2.3 ヘッドクリーニング](#)

設定項目	内容
微量	「通常」よりも少量のインクを排出します。
通常	通常はこのモードを選択します。
強力	通常のヘッドクリーニングではプリントヘッドが回復しない場合に使用します。
微量充てん	微量充てんを行います。 <ul style="list-style-type: none">• 「強力」よりかなり多くのインクを消費します。• 「強力」よりかなり高いクリーニング効果があります。

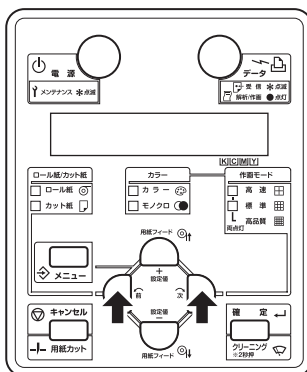
4.5.2 メニュー設定手順

以下の手順に従って、各種設定メニューの設定を行ってください。

1. 操作パネルが通常状態であることを確認します。
2. 操作パネルの [メニュー] キーを押します。



- 操作パネルに [*メニュー* テストサクカ` >] と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
3. 操作パネルの [前] キーまたは [次] キーを押して、設定する項目を選択し、[確定] キーを押します。

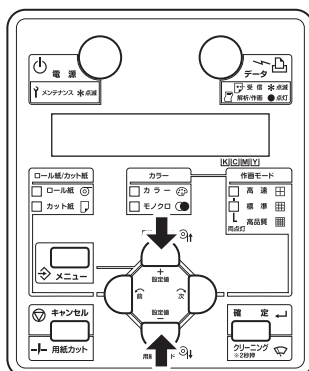


- 設定項目を確定します。
- 設定項目にサブメニューがある場合は、次のメニュー階層に移行します。

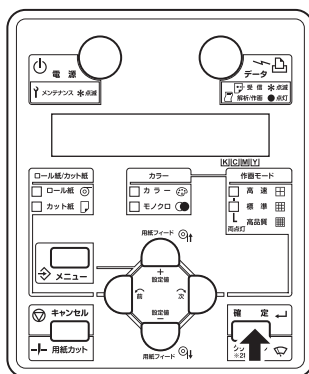
注 記

- 設定項目にサブメニューがある場合は、設定パネルの液晶表示部の右端に「>」と表示されます。
- 各設定項目の詳細については、「[4.5.1 設定メニューの項目](#)」を参照してください。

4. 操作パネルの液晶表示部で、点滅している部分は設定値を変更することができます。操作パネルの「設定値+」キーまたは「設定値-」キーを押して、設定値を変更します。



5. 変更した設定値を保存する場合は、操作パネルの「確定」キーを押します。

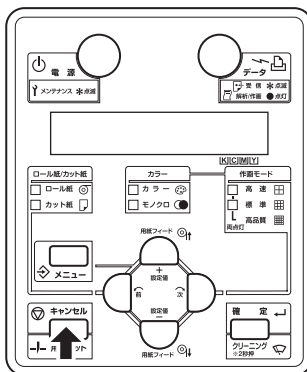


- 設定値が保存され、次の設定項目に移行します。

注 記

- 設定値を変更後、「確定」キーを押さずに「キャンセル」キー、および「設定値+」キーまたは「設定値-」キーを押すと、変更した設定値は保存されません。

6. 設定を終了する場合は、操作パネルの [メニュー] キーまたは [キャンセル] キーを押します。



- 1つ前の階層の設定メニューに戻ります。
- メインメニューが表示されている場合は、通常状態に戻ります。

4.6 操作パネルからの各種操作

操作パネルから操作できる各種機能について説明します。

参 考

- 各キーの名称、機能については、以下を参照してください。
📖 [2.2.5 操作パネル](#)

4.6.1 用紙送り

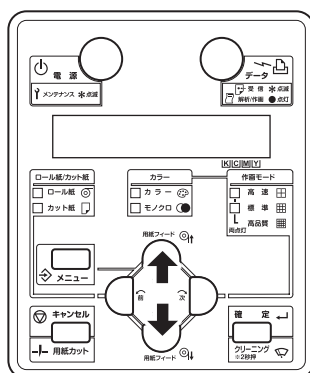
ロール紙をセットしている場合に、ロール紙を任意の位置に送ることができます。

以下の手順に従って、用紙送りを行ってください。

注 記

- カット紙をセットしている場合は、操作パネルの [用紙フィード↓] キーまたは [用紙フィード↑] キーを押しても、用紙送りはできません。

- 用紙セットレバーが手前側に戻っていることを確認します。
- 操作パネルが通常状態であることを確認します。
- 操作パネルの [用紙フィード↓] キーまたは [用紙フィード↑] キーを押します。

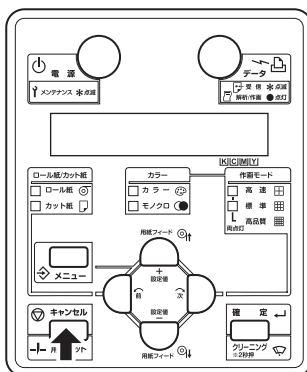


- 用紙が順方向または逆方向に送られます。
- 用紙を任意の位置まで送ったら、操作パネルの [用紙フィード↑] キーまたは [用紙フィード↓] キーを放します。

4.6.2 作画動作の中断

何らかの理由により作画動作を中断したい場合は、以下の操作を行ってください。

1. 操作パネルの [キャンセル] キーを押します。



- 製品は以下の動作を行います。

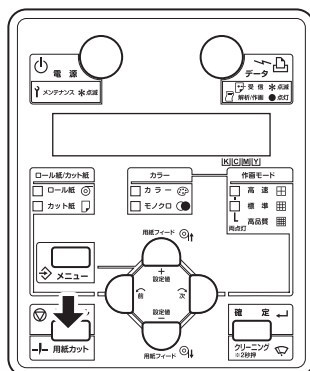
プロッタの状態	[キャンセル] キーを押したときの動作
作画中	作画を強制終了し、製品内部に残ったデータを1ファイル分割除します。
受信・解析中	すでに受信・解析したデータを削除し、以降のデータを1ファイル分割除します。
インク乾燥時間待ち	インク乾燥時間待ちを解除し、用紙を排出します。

4.6.3 用紙のカット

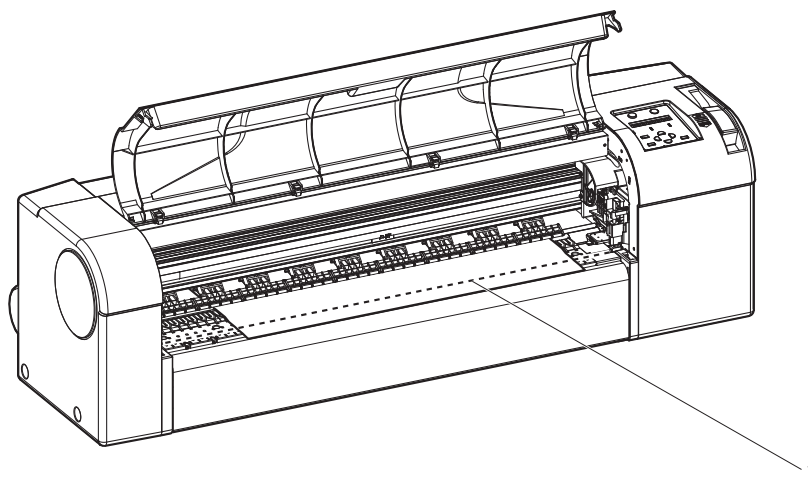
ロール紙を任意の位置でカットすることができます。

以下の手順に従って、ロール紙をカットしてください。

1. 操用紙セットレバーが手前側に戻っていることを確認します。
2. 操作パネルが通常状態であることを確認します。
3. 操作パネルの「用紙カット」キーを押します。



- ロール紙は前方に約 90 mm 送出され、用紙カット位置でカットされます。



番号	名称
1	用紙カット位置

注記

- 新しいロール紙をセットした時に、ロール紙の先端がまっすぐになっていない場合は、ロール紙の先端をカットしてください。
- 「4.5.1.2 用紙設定メニュー」で「先端カット長さ」を設定すると、用紙イニシャル時に設定した長さ分の用紙をカットします。
- カッターは消耗品です。「5.1.3 カッターの交換」に従って、定期的に交換してください。

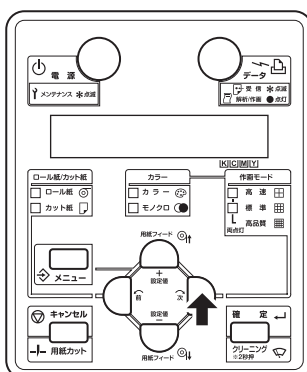
4.6.4 作画モードの選択

作画に必要な画質、速度に応じて、以下の作画モードを設定することができます。

作画モード	特長
高速カラー	作画速度を優先したい場合に設定します。 チェック用作画にご使用ください。
高速モノクロ	
標準カラー	作画画質を優先したい場合に設定します。 正式出図時など、作画結果に精度を要求される場合にご使用ください。
標準モノクロ	
高品質カラー	標準カラー・標準モノクロよりも作画画質を高品質にしたい場合に設定します。
高品質モノクロ	

以下の手順に従って、作画モードを選択してください。

1. 操作パネルが通常状態であることを確認します。
2. 操作パネルの [次] キーを押します。



- 選択した作画モードランプが点灯（緑色）します。

注記

- プロッタドライバを使用して作画する場合、作画モードについては、プロッタドライバでの設定が、操作パネルでの設定よりも優先されます。プロッタドライバの設定については、「[4.4 プロッタドライバの設定](#)」を参照してください。

参考

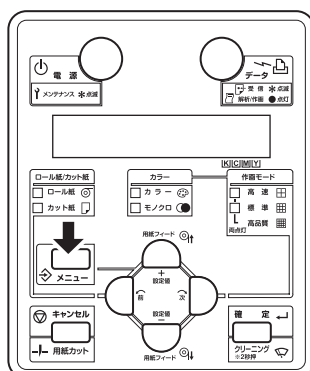
- 作画モードの詳細については、「[7.1.2 作画動作仕様](#)」を参照してください。

4.6.5 用紙送り補正の変更

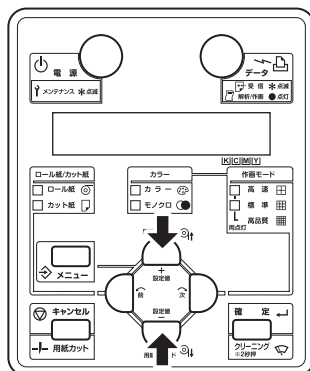
製品が作画などの動作中に、用紙送り補正の設定値を変更することができます。

以下の操作を行って、用紙送り補正の設定値を変更してください。

- 製品の動作状態について、以下のいずれかの動作を行っていることを確認します。
 - データ受信中
 - データ解析中
 - データ作画中
- 操作パネルの「メニュー」キーを押します。



- 操作パネルに「ビチョウセイチ： XX pulse」（XX は数値）と表示されます。
- 操作パネルの「設定値+」キーまたは「設定値-」キーを押して、設定値を変更します。



注 記

- 製品が動作中に設定値を保存した場合、変更した設定値を保存する場合は必ず「保存」を選択してください。「保存」を選択せずに通常状態に戻った場合は、変更した設定値は保存されません。

設定項目	設定値	内容
微調整	-20 pulse ~ 0 ~ 20 pulse	送り補正値の微調整値を変更します。
保存	-	[確定] キーで設定値を保存します。

4.6.6 作画の一時停止

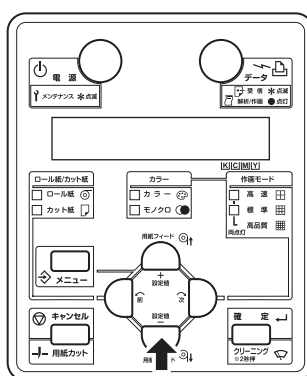
製品が作画中に、作画を一時停止させることができます。

以下の手順に従って、作画の一時停止および再開を行ってください。

注 記

- 作画の一時停止を行った場合、作画品質は保証できません。

1. 製品が作画中であることを確認します。
2. 操作パネルの [設定値 -] キーを押します。



- 製品が作画を一時停止します。
 - 操作パネルに「サクカ`サイカイ> カクテイ」と表示されます。
3. 作画を再開させる場合は、操作パネルの [確定] キーを押します。

5 保守

この章では、本製品の日常行うべき保守の内容について説明します。

5.1 消耗品の交換

インクカートリッジ、ロール紙、カッター、廃液ボックスおよびフラッシングボックス用吸収剤の交換時期および交換手順について説明します。

5.1.1 インクカートリッジの交換

インクカートリッジの交換時期、交換手順について説明します。

(1) 交換時期

- a. 操作パネルに「[***]インクスクナイ」と表示された場合
 - インクカートリッジ内のインク残量が少なくなると表示されます。
 - インク残量が少なくなった色は操作パネルのインジケータで確認します。
☞ [2.2.6 インジケータ表示](#)
 - 交換用のインクカートリッジを準備してください。
- b. 操作パネルに「[***]インクナシ」と表示された場合
 - インクカートリッジ内のインクがなくなると表示されます。
 - インクカートリッジの交換が必要な色は操作パネルのインジケータで確認します。
☞ [2.2.6 インジケータ表示](#)
 - 速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

注 記

- [***] は対象のインク色を表します。詳しくは「[2.2.6 インジケータ表示](#)」を参照してください。すべてのインク色が対象の場合は、メッセージにインク色は表示されません。
- インクカートリッジは交換時以外は抜差しを行わないでください。インクカートリッジの抜差しを行うと、インクチューブ内にエアが混入し、ノズル抜け等の不具合が発生する可能性があります。
- 「[***]インクナシ」と表示された場合、新しいインクカートリッジを挿入するまで作画することができなくなります。
- 交換用のインクカートリッジがお手元にない場合は、使い終わったインクカートリッジを製品に挿入したままにしてください。インクカートリッジを取外した状態で製品を放置すると、ヘッドが目詰まりする原因となります。

(2)種類

本製品で使用できるインクカートリッジの当社純正品は以下のとおりです。

品名	型番
インクカートリッジ K (ブラック : 110 ml)	RJ9-INK BK
インクカートリッジ C (シアン : 110 ml)	RJ9-INK C
インクカートリッジ M (マゼンタ : 110 ml)	RJ9-INK M
インクカートリッジ Y (イエロー : 110 ml)	RJ9-INK Y

注 記

- インクカートリッジを交換する場合は、純正品のインクカートリッジをご使用ください。本製品は純正品のインクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外を使用すると
- 作画結果がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなる恐れがあります。
- 故障しても保証対象外（有償修理）となります。

(3) 交換手順

以下の手順に従って、インクカートリッジを交換してください。

注意

- インクカートリッジを取扱うときは、保護具 (手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護マスク、保護衣) を着用してください。目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
- インクカートリッジを分解しないでください。分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着する恐れがあります。

注記

- インクカートリッジは強く振らないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。
- インクカートリッジを分解しないでください。分解したインクカートリッジは使用できません。
- インクカートリッジを、寒い所から暖かい所へ移動させた場合は、作画環境に3時間以上放置してから使用してください。
- インクカートリッジには、インクを補充しないでください。正常に作画できなくなる恐れがあります。
- インクカートリッジの抜差しは、交換時のみ行ってください。交換時以外でインクカートリッジの抜差しを行うと、正常に作画できなくなる恐れがあります。

1. 製品の電源が ON になっていることを確認します。

3.2.1 電源を ON する方法

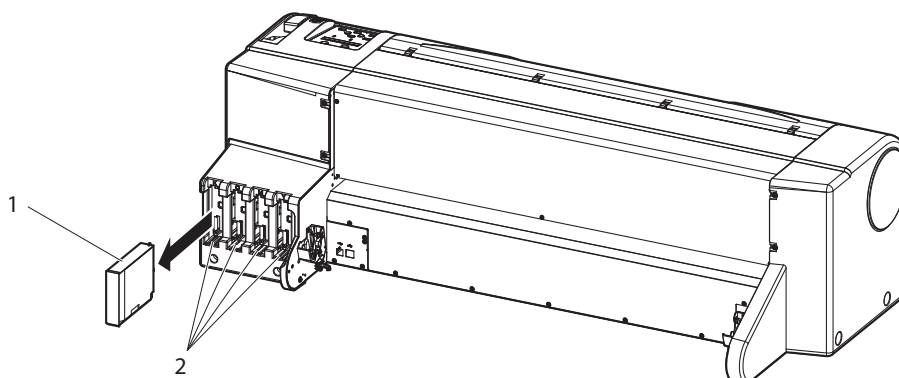
注記

- 製品の電源が OFF になっている場合は、インクカートリッジを交換しないでください。インク残量の検出が正しく行えず、正常な作画ができなくなります。

2. 交換するインクカートリッジをインクカートリッジスロットから取外します。

注 記

- 使用済みのインクカートリッジは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。



番号	名称
1	インクカートリッジ
2	インクカートリッジスロット

3. 新しいインクカートリッジを袋から取出します。

注 記

- インクカートリッジは、インクカートリッジスロットに取付ける直前に開封してください。インクカートリッジを開封した状態で長期間放置すると、正常に作画できなくなる場合があります。
- インクカートリッジは、パッケージに印刷してある年月日より2年以内に使い切ってください。使用期限を過ぎたインクカートリッジを使用すると、作画品質に影響する場合があります。
- インクカートリッジは、製品にセットしてから6ヶ月が経過したら交換してください。

4. 新しいインクカートリッジを取付けます。
5. 操作パネルが通常状態に戻ったことを確認します。

注 記

- 作画中にインクカートリッジを交換した場合は、作画を再開します。

5.1.2 ロール紙の交換

ロール紙の交換時期、交換手順について説明します。


(1) 交換時期

ロール紙は、以下の場合に交換してください。

- a. 製品にセットしているロール紙がなくなった場合
 - 操作パネルに「ロールシエント[®]」と表示されます。
 - 作画中に用紙がなくなった場合は作画動作を中断します。
- b. 使用する用紙種類を変更したい場合

(2) 種類

参 考

- ロール紙の種類および詳細は、以下を参照してください。
 [7.3 オプション・サプライ用品リスト](#)

(3) 交換手順

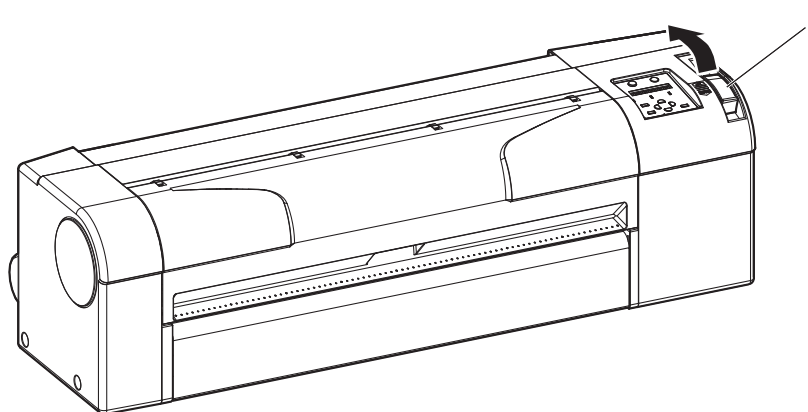
以下の手順に従って、ロール紙を交換してください。

1. 製品の電源が ON になっている場合は、作画等の動作を行っていないことを確認します。

注 意

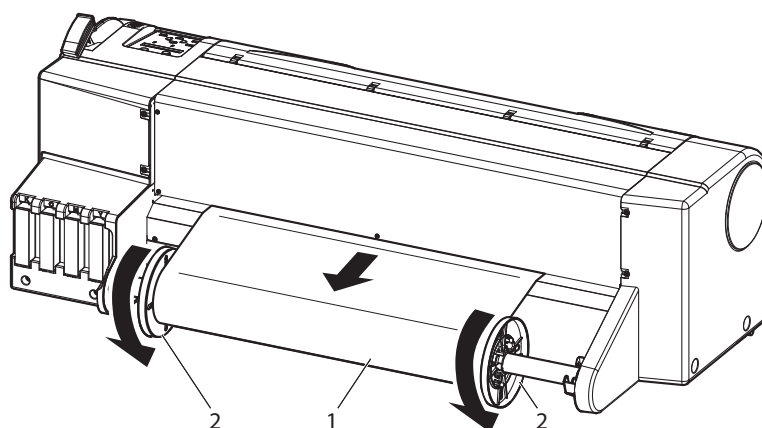
- 用紙カバー開閉時には、指を挟まないように注意してください。

2. 用紙セットレバーを後ろに倒します。



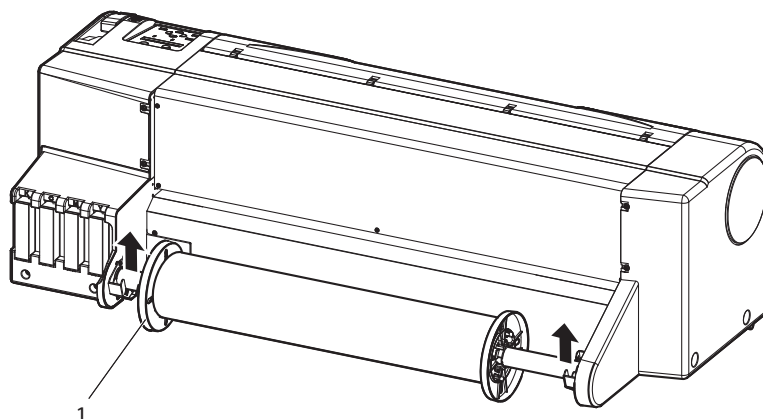
番号	名称
1	用紙セットレバー

3. スクローラの両端を持って、ロール紙を手で巻き戻します。



番号	名称
1	ロール紙
2	スクローラ

4. スクローラを製品から取外し、水平な場所に置きます。

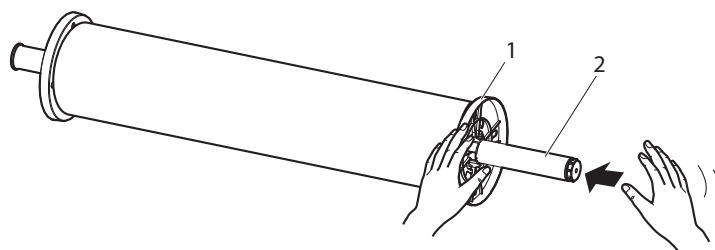


番号	名称
1	スクローラ

5. 可動用紙ストッパを押さえ、スクローラを図のように軽く叩いて、可動用紙ストッパを取外します。

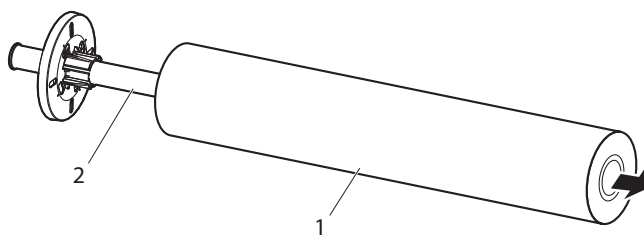
注 記

- ロール紙を取外すときに、スクローラの左端（可動用紙ストッパ側）を床に強く突き当てないでください。スクローラ左端が衝撃により破損する恐れがあります。



番号	名称
1	可動用紙ストッパ
2	スクローラ

6. ロール紙をスクローラから取外します。



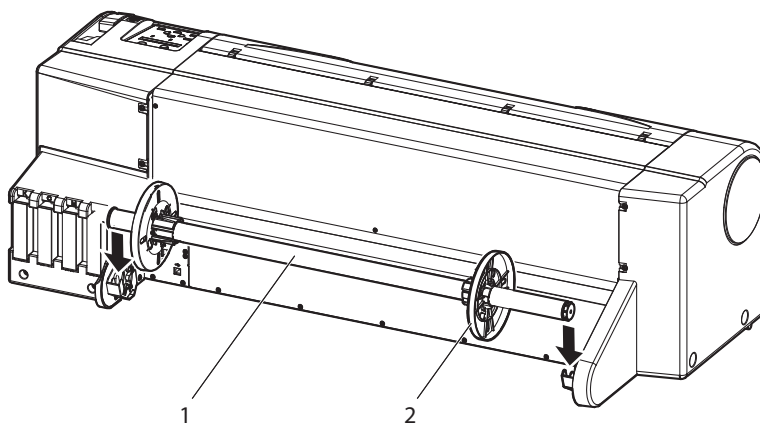
番号	名称
1	ロール紙
2	スクローラ

7. 別のロール紙を取付ける場合は、以下の内容に従って、作業を行ってください。

参 考

- ロール紙の取付け方法は、「[3.4 用紙の取付け](#)」を参照してください。
- 使用しないロール紙は、「[4.2.3 用紙の保管時の注意](#)」に従って、保管してください。

8. ロール紙をセットしない場合は、可動用紙ストッパをスクローラに取付け、スクローラを製品にセットします。



番号	名称
1	スクローラ
2	可動用紙ストッパ

5.1.3 カッターの交換

カッターの交換時期、交換手順について説明します。

(1) 交換時期

カッターは、以下の場合に交換してください。

- a. 用紙がきれいにカットできない場合
用紙カットに失敗すると、操作パネルに「ヨウシカットエラー」と表示されます。
- b. カット部に毛羽立ちなどが発生した場合

(2) 種類

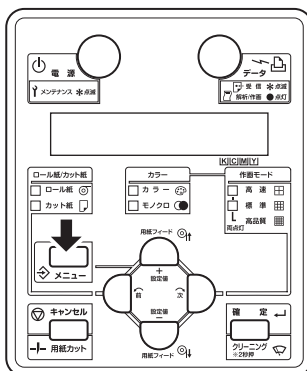
本製品で使用できるカッターの当社純正品は以下のとおりです。

品名	型番
カッター交換刃	RJ3-CBS

(3) 交換手順

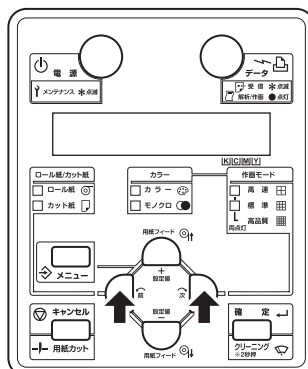
以下の手順に従って、カッターを交換してください。

1. 製品の電源が ON になっていることを確認します。
☞ [3.2.1 電源を ON する方法](#)
2. 操作パネルの [メニュー] キーを押します。



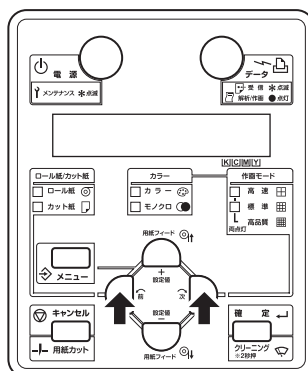
- 設定メニュー表示状態に入ります

3. 操作パネルの [前] キーまたは [次] キーを押して「*メニュー* ユーティリティ>」を選択し、[確定] キーを押します。



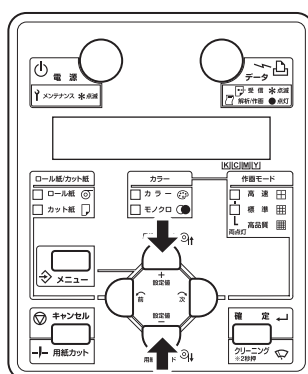
- ユーティリティメニューが表示されます。

4. 操作パネルの [前] キーまたは [次] キーを押して「ショウモウヒン コウカン」を選択します。



- 消耗品交換メニューが表示されます。

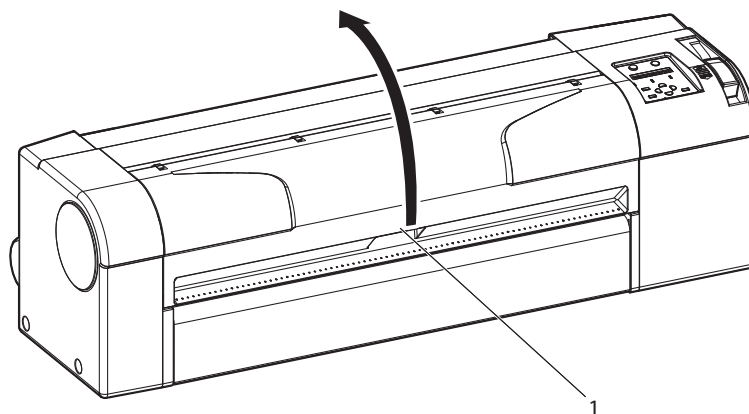
5. 操作パネルの [設定値+] キーまたは [設定値-] キーを押して「ショウモウヒン コウカン:スル」を選択し、[確定] キーを押します。



- 消耗品交換処理に入ります。

6. フロントカバーを開けます。

- 消耗品交換位置までプリントヘッド部が移動し、交換位置で停止します。
- 操作パネルに「ショウモウヒン コウカンゴ カクテイ」と表示されます。



番号	名称
1	フロントカバー

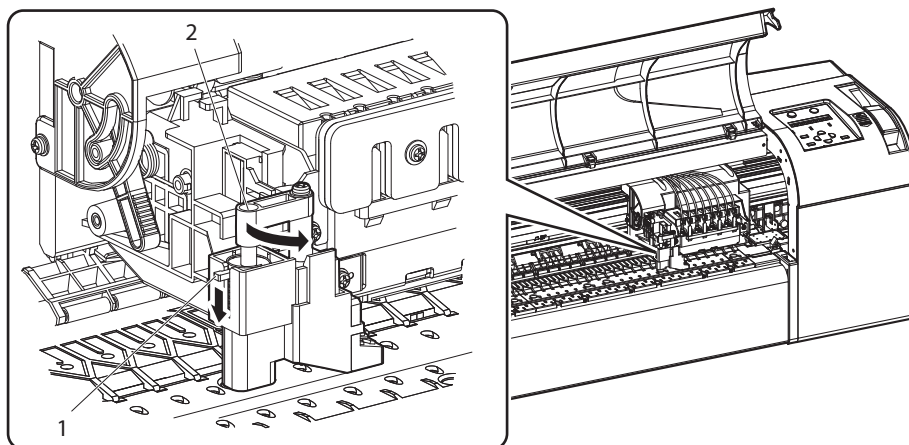
注 記

- カッター交換作業は短時間で行ってください。プリントヘッド部を消耗品交換位置のまま放置すると、ヘッドの目詰まりの原因となります。

7. カッターのつまみを軽く下に押しながら、カッター押さえレバーを図の方向に回転させます。

注 記

- カッターのつまみを強く下に押ししたり、急に放したりしないでください。カッターホルダーにはバネが組込まれており、カッターが飛び出す可能性があります。
- カッターを奥まで押込まないでください。カッター刃が製品内部を傷つける恐れがあります。



番号	名称
1	カッターのつまみ
2	カッター押さえレバー

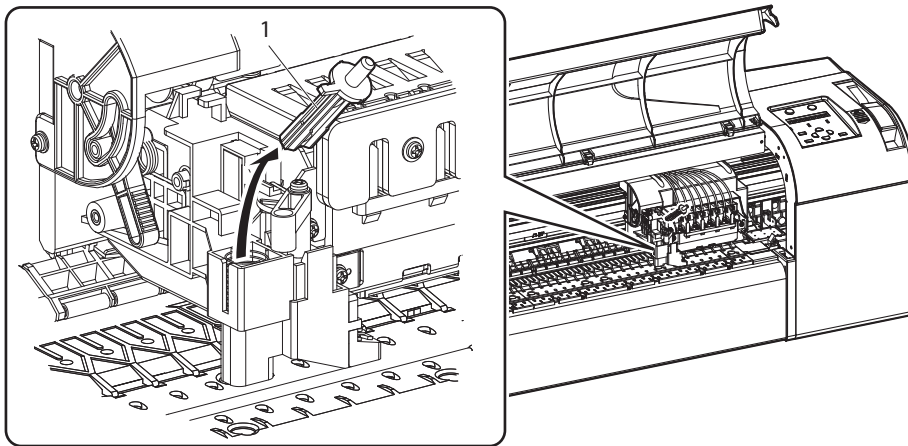
8. カッターを取出します。

注意

- カッターの刃先には触れないでください。けがをする恐れがあります。
- カッターの刃先を硬いものに当てたり、カッターを落としたりしないでください。カッター刃が傷ついたり、欠けたりする恐れがあります。

注記

- 使用済みのカッターは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

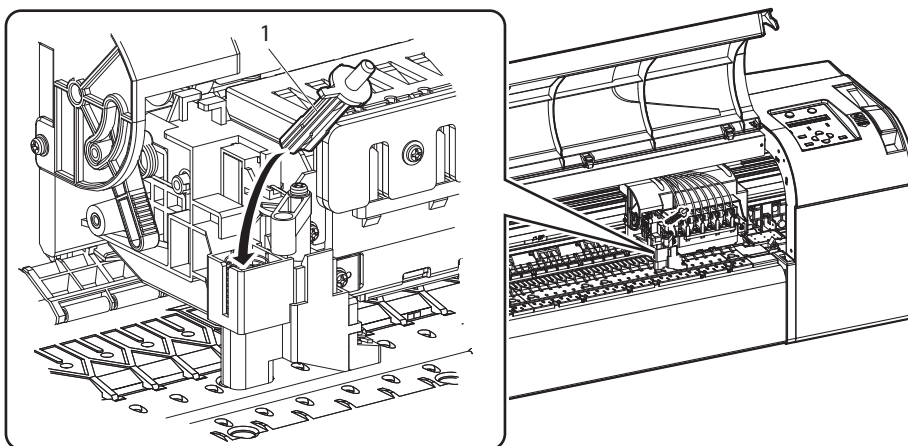


番号	名称
1	カッター

9. 新しいカッターを図のように取付けます。

注記

- カッターホルダーに組込まれているバネを飛ばさないように取付けてください。

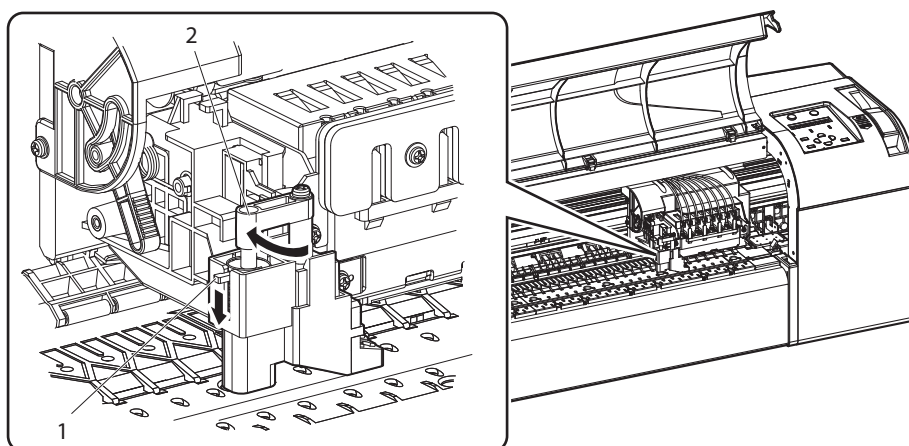


番号	名称
1	カッター

10. カッターのつまみを軽く下に押しながら、カッター押さえレバーを元の位置に戻します。

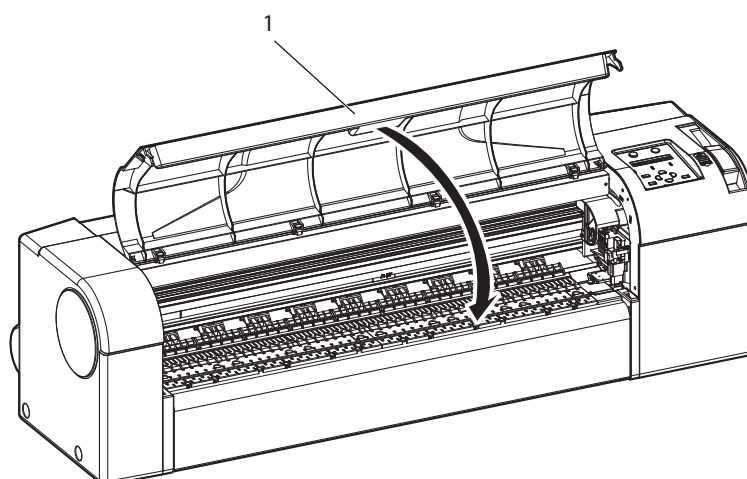
注 記

- カッターのつまみを強く下に押ししたり、急に放したりしないでください。カッターホルダーにはバネが組込まれており、カッターが飛び出す可能性があります。
- カッターを奥まで押込まないでください。カッター刃が製品内部を傷つける恐れがあります。
- カッター押さえレバーは、次図を参考にして正しく取付けてください。正しく取付けないと、エラーが発生する場合があります。エラーが発生した場合は、カッター押さえレバーが正しく取付けられているか確認してください。



番号	名称
1	カッターのつまみ
2	カッター押さえレバー

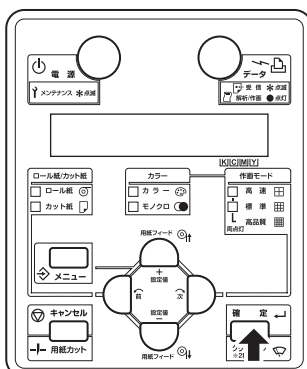
11. フロントカバーを閉じます。



番号	名称
1	フロントカバー

12. 操作パネルの「確定」キーを押します。

- キャリッジ部が元の位置に戻ります。



- 消耗品交換処理が終了します。

5.1.4 廃液ボックスの交換

廃液ボックスの交換時期、交換手順について説明します。

注意

- 交換時は、保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護マスク、保護衣）を着用してください。目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

(1) 交換時期

廃液ボックスは、以下の場合に交換してください。

- a. 操作パネルに「ケイコク ハイエキホ[®] ックス マンタン」と表示された場合
 - 廃液ボックスが間もなく満タンになります。
 - 作画動作は継続します。
 - 廃液ボックスが満タンになる前に、交換用の廃液ボックスを準備してください。
- b. 操作パネルに「ハイエキホ[®] ックス マンタン」と表示された場合
 - 廃液ボックスが満タンになりました。
 - 作画動作は停止します。
 - 直ちに廃液ボックスを交換してください。

(2) 種類

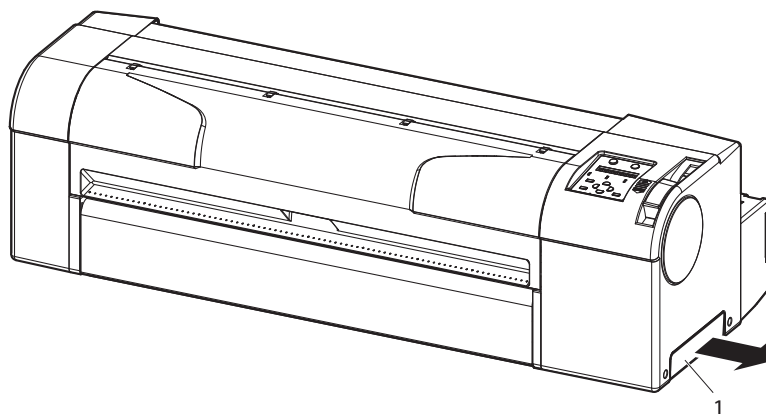
本製品で使用できる廃液ボックスは以下のとおりです。

品名	型番
ハイエキ BOX RJ9X-HEB	RJ9X-HEB

(3) 交換手順

以下の手順に従って、廃液ボックスを交換してください。

1. 製品の電源が ON になっていることを確認します。
☞ 3.2.1 電源を ON する方法
2. 廃液ボックスを引出します。
 - 操作パネルに「ハイエキボ ックス ナシ」と表示されます。

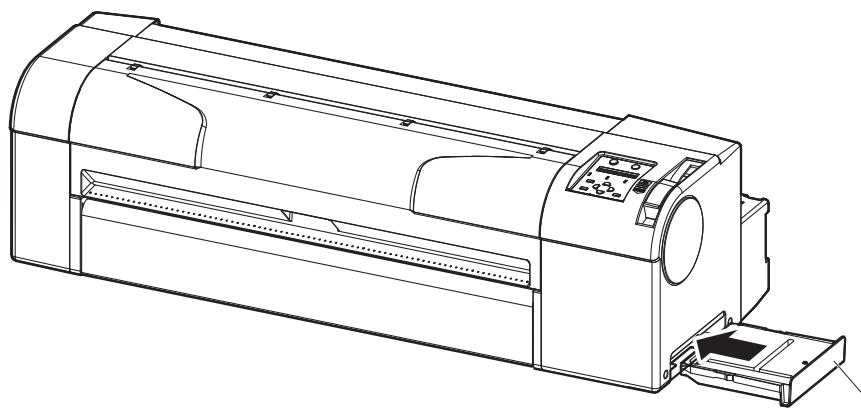


番号	名称
1	廃液ボックス

注 記

- 使用済みの廃液ボックスは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

3. 新しい廃液ボックスを製品に取付けます。



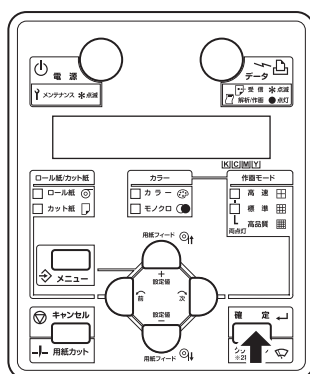
番号	名称
1	廃液ボックス

4. 操作パネルに「コウカンシマシタカ？ : イイエ」と表示されていることを確認します。

5. [設定値+] キーを押し、「コウカンシマシタカ? : ハイ」 を選択し、操作パネルの [確定] キーを押します。

注 記

- 廃液ボックスを交換しなかった場合は、「コウカンシマシタカ? : イイエ」 の表示のまま、操作パネルの [確定] キーを押してください。



- 廃液ボックスの交換を終了します。

5.1.5 フラッシングボックス用吸収材の交換

フラッシングボックス用吸収材の交換時期、交換手順について説明します。

⚠ 注意

- 交換時は、保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護マスク、保護衣）を着用してください。目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

(1) 交換時期

フラッシングボックス用吸収材はインクカートリッジ K（型番：RJ9-INK BK）に同梱されています。

インクカートリッジ K を交換した場合に、フラッシングボックス用吸収材の交換を行います。

(2) 種類

フラッシングボックス用吸収材は、以下のインクカートリッジに同梱されています。

品名	型番
インクカートリッジ K（ブラック：110ml）	RJ9-INK BK

(3) 交換手順

以下の手順に従って、フラッシングボックス用吸収材を交換してください。

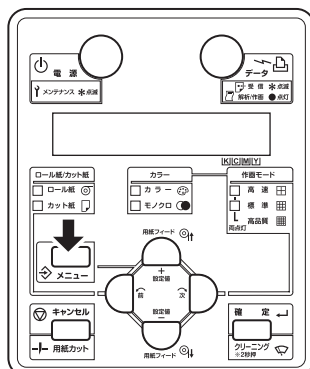
注記

- 作業を行う場合は、インクカートリッジ K に付属の手袋を着用してください。

1. インクカートリッジ K を交換します。

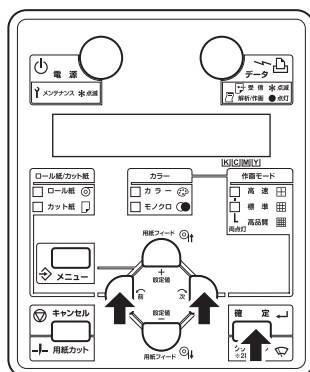
🔗 [5.1.1 インクカートリッジの交換](#)

2. 操作パネルの [メニュー] キーを押します。



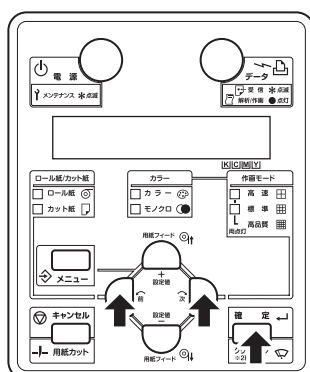
- 設定メニュー表示状態に入ります。

3. 操作パネルの [前] キーまたは [次] キーを押して「*メニュー* ユーティリティ>」を選択し、[確定] キーを押します。



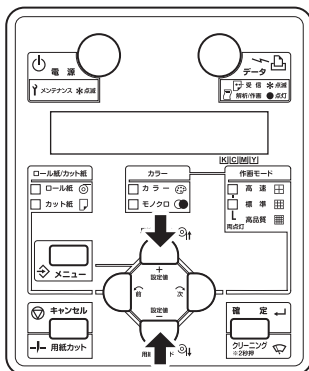
- ユーティリティメニューが表示されます。

4. 操作パネルの [前] キーまたは [次] キーを押して「ショウモウヒン コウカン」を選択します。

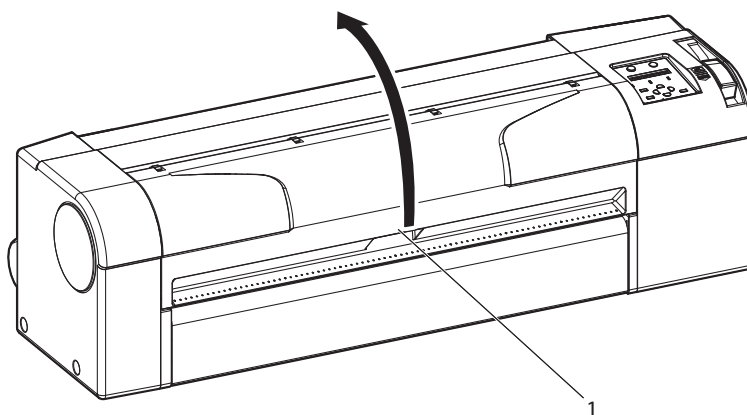


- 消耗品交換メニューが表示されます。

5. 操作パネルの「設定値+」キーまたは「設定値-」キーを押して、「ショウモウヒン コウカン： スル」を選択し、「確定」キーを押します。

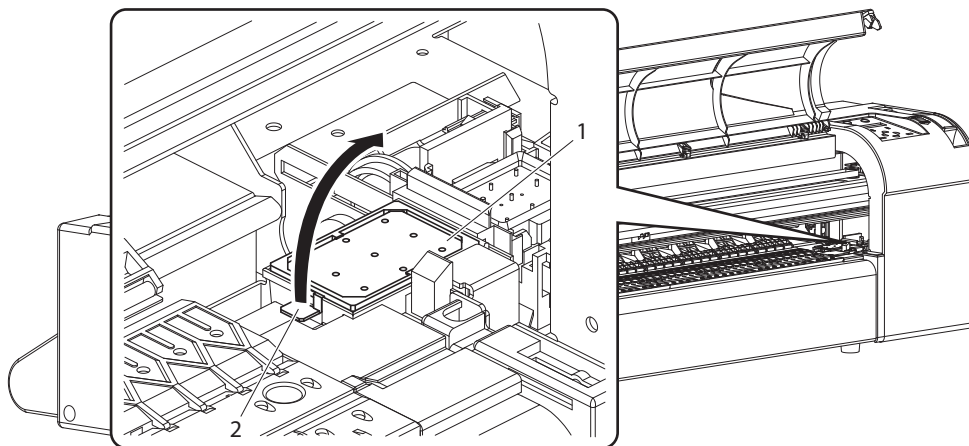


- プリントヘッド部が作図板上に移動します。
 - 操作パネルに「ショウモウヒン コウカンコ` カクテイ」と表示されます。
6. フロントカバーを開けます。



番号	名称
1	フロントカバー

7. フラッシングボックス用吸収材受けのつまみを持上げて、フラッシングボックス用吸収材受けを取外します。



番号	名称
1	フラッシングボックス用吸収材受け
2	フラッシングボックス用吸収材受けのつまみ

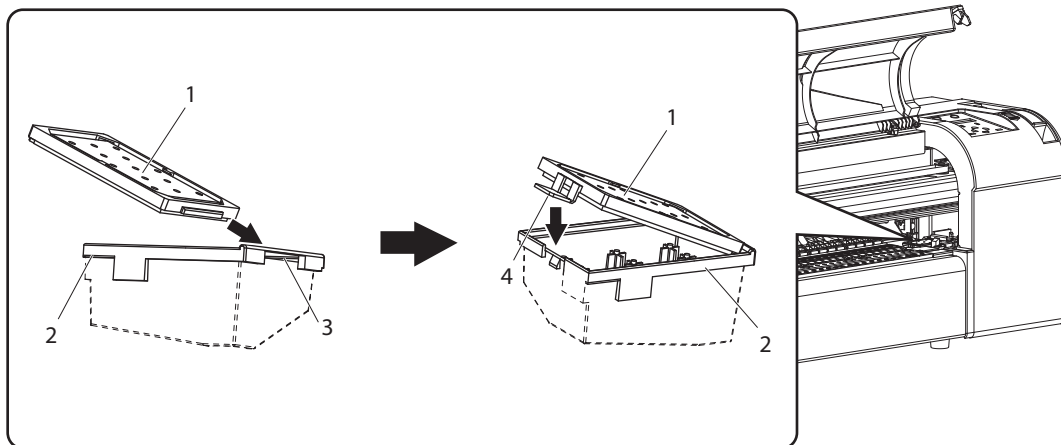
注 記

- 使用済みのフラッシングボックス用吸収材は、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

8. 新しいフラッシングボックス用吸収材受けをフラッシングボックスに取付けます。
- フラッシングボックス用吸収材受けの先端を、フラッシングボックスの切り欠きに差し込んでから、つまみ側が「カチッ」と音がるまではめ込みます。

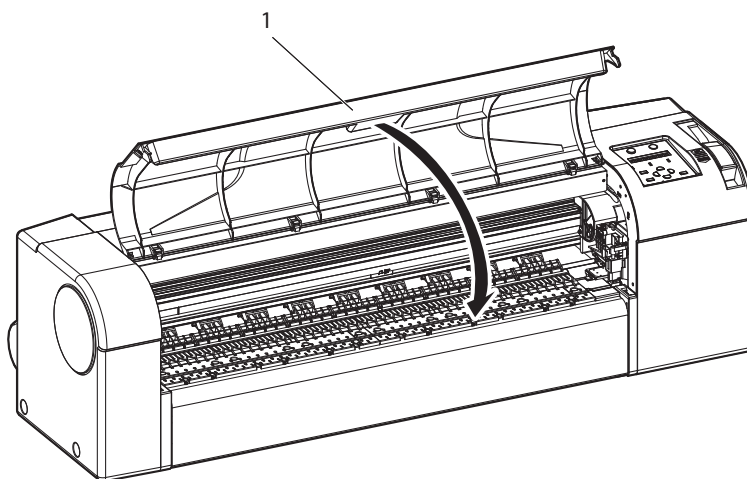
注 記

- フラッシングボックス用吸収材受けは、確実に取付けてください。確実に取付いていないと、プリンター動作時に干渉して、プリントヘッドを破損させる恐れがあります。



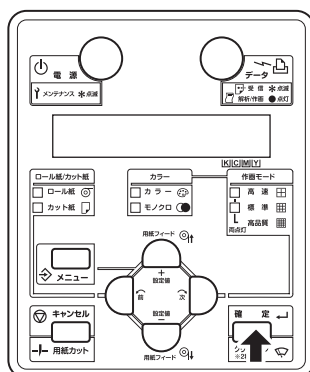
番号	名称
1	フラッシングボックス用吸収材受け
2	フラッシングボックス
3	フラッシングボックスの切り欠き
4	フラッシングボックス用吸収材受けのつまみ

9. フロントカバーを閉じます。



番号	名称
1	フロントカバー

10. 操作パネルの [確定] キーを押します。



- プリントヘッド部が元の位置に戻ります。
- フラッシングボックス用吸収材の交換を終了します。

5.2 清掃

本製品を常によい状態で使用できるように、定期的（1ヶ月毎）に清掃する必要があります。

警告

- 通風口などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差込んだり、落としたりしないでください。感電・火災の原因となります。
- 異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。感電・火災の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、「7.4.2 テクニカルサポート連絡窓口」までご連絡ください。

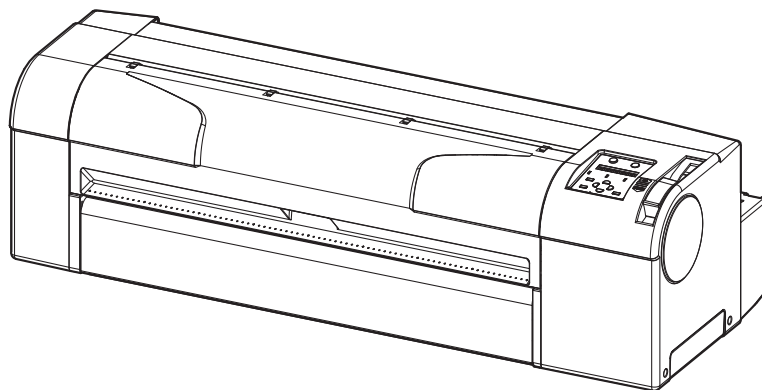
注意

- 清掃を行うときは、必ず電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。塗装を傷める原因となります。
- 製品内部に水気が入らないように注意してください。製品内部の電気回路がショートする恐れがあります。
- ネジで固定してあるカバー類は、絶対に開けないでください。感電または故障する恐れがあります。

製品の各清掃方法について説明します。

5.2.1 製品外装の清掃

製品外装の清掃手順について説明します。
製品外装に付着したホコリや汚れは、柔らかい布を使って拭き取ってください。

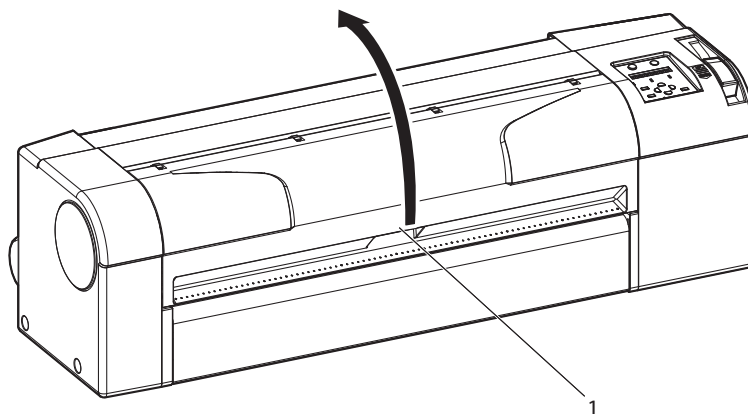


5.2.2 製品内部の清掃

製品内部の清掃手順について説明します。

以下の手順に従って、清掃してください。

1. フロントカバーを開けます。

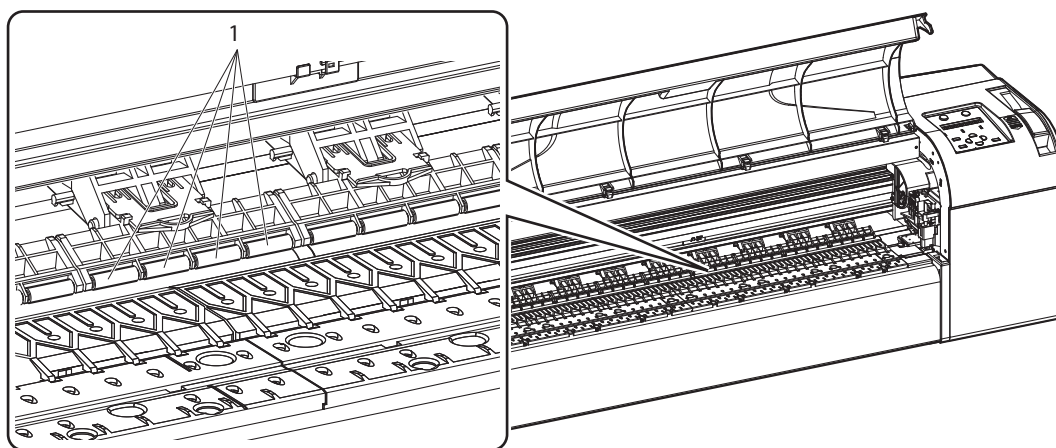


番号	名称
1	フロントカバー

2. 加圧ローラは、柔らかいブラシを使って、紙粉やホコリを払います。

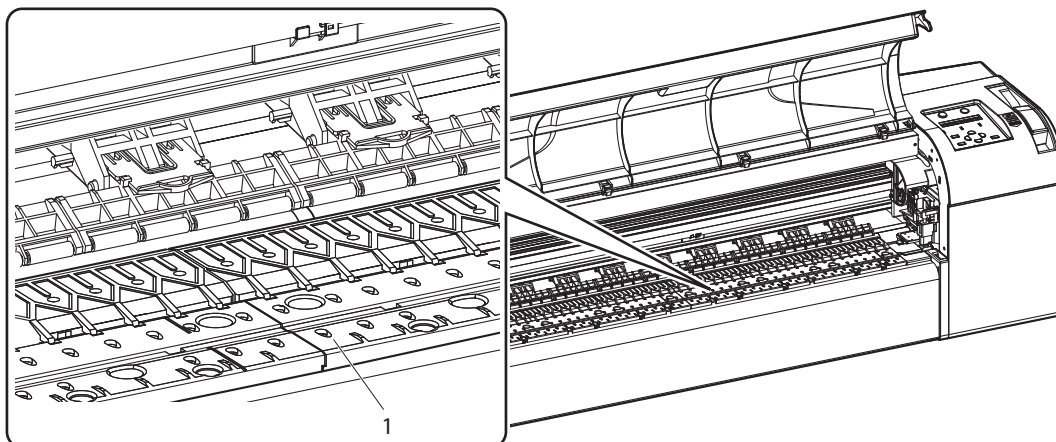
注 記

- 製品内部に付着した紙粉は、エアダスターなどで吹き飛ばさないでください。製品内部から異音が発生する場合があります。



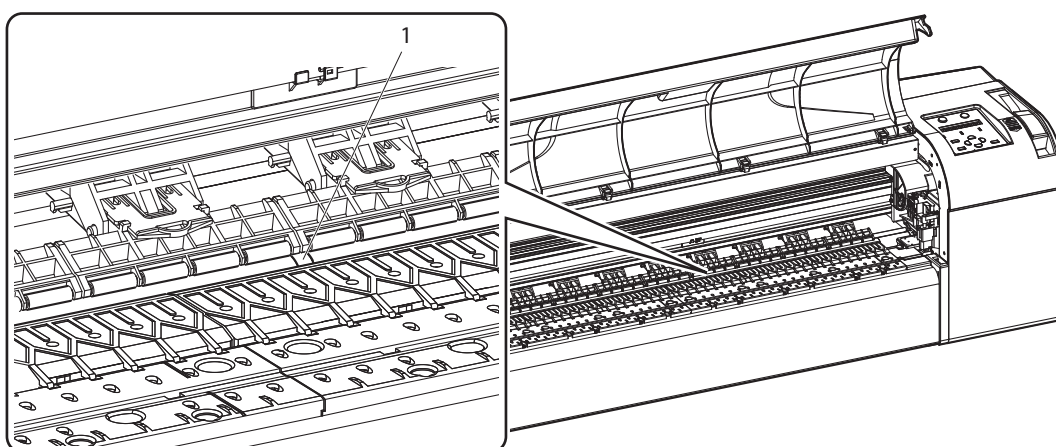
番号	名称
1	加圧ローラ

3. 作図板は、水分を含ませて良く絞った柔らかい布で、紙粉やインクなどの汚れを拭き取ります。



番号	名称
1	作図板

4. グリッドローラは、水分を含ませて良く絞った柔らかい布で、中央部の未塗装（銀色）部分の汚れを落とします。



番号	名称
1	グリッドローラ

5.2.3 ヘッドクリーニング

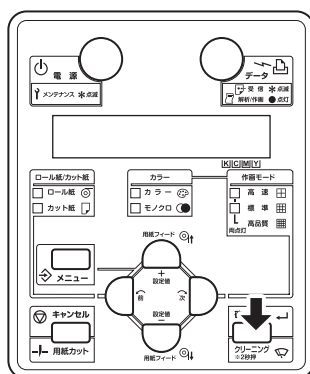
作画した画面がかすれたり、欠けたりするようになったら、ヘッド表面とノズルの清掃（ヘッドクリーニング）を行います。

以下の手順に従って、ヘッドクリーニングを行ってください。

注 記

- ヘッドクリーニング時には、用紙を取外してください。
用紙をセットしたままクリーニングを行うと、ヘッドと用紙が接触する可能性があります。

1. 用紙セットレバーが手前側に戻っていることを確認します。
2. 操作パネルが通常状態であることを確認します。
3. 操作パネルの [クリーニング] キーを 2 秒以上押し続けます。



- 操作パネルに「クリーニング`チュウ`ノコリ**フン」と表示されます。
- ヘッドクリーニングを開始します。

注 記

- 1 回目のヘッドクリーニング動作後、作画枚数が 1 枚以内に再度 [クリーニング] キーを押すと、強力クリーニングを行います。1 回のヘッドクリーニングで作画のかすれ・欠けがなくならなかった場合には、強力クリーニングを行ってください。
- 強力クリーニングを数回繰り返してもノズル抜けが直らない場合は、クリーニングワイパーの清掃を行ってください。
- どうしてもノズル抜けが直らない場合は、微量充てんを行ってください。

5.2.4 クリーニングワイパの清掃

クリーニングワイパの清掃について説明します。

(1) 清掃時期

週に1回、またはヘッドクリーニングを行っても作画のかすれ・欠けがなくなる場合

(2) 清掃手順

以下の手順に従って、クリーニングワイパの清掃を行ってください。

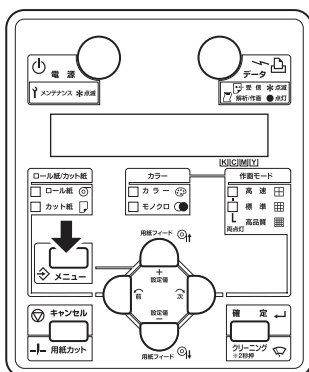
注 記

- クリーニングワイパの清掃には、ポリニットワイパを使用します。
ポリニットワイパについては、「[7.3.2 サプライ用品](#)」を参照してください。
- クリーニングワイパの清掃には、不織布（一般市販品）を使用します。
他の素材の布を使用すると、プリントヘッドが目詰まりする原因になりますので、必ず不織布をご使用ください。

1. 製品の電源が ON になっていることを確認します。

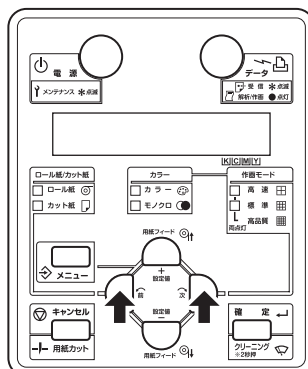
☞ [3.2.1 電源を ON する方法](#)

2. 操作パネルの [メニュー] キーを押します。



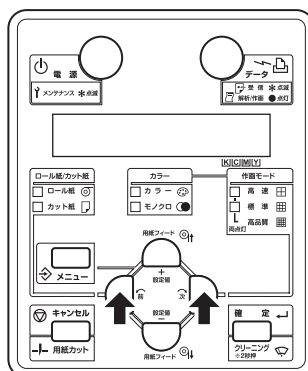
- 設定メニュー表示状態に入ります

3. 操作パネルの [前] キーまたは [次] キーを押して「*メニュー* ユーティリティ>」を選択し、[確定] キーを押します。



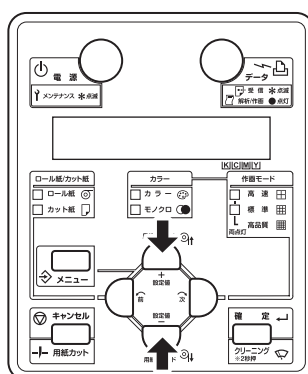
- ユーティリティメニューが表示されます。

4. 操作パネルの [前] キーまたは [次] キーを押して「ショウモウヒン コウカン」を選択します。



- 消耗品交換メニューが表示されます。

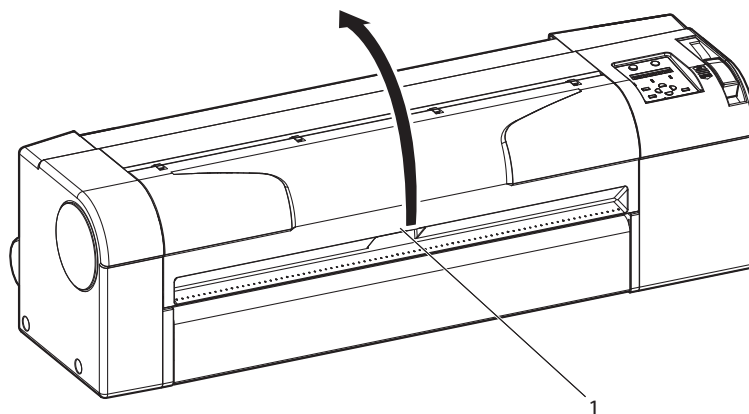
5. 操作パネルの [設定値+] キーまたは [設定値-] キーを押して「ショウモウヒン コウカン:スル」を選択し、[確定] キーを押します。



- 消耗品交換処理に入ります。

6. フロントカバーを開けます。

- 消耗品交換位置までプリントヘッド部が移動し、交換位置で停止します。
- 操作パネルに「ショウモウヒン コウカンゴ カクテイ」と表示されます。



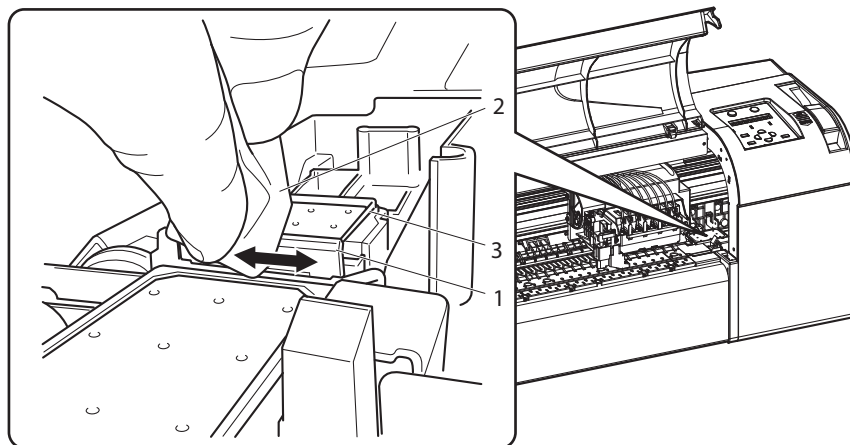
番号	名称
1	フロントカバー

注意

- クリーニングワイパ清掃時は、
 - クリーニングワイパおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。油脂が付着してヘッドクリーニングが正常に行えなくなる恐れがあります。
 - 必ずポリニットワイパ（不織布）を使用して、乾拭きで拭きとってください。ポリニットワイパ（不織布）に水などを付けると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。

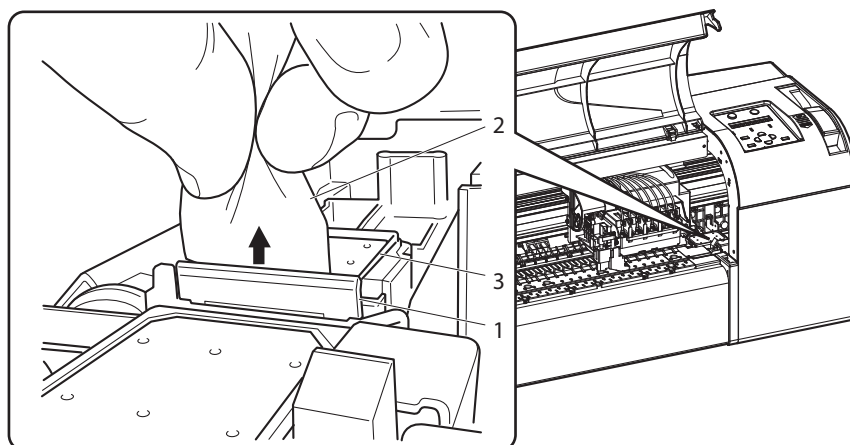
7. ポリニットワイパ（不織布）を使用して、クリーニングワイパに付着したインクやホコリを拭取ります。

- a. クリーニングワイパの表側：
左右方向に拭取ります。



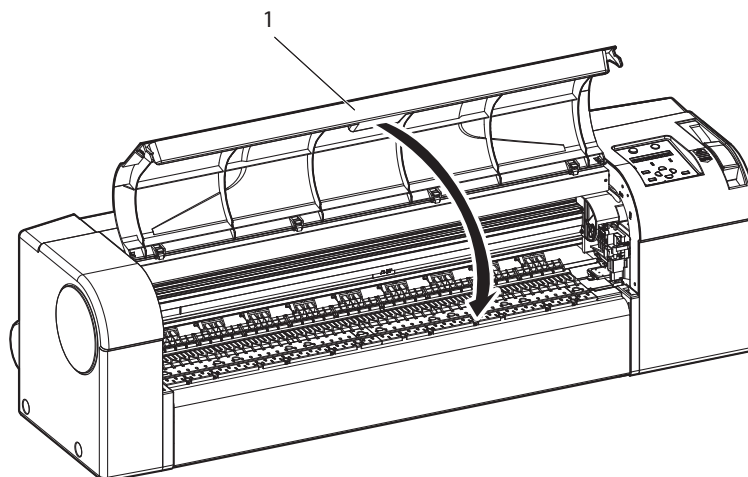
番号	名称
1	クリーニングワイパ
2	ポリニットワイパ（不織布）
3	ヘッドキャップユニット

- b. クリーニングワイパの裏側：
上方向に拭取ります。



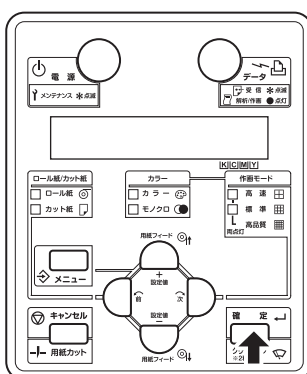
番号	名称
1	クリーニングワイパ
2	ポリニットワイパ（不織布）
3	ヘッドキャップユニット

8. フロントカバーを閉じます。



番号	名称
1	フロントカバー

9. 操作パネルの「確定」キーを押します。



- プリントヘッド部が元の位置に戻ります。
- クリーニングワイパの清掃を終了します。

5.3 輸送・移動

本製品の輸送、移動方法について説明します。

5.3.1 移動の方法

本製品の移動方法について説明します。

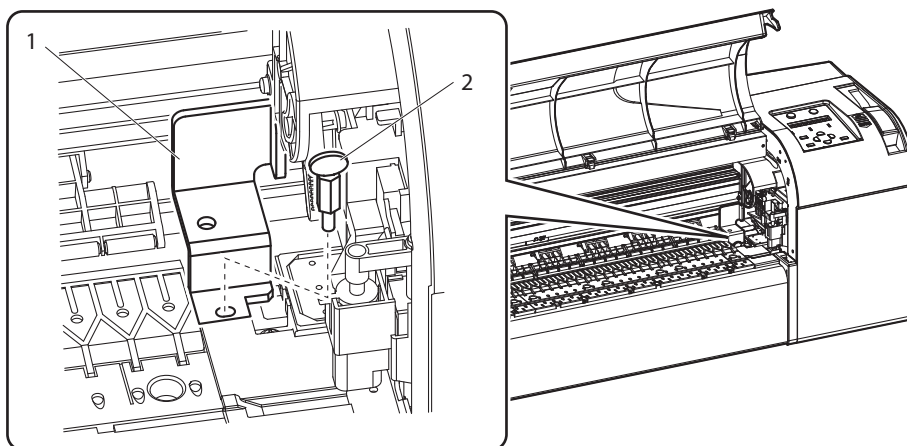
注意

- 製品は水平の状態を保ったまま移動させてください。
- 製品本体を傾けたり、立てかけたり、上下を逆にしないでください。製品内部のインクが漏れる恐れがあります。また移動後の正常動作が保証できません。

(1) 移動前の手順

専用スタンドを使用する場合は、以下の手順に従って本製品を移動してください。

1. 製品の電源が OFF になっていることを確認します。
[図 3.2.2 電源を OFF する方法](#)
2. 専用スタンドと製品を固定している蝶ボルト（2 本）に緩みがないか確認します。
3. キャリッジ部が右端の位置にあることを確認します。
4. ヘッドユニット固定用保護材（金属板）を取付け、蝶ネジで固定します。




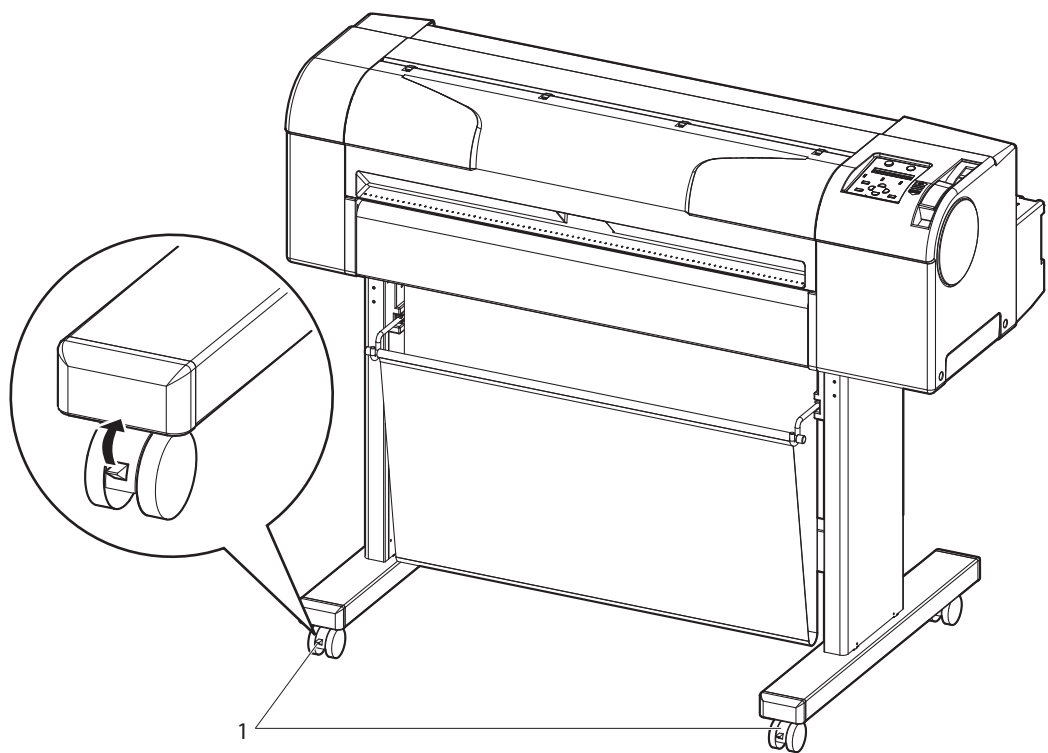
番号	名称
1	ヘッドユニット固定用保護材（金属板）
2	蝶ネジ

5. スクローラを取外します。
6. 電源ケーブル等のケーブル類を全て取外します。

7. キャスタのロックを解除して移動します。

注 記

- 専用スタンドに付属のキャスタは、運搬機器のキャスタとは異なり、屋内の平坦な場所において多少の移動を行う場合のみを想定して作られています。屋外や、大きな段差等のある場所等を移動する場合は、専用スタンドと本製品を分離して移動してください。
 設置要領書



番号	名称
1	キャスタ

(2) 移動後の手順

移動後は以下の手順に従って、本製品を使用可能な状態にしてください。

1. 設置に適した場所を確認します。
I 3.1 設置要領書
2. 設置場所に移動後、製品を固定します。
3. 専用スタンドを使用する場合は、専用スタンドと製品を固定している蝶ボルト（2本）に緩みがないか確認します。
4. 電源ケーブル等のケーブル類を取付けます。
I 3.1 電源ケーブルの接続
I 3.6 コンピュータとの接続
5. ノズルチェックを行い、プリントヘッドに目詰まり等がないか確認します。
I 3.5.2 ノズルチェック
6. 画質微調整を行います。
I 4.5.1.2.4 画質微調整

5.3.2 輸送の方法

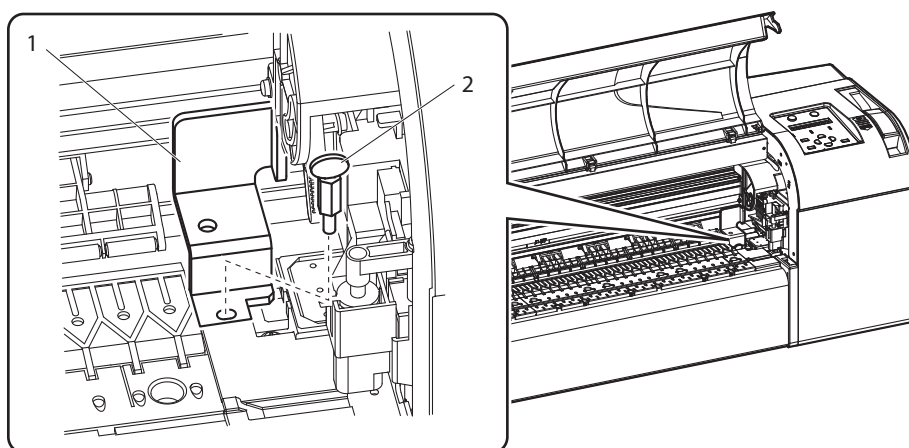
本製品を輸送する場合は、振動や衝撃から製品本体を守るために、保護材や梱包材を使用して購入時と同じ状態に梱包する必要があります。

注 記

- 本製品を輸送する場合は、お買い上げの MUTOH 製品販売店にご相談ください。

(1) 輸送前の手順

1. 製品の電源を ON します。
 ④ 3.2.1 電源を ON する方法
2. 製品が通常状態であることを確認します。
3. インクカートリッジを全て取外します。
4. 製品の電源を OFF します。
 ④ 3.2.2 電源を OFF する方法
 - 操作パネルに「ユソウジ ユンビョウ チュウ」と表示され、製品はインク排出動作を開始します。
 - インク排出には約 2 分かかります。
5. インク排出が終了し、電源ランプが消灯したことを確認します。
6. スクローラを取外します。
7. 電源ケーブル等のケーブル類を全て取外します。
8. キャリッジ部が右端の位置にあることを確認します。
9. ヘッドユニット固定用保護材（金属板）を取付け、蝶ネジで固定します。



番号	名称
1	ヘッドユニット固定用保護材（金属板）
2	蝶ネジ

10. スタンドから製品を取外します。

☞ 設置要領書

11. 製品を再梱包します。

(2) 輸送後の手順

1. 製品の開梱・組立・設置を行います。

☞ 設置要領書

2. 製品を使用可能な状態にします。

☞ [5.3.1 移動の方法](#)の(2) 移動後の手順

6 トラブルシューティング

この章では、本製品を使用中に起きることが予想されるトラブル事例と、対処方法について説明します。

この章の内容のどの項目にも当てはまらないエラーが発生する場合は、「[7.4.2 テクニカルサポート連絡窓口](#)」までご連絡ください。

6.1 製品の異常・故障

ここでは、エラー表示しない製品の異常および故障とその時に考えられる要因とその対策について説明します。

6.1.1 設置・導入時のトラブル

(1) インクの初期充電ができない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	フロントカバーが開いていたり、用紙セットレバーが上がっていませんか？	フロントカバーを閉じ、用紙セットレバーを下げてください。	☞ 3.4 用紙の取付け
2	インクカートリッジは全て奥まで確実に差込んでいますか？	インクカートリッジを全て確実に差込んでください。	☞ 3.3 インクカートリッジの取付け
3	廃液ボックスは奥まで確実に差込まれていますか？	廃液ボックスを確実に差込んでください。	☞ 5.1.4 廃液ボックスの交換



(2) 初期充電してもインクが出ない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	インクカートリッジは冷えて凍っていませんか？	最低でも常温で3時間以上放置した後、クリーニングを数回行ってください。	☞ 5.2.3 ヘッドクリーニング
2	初期充電中に電源を切りませんでしたか？	再度電源を入れ初期充電を継続してください。	☞ 3.3 インクカートリッジの取付け
3	初期充電後ごくまれに正常に印字できない場合があります。	数回クリーニングを行い、その都度確認してください。	☞ 5.2.3 ヘッドクリーニング

(3) USB ケーブルを接続しても反応がない

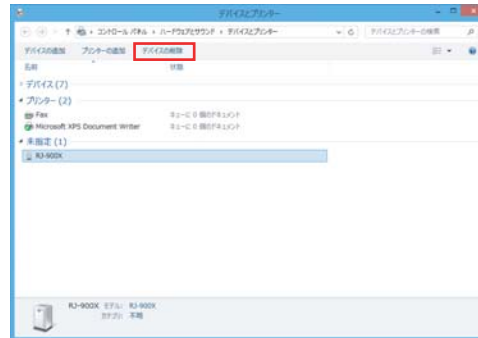
番号	考えられる要因	対策	参照
1	USB ケーブルはきちんと接続されていますか？	以下の手順で接続しなおしてください。 1. USB ケーブルを取外します。 2. プロッタの電源を OFF します。 3. プロッタの電源を ON します。 4. USB ケーブルを接続します。	☞ 3.7 プロッタドライバのインストール・アンインストール

(4) プロッタドライバをインストールできない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	プリンタの追加を行いましたか？	再度インストールしてください。	 3.7 プロッタドライバのインストール・アンインストール
2	ダウンロードした圧縮ファイルを指定して、“*.INF”が入っていましたか？	ドライバプログラムが入っているドライブ、フォルダの指定を正しく指定して再度インストールしてください。	 3.7 プロッタドライバのインストール・アンインストール

6.1.1.1 ドライバをインストールする前に USB 接続してしまったとき

1. 「コントロールパネル」の「デバイスとプリンターの表示」を表示します。
2. 未指定デバイスとして表示されている「RJ-900X」を選択し、「デバイスの削除」をクリックします。



3. プロッタの電源を OFF します。
4. USB ケーブルを取外します。
5. 「[3.7.3 プロッタドライバのインストール手順 \(USB 接続の場合\)](#)」の手順 3 からインストールを開始してください。

6.1.2 全く作画しない場合

(1) 電源投入後まったく動かない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	電源ケーブルはつながっていますか？	電源ケーブルをつないでください。	🔗 3.1 電源ケーブルの接続
2	AC 電源は規定の電圧になっていますか？	他のコンセントに接続してください。	🔗 3.1 電源ケーブルの接続
3	フロントカバーが開いていたり、用紙セットレバーが上がっていませんか？	フロントカバーを閉じてください。 用紙セットレバーを下げてください。	🔗 3.4 用紙の取付け
4	廃液ボックスは奥まで確実に差込まれていますか？	廃液ボックスを確実に差込んでください。	🔗 5.1.4 廃液ボックスの交換

(2) 用紙をセットしても動かない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	フロントカバーが開いていたり、用紙セットレバーが上がっていませんか？	フロントカバーを閉じてください。 用紙セットレバーを下げてください。	🔗 3.4 用紙の取付け
2	用紙を斜めにセットしていませんか？	用紙をまっすぐにセットしてください。	🔗 3.4 用紙の取付け
3	インクカートリッジは入っていますか？	インクカートリッジを挿入してください。	🔗 3.3 インクカートリッジの取付け
4	専用指定紙を使用していますか？	専用指定紙を使用してください。	🔗 4.2.1 用紙種類
5	プロッタを直射日光が当たるなど使用環境以外の場所で使用していませんか？	プロッタの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。	🔗 設置要領書

(3) コンピュータからデータを送るとプロッタ側でエラーがでて作画しない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	コンピュータ側の機種を選択は合っていますか？	コンピュータ側とプロッタ側の機種の設定が合っているか確認してください。	🔗 3.6 コンピュータとの接続 🔗 4.4 プロッタドライバの設定
2	コンピュータ側とプロッタ側のインターフェイス条件やコマンドモードは合っていますか？		

(4) LAN でオンラインできない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	ネットワーク・インターフェースケーブルはきちんと接続していますか？	ネットワーク・インターフェースケーブルをきちんと接続してください。	I 3.6.3 ネットワーク・インターフェースケーブルの接続
2	ネットワーク設定は正しく設定されていますか？	ネットワーク設定を正しく設定してください。	I 4.5.1.7 ネットワーク設定メニュー
3	プロッタのネットワーク設定をコンピュータ側の環境に合わせてください。	製品のネットワーク設定をコンピュータ側の環境に合わせてください。	I 3.6.1 システム条件の確認
4	コンピュータより作画データを送ると、操作パネルのデータランプは点灯しますか？	データランプが点灯しない場合は、コンピュータメーカーに連絡してください。	—

(5) USB でオンラインできない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	USB ケーブルはきちんと接続していますか？	USB ケーブルをきちんと接続してください。	I 3.6.4 USB ケーブルの接続
2	CAD から作画データを送ると、操作パネルのデータランプは点灯しますか？	データランプが点灯しない場合は、CAD メーカーかコンピュータメーカーに連絡してください。	—
3	現在セットアップしているコマンドの種類が、CAD やドライバ側と一致していますか？	製品のコマンド設定を CAD やドライバの環境に合わせてください。	I 4.5.1.2.4 画質微調整

6.1.3 用紙に関するトラブル

(1)用紙イニシャル中に用紙が外れる、破れる

注 記

- 詰まったり、破れたりした用紙は、「6.3 用紙が詰まった場合」に従って取除いてください。

番号	考えられる要因	対策	参照
1	専用指定紙を使用していますか？	専用指定紙を使用してください。	🔗 4.2.1 用紙種類
2	用紙をセットする位置は合っていますか？	用紙を正しくセットしてください。	🔗 3.4.2 ロール紙のセット方法 🔗 3.4.3 カット紙のセット方法
3	スクローラは正しくセットしていますか？	スクローラを正しくセットしてください。	🔗 3.4.1 ロール紙の取付け
4	加圧ローラに用紙の切れ端等の異物が付着していませんか？	加圧ローラを清掃してください。	🔗 5.2.2 製品内部の清掃
5	プロッタを直射日光が当たるなど使用環境以外の場所で使用していませんか？	プロッタの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。	🔗 設置要領書
6	セットした用紙はカット紙ですか？	用紙サイズの検出方法を「定型紙縦置き」または「定型紙横置き」に設定してください。	🔗 4.5.1.2 用紙設定メニュー
7	折り目、傷、破れ、および巻き癖のある用紙は使用していませんか？	用紙を交換してください。	🔗 4.2.2 用紙の取扱上の注意
8	用紙がカールしたり、浮いたりしていませんか？	専用指定紙を使用してください。 専用指定紙以外の用紙を使用する場合は、用紙設定メニューの次の項目を設定してください。 • 用紙種類 • 紙質	🔗 4.2.1 用紙種類 🔗 4.5.1.2 用紙設定メニュー

(2)用紙イニシャル中に用紙がシワになる

注 記

- 詰まったり、破れたりした用紙は、「6.3 用紙が詰まった場合」に従って取除いてください。

番号	考えられる要因	対策	参照
1	専用指定紙を使用していますか？	専用指定紙を使用してください。	☞ 4.2.1 用紙種類
2	用紙をセットする位置は合っていますか？	用紙を正しくセットしてください。	☞ 3.4.2 ロール紙のセット方法 ☞ 3.4.3 カット紙のセット方法
3	用紙を斜めにセットしていませんか？	用紙を真っ直ぐにセットしてください。	☞ 3.4.2 ロール紙のセット方法 ☞ 3.4.3 カット紙のセット方法
4	加圧ローラに用紙の切れ端等の異物が付着していませんか？	加圧ローラを清掃してください。	☞ 5.2.2 製品内部の清掃
5	プロッタにエアコンの風が当たるなど使用環境以外の場所で使用していませんか？	プロッタの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。	☞ 設置要領書
6	セットした用紙はカット紙ですか？	用紙サイズの検出方法を「定型紙縦置き」または「定型紙横置き」に設定してください。	☞ 4.5.1.2 用紙設定メニュー
7	折り目、傷、破れ、および巻き癖のある用紙は使用していませんか？	用紙を交換してください。	☞ 4.2.2 用紙の取扱上の注意

(3)用紙イニシャルで用紙サイズを間違えている

番号	考えられる要因	対策	参照
1	専用指定紙を使用していますか？	専用指定紙を使用してください。	☞ 4.2.1 用紙種類
2	用紙を斜めにセットしていませんか？	用紙を真っ直ぐにセットしてください。	☞ 3.4.3 カット紙のセット方法
3	用紙をセットしたとき、カール癖が上側になっていませんか？	用紙のカール癖を取除くか、新しい用紙をセットしなおしてください。	☞ 3.4.2 ロール紙のセット方法
4	プロッタにエアコンの風が当たるなど使用環境以外の場所で使用していませんか？	プロッタの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。	☞ 3.4.1 ロール紙の取付け
5	一度作画した用紙を再度使用していませんか？	新品の用紙を使用してください。	☞ 4.2.1 用紙種類

(4) トレーシングペーパーや薄い用紙の用紙検出ができない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	専用指定紙を使用していますか？	専用指定紙を使用してください。	📖 4.2.1 用紙種類
2	プロッタを直射日光が当たるなど使用環境以外の場所で使用していませんか？	プロッタの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。	📖 設置要領書

(5) 用紙詰まりが頻発する

注 記

- 専用指定紙以外の用紙では、正常な用紙送りに関して保証できません。

番号	考えられる要因	対策	参照
1	専用指定紙を使用していますか？	専用指定紙を使用してください。	📖 4.2.1 用紙種類
2	指定環境以外で使用していませんか？	指定環境内で使用してください。	📖 4.2.2 用紙の取扱上の注意
3	古い用紙を使用していませんか？	新しい用紙に交換してください。	📖 5.1.2 ロール紙の交換
4	用紙に折り目、シワ等がありませんか？		📖 3.4.3 カット紙のセット方法
5	用紙がカールしたり、浮いたりしていませんか？	専用指定紙を使用してください。 専用指定紙以外の用紙を使用する場合は、用紙設定メニューの次の項目を設定してください。 • 用紙種類 • 紙質	📖 4.2.1 用紙種類 📖 4.5.1.2 用紙設定メニュー

(6) 作画中に用紙が斜行する

番号	考えられる要因	対策	参照
1	専用指定紙を使用していますか？	専用指定紙を使用してください。	📖 4.2.1 用紙種類
2	用紙をセットする位置は合っていますか？	用紙を正しくセットしてください。	📖 3.4.2 ロール紙のセット方法 📖 3.4.3 カット紙のセット方法
3	スクローラは正しくセットしていますか？	スクローラを正しくセットしてください。	📖 3.4.1 ロール紙の取付け

(7) ロール紙がきれいにカットできない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	カッターの切れ味は良好ですか？	<ul style="list-style-type: none"> カッターを交換してください。 専用指定紙以外の用紙を使用する場合は、用紙設定メニューの次の項目を設定してください。 【図 4.5.1.2.1 用紙種類項目で専用指定紙に設定した場合】	【図 5.1.3 カッターの交換】
2	ロール紙に静電気は帯電していませんか？	帯電した静電気を除去してください。	—

6.1.4 作画に関するトラブル

(1) 部分的に作画が汚れたり、抜けたりする

注 記

- 専用指定紙以外の用紙では、適切な作画品質を得られない場合があります。

番号	考えられる要因	対策	参照
1	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙に交換してください。	【図 5.1.2 ロール紙の交換】 【図 3.4.3 カット紙のセット方法】
2	折り目、シワのある用紙を使用していませんか？		
3	用紙がカールしたり、浮いたりしていませんか？	専用指定紙を使用してください。 専用指定紙以外の用紙を使用する場合は、用紙設定メニューの次の項目を設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> 用紙種類 紙質 	【図 4.2.1 用紙種類】 【図 4.5.1.2 用紙設定メニュー】

(2) 作画はするが、描く位置がおかしい（描けないところがある）

番号	考えられる要因	対策	参照
1	用紙をセットする位置は合っていますか？	用紙を正しくセットしてください。	【図 3.4.2 ロール紙のセット方法】 【図 3.4.3 カット紙のセット方法】
2	スケールやミラーを設定していませんか？	スケールやミラーの設定を解除するか、または再設定してください。	【図 4.5.1.5 レイアウト設定メニュー】 【図 4.5.1.6 機能設定メニュー】
3	原点や書き出し位置は、設定していませんか？	原点や書き出し位置の設定を解除するか、または再設定してください。	【図 4.5.1.2.4 画質微調整】

(3) 作画した線がにじむ

番号	考えられる要因	対策	参照
1	専用指定紙を使用していますか？	専用指定紙を使用してください。	図 4.2.1 用紙種類
2	厚い用紙や薄い用紙を使用していないですか？	専用指定紙を使用してください。	図 4.2.1 用紙種類
3	普通紙を使用していないですか？	専用指定紙を使用してください。	図 4.2.1 用紙種類
4	用紙設定は正しいですか？	正しく用紙設定を行ってください。	図 4.5.1.2 用紙設定メニュー
5	用紙の印字面に作画していますか？	用紙の印字面を確認して正しくセットしてください。	図 3.4 用紙の取付け

(4) 作画に白スジや黒スジが出る

番号	考えられる要因	対策	参照
1	専用指定紙を使用していますか？	専用指定紙を使用してください。	図 4.2.1 用紙種類
2	スクローラは正しくセットしていますか？	スクローラを正しくセットしてください。	図 3.4.1 ロール紙の取付け
3	ノズルの状態は良好ですか？	ヘッドクリーニングを行ってください。	図 5.2.3 ヘッドクリーニング

(5) 作画した線が繋がらない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	インクカートリッジは有効期限内ですか？	新しいインクカートリッジを使用してください。	図 5.1.1 インクカートリッジの交換
2	専用指定紙を使用していますか？	専用指定紙を使用してください。	図 4.2.1 用紙種類
3	画質微調整を行ってみましたか？	画質微調整を行ってください。	図 4.5.1.2.4 画質微調整

(6) 作画線が二重になる、作画結果がかすれる

番号	考えられる要因	対策	参照
1	ノズルの状態は良好ですか？	ヘッドクリーニングを行ってください。	図 5.2.3 ヘッドクリーニング

6.2 表示の詳細

ここでは、本製品の正常動作時およびエラー発生時に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

6.2.1 動作状態表示

本製品が正常に動作している場合の表示内容について説明します。
 本製品が正常に動作している場合、操作パネルには以下の各動作状態が表示されます。

番号	考えられる要因	対策	参照
1	サクカ° デ° キマス	待機中（用紙はセットされています）。	—
2	ヨウシ ナシ	待機中（用紙はセットされていません）。	図3.4 用紙の取付け
3	デ° タシ° ユシンチュウ	データ受信中です。	—
4	デ° タカイセキチュウ	データ解析中です。	—
5	デ° タサクカ° チュウ	作画中です	—
6	クリーニング° チュウ ノコリ* *フン	ヘッドクリーニング中です。しばらくお待ちください。	図5.2.3 ヘッドクリーニング
7	インクシ° ユウテンチュウ ノコリ**フン	インク充てん中です。しばらくお待ちください。	図3.3 インクカートリッジの取付け
8	ユソウシ° ユンヒ° チュウ	輸送準備中です。しばらくお待ちください。	図5.3.2 輸送の方法
9	*****デ° ヨロシイテ° スカ°	用紙イニシャル中です。しばらくお待ちください。 （***は設定した用紙種類を表示します。）	図3.4.4 加圧アームの一部を機能解除する
10	ヨウシ イニシャル チュウ		
11	カバ° ーオープ° ン	フロントカバーが開いています。	図3.4 用紙の取付け
12	ヨウシヲセットシテクタ° サイ	用紙セットレバーが後側に倒されています。用紙をセットしてください。	図3.4 用紙の取付け
13	レイアウトタメコミチュウ	作画データを受信後、次のデータ受信を待機しています。 レイアウト機能が有効な場合に表示されます。	図4.5.1 設定メニューの項目

6.2.2 メッセージ型エラー表示と対処方法

本製品の動作中に、メッセージ型エラーが発生した場合の表示内容とその対策について説明します。

メッセージ型エラーは、本製品の動作中に何らかの障害が発生した場合に表示されます。メッセージ型エラーが発生した場合、本製品は操作パネルに以下のエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止する場合があります。動作が停止した場合、エラーの原因を取除くと、メッセージ型エラーは復旧し、本製品は動作を再開します。

番号	表示	内容	対策	参照
1	ヨウシニンシキエラー	用紙認識に失敗しました。 (動作を停止します)	用紙をセットし直してください。	☞ 3.4 用紙の取付け
2	ヨウシシャコウエラー	用紙が斜行しました。 (動作を停止します)	用紙をセットし直してください。	☞ 3.4 用紙の取付け
3	ヨウシカットエラー	用紙カットできませんでした。 (動作を停止します)	用紙をセットし直してください。	☞ 3.4 用紙の取付け
4	ロールシノコリリョウフソク	ロール紙が足りなくなりました。 (動作を停止します)	新しいロール紙をセットしてください。	☞ 5.1.2 ロール紙の交換
5	ロールシエント*	ロール紙がなくなりました。 (動作を停止します)	新しいロール紙をセットしてください。	☞ 5.1.2 ロール紙の交換
6	[***] インク スクナイ	インクの残量が少なくなりました。 (動作を継続します)	新しいインクカートリッジを用意してください。	☞ 5.1.1 インクカートリッジの交換
7	[***] インク ナシ	インクがなくなりました。 (動作を停止します)	新しいインクカートリッジに交換してください。	☞ 5.1.1 インクカートリッジの交換
8	[***] カートリッジ ナシ	カートリッジが装着されていません。 (動作を停止します)	インクカートリッジを取付けてください。	☞ 3.3 インクカートリッジの取付け
9	ミジ ユウテン	初期充てんされていません。 (動作を停止します)	インクの初期充てんを行ってください。	☞ 3.3 インクカートリッジの取付け
10	ケイコク ハイエキホックス マンタン	廃液ボックスが間もなく満タンになります。 (動作を継続します)	廃液ボックスを交換してください。	☞ 5.1.4 廃液ボックスの交換
11	ハイエキ ホックス マンタン	廃液ボックスが満タンになりました。 (動作を停止します)	廃液ボックスを交換してください。	☞ 5.1.4 廃液ボックスの交換
12	ハイエキ ホックス ナシ	廃液ボックスが取外されています。 (動作を停止します)	廃液ボックスを取付けてください。	☞ 5.1.4 廃液ボックスの交換

番号	表示	内容	対策	参照
13	ケイコク CR モータ シ ュミヨウ	CR モータの寿命が近づいています。 (動作を継続します)	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。	【 P.7.4 ユーザサポート 】
14	ケイコク ポ ンプ シ ュミヨウ	ポンプユニットの寿命が近づいています。 (動作を継続します)	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。	【 P.7.4 ユーザサポート 】
15	メモリフ ソク D I M M 2 5 6 M B	データの解析中・作画中にメモリが不足しました。	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。	【 P.7.4 ユーザサポート 】

注 記

- [***] は対象のインク色を表します。詳しくは「[2.2.6 インジケータ表示](#)」を参照してください。すべてのインク色が対象の場合は、メッセージにインク色は表示されません。
- インク無しとカートリッジ無しが同時に発生したときはカートリッジ無し表示を優先します。

6.2.3 データエラー表示と対処方法

本製品の動作中に、データエラーが発生した場合の表示内容とその対策について説明します。
 データエラーとは、コンピュータと本製品とのデータ通信上の障害が発生した場合に表示されます。
 データエラーが発生すると、本製品は操作パネルに以下のエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止します。
 エラーの原因を取除くと、データエラーは復旧し、本製品は作画動作を再開します。

番号	表示	内容	対策	参照
1	I **** エラー []	データ受信中にエラーが発生しました。	プロッタとコンピュータとの通信条件を確認してください。	【 P.4.5 操作パネルのメニュー設定 】

注 記

- エラーメッセージの「***」はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。

6.2.4 コマンドエラー表示と対処方法

本製品の動作中に、コマンドエラーが発生した場合の表示内容とその対策について説明します。

コマンドエラーとは、コンピュータから本製品に送信されたコマンドデータの解析中に、何らかの障害が発生した場合に表示されます。

コマンドエラーが発生した場合、本製品は操作パネルに以下のエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止します。

エラーの原因を取除くと、コマンドエラーは復旧し、本製品は作画動作を再開します。

番号	表示	内容	対策	参照
1	MH ** エラー []	コンピュータから不正なコマンドデータが送信されました。	コンピュータとプロッタのコマンド設定が合っているか確認してください。	【図 4.5 操作パネルのメニュー設定

注 記

- エラーメッセージの「***」はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。
- [] 内にはエラーの発生したコマンドコードが入ることがあります。
- コンピュータ側の設定は、お使いのコンピュータに付属の取扱説明書を参照してください。

6.2.5 再起動が必要なエラー

本製品の動作中に、再起動が必要なエラーが発生した場合の表示内容とその対策について説明します。

再起動が必要なエラーとは、本製品が動作する上で次のような致命的な障害が発生した場合に表示されます。

- 本製品の駆動の妨げとなる障害物が発生した場合
- 本製品の電気回路（基板、モータ、センサ等）が故障した場合
- 本製品の制御プログラム上の異常が発生した場合

再起動が必要なエラーが発生した場合、本製品は次の動作を行った後に動作停止します。

1. 駆動系の電源を自動的に遮断する。
2. 操作パネルのランプが全て点滅し、ブザーが断続的に鳴りつづける。
3. 操作パネルにエラーメッセージが表示される。

操作パネルのいずれかのキーを押すと、ブザー音は鳴り止みます。

再起動が必要なエラーは、エラーの原因を取除き、本製品を再起動すると復旧します。

もし同じエラーメッセージが再び表示された場合は、本製品を購入された MUTOH 製品販売店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。連絡の際には、必ずエラーメッセージのコード番号をお伝えください。

番号	表示	内容	対策	参照
1	E ***エラー ○○ ○○○○○○○ []	エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生しました。	1. 駆動系に紙くず、紙片等の障害物があれば、取除いてください。 2. 交換した部品が正しく取付けられているか確認してください。 3. プロッタの電源をオフにして、10 秒以上たってから再度電源をオンにしてください。	【図 6.3 用紙が詰まった場合】 【図 5.1 消耗品の交換】

注 記

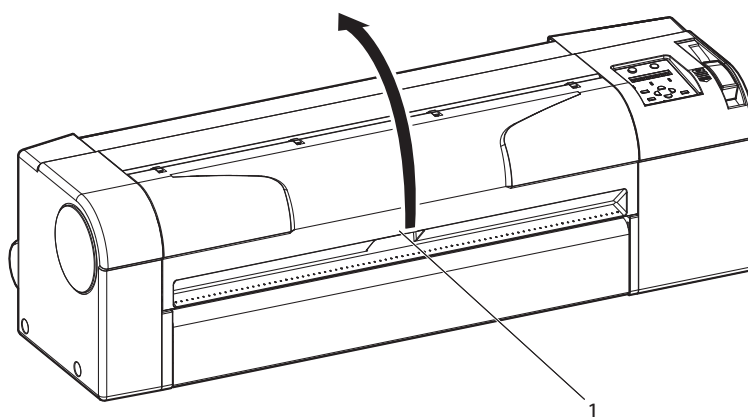
- エラーメッセージの「***」はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。
- [] 内にはエラーの発生したコマンドコードが入ることがあります。
- コンピュータ側の設定は、お使いのコンピュータに付属の取扱説明書を参照してください。

6.3 用紙が詰まった場合

セットした用紙が詰まった場合は、以下の手順に従って、用紙を取除いてください。

6.3.1 ロール紙の場合

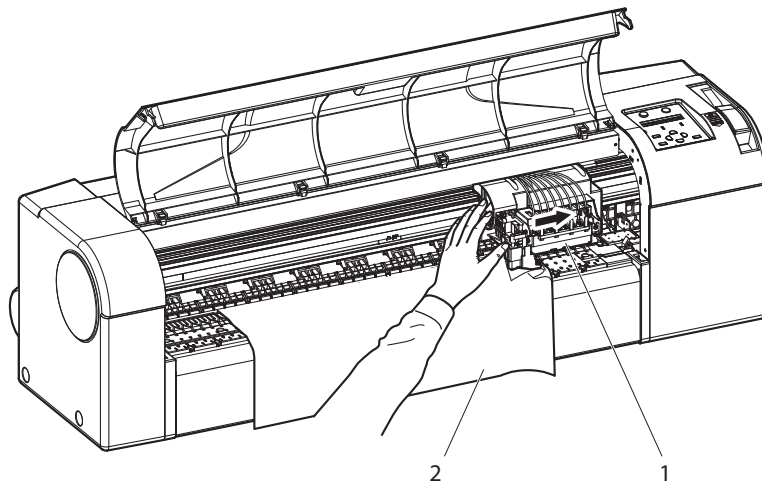
1. 製品の電源を OFF します。
☞ [3.2.2 電源を OFF する方法](#)
2. フロントカバーを開けます。



番号	名称
1	フロントカバー

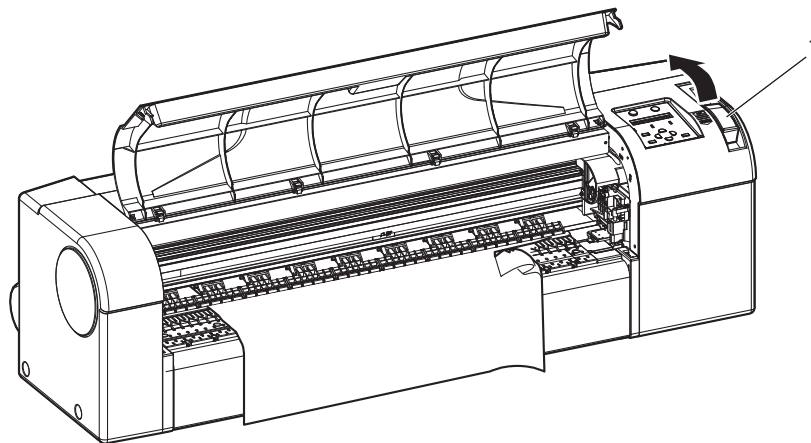
3. ヘッド高さを「High」に変更します。
☞ [4.2.5 ヘッド高さ調整](#)

4. キャリッジ部を用紙上から右へ移動させます。



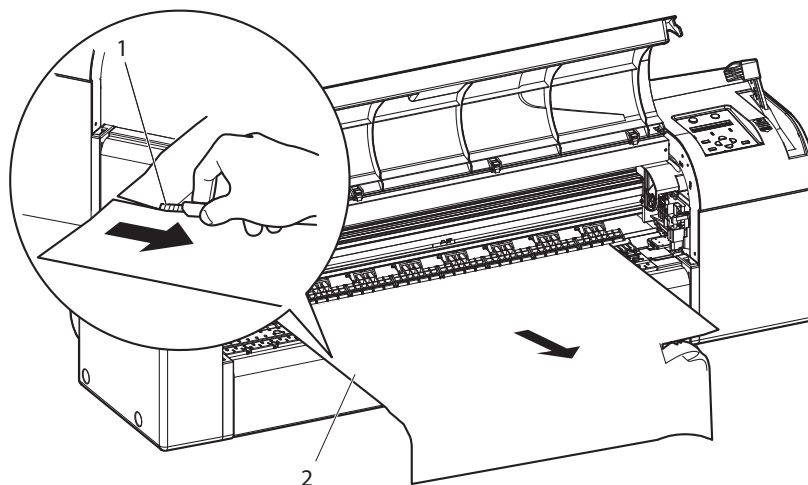
番号	名称
1	キャリッジ部
2	ロール紙

5. 用紙セットレバーを後ろに倒します。



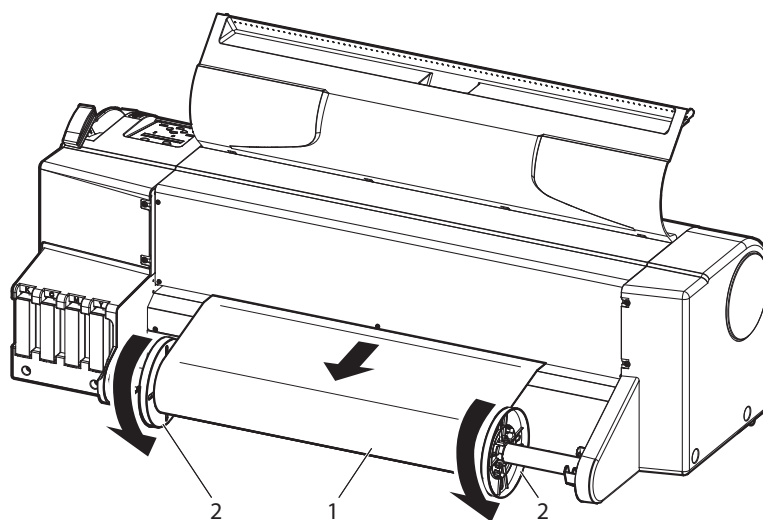
番号	名称
1	用紙セットレバー

6. 用紙を手前側に引出して、破れた部分をカッターナイフ等でカットします。



番号	名称
1	カッターナイフ
2	ロール紙

7. スクローラの両端を持って、ロール紙を手で巻き戻します。



番号	名称
1	ロール紙
2	スクローラ

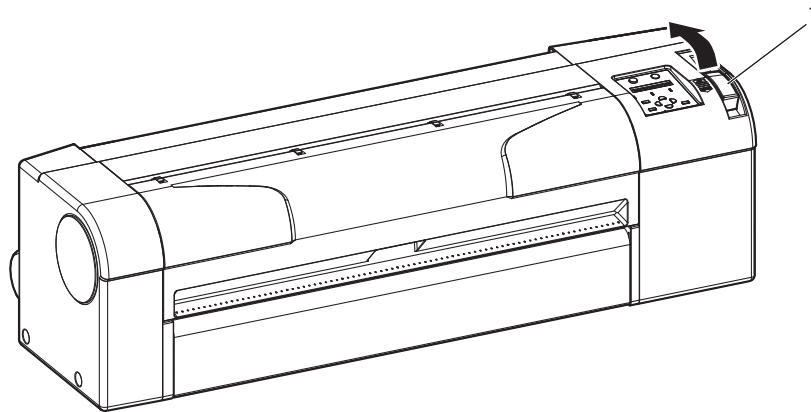
8. 製品内部に紙くず、紙片等が残っている場合は、破れた紙片を取除きます。

9. 製品の電源を ON します。

🔗 [3.2.1 電源を ON する方法](#)

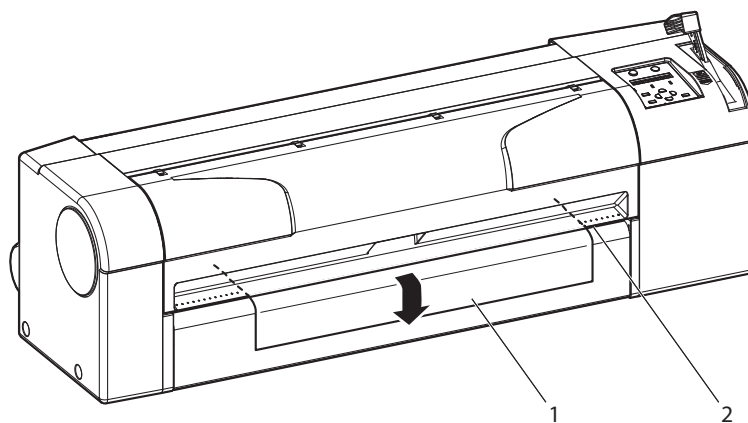
6.3.2 カット紙の場合

1. 製品の電源を OFF します。
▶ [3.2.2 電源を OFF する方法](#)
2. 用紙セットレバーを後に倒します。



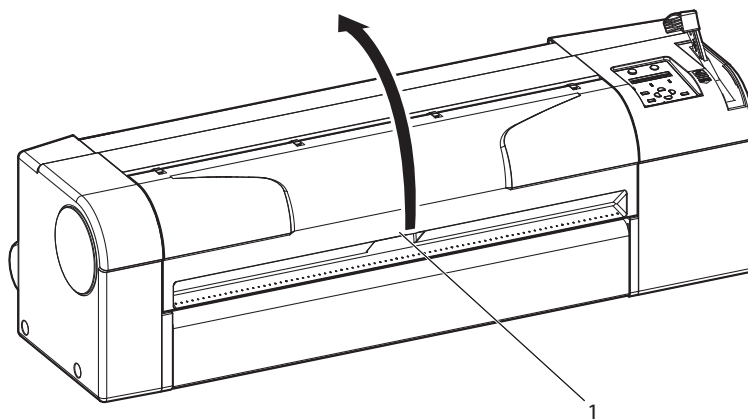
番号	名称
1	用紙セットレバー

3. カット紙を給紙スロットから取除きます。



番号	名称
1	カット紙
2	給紙スロット

4. 製品内部に紙くず、紙片等が残っている場合は、フロントカバーを開け、破れた紙片を取除きます。



番号	名称
1	フロントカバー

5. 製品の電源を ON します。
🔗 [3.2.1 電源を ON する方法](#)

7 付録

この章では、本製品の各仕様、オプション・サプライ用品、ユーザサポートについて説明します。

7.1 製品仕様

7.1.1 本体仕様

項目		仕様	
型式名称		RJ-901X	RJ-900X
作画方式		オンデマンドピエゾ駆動方式	
駆動方式		ファームウェアサーボ / DC モータ駆動	
用紙搬送方式		多点加圧グリッドローラ方式	
用紙固定方式		手動レバーによる加圧ローラダウン方式	
用紙給排紙	カット紙	前方給紙 / 前方排紙	
	ロール紙	後方給紙 / 前方排紙	
用紙種類		トレーシングペーパー、カラー普通紙、フィルム、コート紙、光沢紙	
ロール紙外径	2 インチ	100 mm 以下	150 mm 以下
	3 インチ	100 mm 以下	150 mm 以下
最大用紙長	カット紙	1,200 mm	1,600 mm
	ロール紙	50 m	
最大用紙幅		610 mm	1,080 mm
最大印字長	カット紙	1,180 mm	1,580 mm
	ロール紙	18 m	
最大印字幅		604 mm	1,074 mm
作画マージン	カット紙	前 : 3 mm、後 : 17 mm、左 : 3 mm、右 : 3 mm	
	ロール紙	前 : 3 mm、後 : 3 mm、左 : 3 mm、右 : 3 mm	
用紙カット方式		横切りオートカット方式	
ヘッド高さ調整		Low / High の 2 段階調整	
距離精度		移動距離の ± 0.25 mm または $\pm 0.1\%$ 以内 <ul style="list-style-type: none"> • 使用用紙 : マットフィルム 50 μm • 使用温度 : 20° C • 使用湿度 : 60% • 作画モード : 高品質 	
直角精度		移動距離 (500.0 mm) に対し ± 0.1 mm 以内 <ul style="list-style-type: none"> • 使用用紙 : マットフィルム 50 μm • 使用温度 : 20° C • 使用湿度 : 60% • 作画モード : 高品質 	
CPU		64Bit RISC CPU	
メモリ		256MB	
コマンド		MH-GL、MH-GL/2、MH-RTL (RTL-PASS)	
搭載フォント		ベクトルフォント (JIS 第 1 水準、第 2 水準 1990 年版準拠)	

項目		仕様	
インターフェース		<ul style="list-style-type: none"> • Ethernet (10BASE-T / 100BASE-TX) • USB (USB1.1 および USB2.0 対応) 	
インク	供給方式	独立カートリッジからのチューブ供給方式	
	カートリッジ	ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー：各色 110 ml ± 5 ml	
環境条件	動作環境	温度：10° C ～ 35° C 湿度：20% ～ 80%、結露なきこと	
	作画精度保証範囲	温度：15° C ～ 28° C 湿度：40% ～ 60%、結露なきこと	
	変化率	温度：1 時間あたり 2° C 以内 湿度：1 時間あたり 5% 以内	
	保存環境（インク未充てん時）	温度：-10° C ～ 60° C 湿度：5% ～ 85%、結露なきこと	
	保存環境（インク充てん時）	温度：-10° C ～ 40° C 湿度：20% ～ 85%、結露なきこと	
電源	電圧	AC 90V ～ 132V	
	周波数	50Hz / 60Hz ± 1Hz	
消費電力	作画時	100 W	
	省電力モード時	35 W 以下	
外径寸法	高さ	357 mm	983 mm（専用スタンド含む）
	幅	1,192 mm	1,172 mm
	奥行き	504 mm	
質量	本体	30.5 kg	45.0 kg
	専用スタンド	12.5 kg	16.5 kg

7.1.2 作画動作仕様

専用指定紙を使用する場合、作画画質に関する設定値は、用紙種類毎に設定されています。

7.1.2.1 作画動作仕様

(1) モノクロトレペ

設定項目	高速 カラー	高速 モノクロ	標準 カラー	標準 モノクロ	高品質 カラー	高品質 モノクロ
作画画質	—	図面	—	図面	—	図面
作画分解能 (dpi)	—	HS360	—	360	—	720
作画方向	—	双方向	—	双方向	—	片方向
インク量 (ブラック)	—	100%	—	100%	—	70%
インク乾燥時間	—	30 秒	—	30 秒	—	60 秒
紙質	—	弱い	—	弱い	—	弱い

(2) カラートレペ

設定項目	高速 カラー	高速 モノクロ	標準 カラー	標準 モノクロ	高品質 カラー	高品質 モノクロ
作画画質	図面	図面	図面	図面	図面	図面
作画分解能 (dpi)	360	360	720	720	1440	1440
作画方向	双方向	双方向	双方向	双方向	双方向	双方向
インク量 (ブラック)	100%	100%	70%	70%	60%	60%
インク量 (カラー)	70%	—	40%	—	40%	—
インク乾燥時間	60 秒	10 秒	120 秒	90 秒	60 秒	60 秒
紙質	通常	通常	通常	通常	通常	通常

(3) 普通紙

設定項目	高速 カラー	高速 モノクロ	標準 カラー	標準 モノクロ	高品質 カラー	高品質 モノクロ
作画画質	図面	図面	図面	図面	図面	図面
作画分解能 (dpi)	HS360	HS360	360	360	720	720
作画方向	双方向	双方向	双方向	双方向	片方向	片方向
インク量 (ブラック)	100%	100%	100%	100%	70%	70%
インク量 (カラー)	100%	—	60%	—	40%	—
インク乾燥時間	0 秒	0 秒	0 秒	0 秒	30 秒	30 秒
紙質	通常	通常	通常	通常	通常	通常

(4) フィルム

設定項目	高速 カラー	高速 モノクロ	標準 カラー	標準 モノクロ	高品質 カラー	高品質 モノクロ
作画画質	図面	図面	図面	図面	図面	図面
作画分解能 (dpi)	360	720	720	1440 位置指定	1440	1440
作画方向	双方向	双方向	双方向	双方向	双方向	双方向
インク量 (ブラック)	100%	100%	100%	40%	100%	100%
インク量 (カラー)	100%	—	50%	—	40%	—
インク乾燥時間	60 秒	60 秒	60 秒	90 秒	90 秒	90 秒
紙質	通常	通常	通常	通常	通常	通常

(5) コート紙

設定項目	高速 カラー	高速 モノクロ	標準 カラー	標準 モノクロ	高品質 カラー	高品質 モノクロ
作画画質	図面	図面	図面	図面	フォト	図面
作画分解能 (dpi)	360	360	720	720	1440	1440
作画方向	双方向	双方向	双方向	双方向	双方向	双方向
インク量 (ブラック)	100%	100%	70%	70%	90%	90%
インク量 (カラー)	100%	—	60%	—	60%	—
インク乾燥時間	0 秒	0 秒	0 秒	0 秒	0 秒	0 秒
紙質	通常	通常	通常	通常	通常	通常

(6) 光沢紙

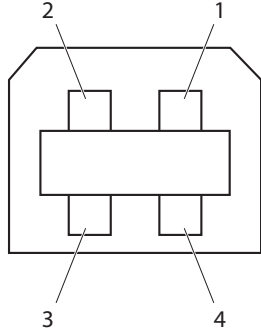
設定項目	高速 カラー	高速 モノクロ	標準 カラー	標準 モノクロ	高品質 カラー	高品質 モノクロ
作画画質	フォト	図面	フォト	図面	フォト	図面
作画分解能 (dpi)	720	720	1440	1440	2880 位置指定	2880 位置指定
作画方向	双方向	双方向	双方向	双方向	双方向	双方向
インク量 (ブラック)	85%	85%	75%	75%	90%	90%
インク量 (カラー)	55%	—	60%	—	50%	—
インク乾燥時間	0 秒	0 秒	0 秒	0 秒	0 秒	0 秒
紙質	通常	通常	通常	通常	通常	通常

7.2 インターフェース仕様

本製品でサポートしている各種インターフェースの仕様について説明します。

7.2.1 USB インターフェース仕様

(1) インターフェース仕様

項目	仕様
規格	Universal Serial Bus Specifications Revision 2.0 Universal Serial Bus Device Class Definition for Printing Devices Version 1.1
データフォーマット	NRZI
転送速度	480Mbps (High speed Device)
適合コネクタ	USB Series B
許容ケーブル長	3 m
コネクタピン番号 (プリンタ側)	

(2) USB インターフェースのピン番号と信号の対応表

ピン番号	信号名	入力/出力	機能
1	VCC	—	ケーブル電源
2	− Data	双方向	データ
3	+ Data	双方向	データ
4	Ground	—	ケーブルラウンド

7.2.2 ネットワーク・インターフェース仕様

項目	仕様
ネットワークタイプ	Ethernet IEEE802.3
ネットワーク I/F	10BASE-T / 100BASE-TX 自動切替え式 (RJ-45 コネクタ ツイストペアケーブル) MDI / MDI-X 自動切替え
対応プロトコル	TCP/IP (Port 9100、LPR、FTP) ?IPX/SPX、NETBEUI、AppleTalk 等は対応していません。

7.3 オプション・サプライ用品リスト

7.3.1 オプション

名称	型番	販売単位
スクローラ/フランジ径2インチ (RJ-901用)	RJ9-SR12	1箱 (1本入り)
スクローラ/フランジ径2インチ (RJ-900用)	RJ9-SR02	1箱 (1本入り)
フランジスペーサ/径3紙管用アタッチメント	RJ9-FS03	1箱 (2個入り)
用紙押さえ	RJ9-PH	1箱 (2個入り)
RJ-901専用スタンド	RJ901X-STD-B	1箱 (1セット入り)

参考

- スクローラ/フランジ径2インチには、可動用紙ストップおよびロール紙固定ベルトも同梱されています。

7.3.2 サプライ用品

(1) インクカートリッジ

名称	型番	販売単位
インクカートリッジ K (ブラック : 110 ml ±5 ml)	RJ9-INK BK	1箱 (1個入り)
インクカートリッジ C (シアン : 110 ml ±5 ml)	RJ9-INK C	1箱 (1個入り)
インクカートリッジ M (マゼンタ : 110 ml ±5 ml)	RJ9-INK M	1箱 (1個入り)
インクカートリッジ Y (イエロー : 110 ml ±5 ml)	RJ9-INK Y	1箱 (1個入り)

(2) ロール紙

名称	サイズ	型番	販売単位	用紙種類設定
モノクロトレッシング ペーパー (55 g/m ²)	841 mm × 50 m (RJ-900X用)	RJ8-MT-A0R	1箱 (2本入り)	モノクロトレペ
	594 mm × 50 m	RJ8-MT-A1R	1箱 (2本入り)	
	297 mm × 50 m	RJ8-MT-A3R	1箱 (2本入り)	
モノクロイレーザブル トレペ (75 g/m ²)	841 mm × 50 m (RJ-900X用)	RJ-75ET-A0R	1箱 (2本入り)	
	594 mm × 50 m	RJ-75ET-A1R	1箱 (2本入り)	


名称	サイズ	型番	販売単位	用紙種類設定	
両面マットフィルム 75(#300)	914 mm × 40 m (RJ-900X 用)	RJ-300F-914R	1 箱 (1 本入り)	フィルム	
	841 mm × 40 m (RJ-900X 用)	RJ-300F-A0R	1 箱 (1 本入り)		
	594 mm × 40 m	RJ-300F-A1R	1 箱 (1 本入り)		
片面マットフィルム 75(#300)	914 mm × 40 m (RJ-900X 用)	RJ-300FSS-914R	1 箱 (1 本入り)		
	841 mm × 40 m (RJ-900X 用)	RJ-300FSS-A0R	1 箱 (1 本入り)		
	594 mm × 40 m	RJ-300FSS-A1R	1 箱 (1 本入り)		
エコノミーコート紙 (90 g / m ²)	914 mm × 50 m (RJ-900X 用)	RJ-D90-914R	1 箱 (2 本入り)	コート紙	
	841 mm × 50 m (RJ-900X 用)	RJ-D90-A0R	1 箱 (2 本入り)		
	594 mm × 50 m	RJ-D90-A1R	1 箱 (2 本入り)		
FSC 認証 コート紙 (90 g / m ²)	914 mm × 45 m (RJ-900X 用)	RJ-FSC-MC90-914R	1 箱 (2 本入り)		
	841 mm × 45 m (RJ-900X 用)	RJ-FSC-MC90-A0R	1 箱 (2 本入り)		
	610 mm × 45 m (RJ-900X 用)	RJ-FSC-MC90-610R	1 箱 (2 本入り)		
	594 mm × 45 m	RJ-FSC-MC90-A1R	1 箱 (2 本入り)		
	297 mm × 45 m	RJ-FSC-MC90-A3R	1 箱 (2 本入り)		
FSC 認証 中厚コート紙 (117 g / m ²)	914 mm × 30 m (RJ-900X 用)	RJ-FSC-MC117-914R	1 箱 (2 本入り)		
	610 mm × 30 m (RJ-900X 用)	RJ-FSC-MC117-610R	1 箱 (2 本入り)		
FSC 認証 厚手コート紙 (143 g / m ²)	914 mm × 30 m (RJ-900X 用)	RJ-FSC-MC143-914R	1 箱 (2 本入り)		
	610 mm × 30 m (RJ-900X 用)	RJ-FSC-MC143-610R	1 箱 (2 本入り)		
モノクロ再生紙 (64 g / m ²)	841 mm × 45 m (RJ-900X 用)	RJ-64RP-A0R	1 箱 (2 本入り)		普通紙
	594 mm × 45 m	RJ-64RP-A1R	1 箱 (2 本入り)		
カラー普通紙 (64 g / m ²)	841 mm × 50 m (RJ-900X 用)	RJ8C-64P-A0R	1 箱 (2 本入り)		
	594 mm × 50 m	RJ8C-64P-A1R	1 箱 (2 本入り)		
モノクロ普通紙 (64 g / m ²)	841 mm × 50 m (RJ-900X 用)	MEL-64P-A0R	1 箱 (2 本入り)		
	594 mm × 50 m	MEL-64P-A1R	1 箱 (2 本入り)		

名称	サイズ	型番	販売単位	用紙種類設定
FSC 認証 極薄普通紙 (52 g / m ²)	594 mm × 50 m	RJ-52FSC-A1R	1 箱 (2 本入り)	普通紙
FSC 認証 普通紙 (64 g / m ²)	841 mm × 50 m (RJ-900X 用)	RJ-64FSC-A0R	1 箱 (2 本入り)	
	594 mm × 50 m	RJ-64FSC-A1R	1 箱 (2 本入り)	
FSC 認証 普通紙 (80 g / m ²)	841 mm × 50 m (RJ-900X 用)	RJ-FSC-CAD80-A0R	1 箱 (2 本入り)	
	594 mm × 50 m	RJ-FSC-CAD80-A1R	1 箱 (2 本入り)	
安価チェック紙 (64 g / m ²)	914 mm × 50 m (RJ-900X 用)	RJ-64-914R	1 箱 (2 本入り)	
	841 mm × 50 m (RJ-900X 用)	RJ-64-A0R	1 箱 (2 本入り)	
	594 mm × 50 m	RJ-64-A1R	1 箱 (2 本入り)	
チェック紙	914 mm × 50 m (RJ-900X 用)	RJ-64CP-914R	1 箱 (2 本入り)	
	841 mm × 50 m (RJ-900X 用)	RJ-64CP-A0R	1 箱 (2 本入り)	
	594 mm × 50 m	RJ-64CP-A1R	1 箱 (2 本入り)	
フォト光沢紙	610 mm × 30 m (RJ-900X 用)	RJ-PHOTO-610R	1 箱 (2 本入り)	光沢紙

(3) カット紙

名称	サイズ	型番	販売単位	用紙種類設定
モノクロトレーシング ペーパー (55 g/m ²)	841 mm × 594 mm	RJ8-MT-A1	1 冊 (100 枚入り)	モノクロトレペ
	594 mm × 420 mm	RJ8-MT-A2	1 冊 (100 枚入り)	
	420 mm × 297 mm	RJ8-MT-A3	1 冊 (100 枚入り)	
モノクロイレーザブル トレペ (75 g/m ²)	841 mm × 594 mm	RJ-75ET-A1	1 冊 (100 枚入り)	
	594 mm × 420 mm	RJ-75ET-A2	1 冊 (100 枚入り)	
モノクロ普通紙	841 mm × 594 mm	MEL-64P-A1	1 冊 (100 枚入り)	普通紙
	594 mm × 420 mm	MEL-64P-A2	1 冊 (100 枚入り)	
	420 mm × 297 mm	MEL-64P-A3	1 冊 (100 枚入り)	

注 記

- 用紙種類設定は実際に使用する用紙にあわせて正しくお使いください。適切な用紙設定でない場合、最良の結果が得られない場合がございます。
- チェック紙および再生紙は他の用紙と比較して、若干作画品質が劣ります。
- 上記記載の用紙の他に、様々な種類の用紙を取り揃えております。詳細は以下をご参照ください。
 - 弊社インターネットのホームページ (<http://www.mutoh.co.jp>)
 - サプライ品カタログ
 [7.4.1 製品に関するお問い合わせ窓口](#)

(4) その他サプライ用品

名称	型番	販売単位
カッター交換刃	RJ3-CBS	1 箱 (1 本入り)
ハイエキ BOX RJ9X-HEB	RJ9X-HEB	1 箱 (1 個入り)
ポリニットワイパ (クリーニングワイパ清掃用)	PJ-POLYNITW	1 箱 (300 枚入り)

7.4 ユーザサポート

7.4.1 製品に関するお問い合わせ窓口

MUTOH 製品やオプション（別売品）、サプライ用品に関するお問い合わせは、以下の武藤工業（株）の各営業所が承ります。

- 営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）
- 受付時間：午前 8:30～12:00、午後 0:45～5:15

MUTOH 製品、オプション（別売品）、サプライ用品のご注文に関しましては、最寄りの MUTOH 製品販売店、もしくは以下の武藤工業（株）の各営業所までご用命ください。

拠点名	住所	電話番号	FAX 番号
北海道営業所	〒 003-0004 北海道札幌市白石区東札幌 4 条 3-5-13 プラザエルム 1F 右	(011)820-2201	(011)820-2208
東北営業所	〒 983-0038 宮城県仙台市宮城野区新田 3-18-25	(022)283-6181	(022)283-6196
首都圏営業所	〒 154-8560 東京都世田谷区池尻 3-1-3	(03)6758-7002	(03)6758-7011
中部営業所	〒 461-0004 愛知県名古屋市中区葵 1-13-8 アーバンネット布池ビル 1F	(052)930-0610	(052)930-0611
関西営業所	〒 564-0051 大阪府吹田市豊津町 31-11	(06)6385-8622	(06)6385-8623
広島サービスステーション	〒 732-0016 広島県広島市東区戸坂出江 1-2-25 ロイヤルハイツシモダ 101 号室	(082)516-0370	(082)516-0371
九州営業所	〒 812-0892 福岡県福岡市博多区東那珂 2-4-9	(092)441-0316	(092)441-3980

7.4.2 テクニカルサポート連絡窓口

プロッタの運用で技術的にお困りのことがございましたら、本書巻末の「技術サポートお問い合わせシート」を用いて、以下の連絡先まで FAX にてご相談ください。

MUTOH カスタマーサポート

- 住所：〒 154-8560 東京都世田谷区池尻 3-1-3
- TEL：0120-174911
- FAX：0120-184711
- E-mail：gsup@mutoh.co.jp
- 営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）
- 受付時間：午前 9:00～12:00、午後 1:00～5:00

7.4.3 保守・修理に関するお問い合わせ窓口

保守および修理についてのお問い合わせは、最寄りの武藤工業（株）の各営業所が承ります。

- 営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）
- 受付時間：午前 8:30～12:00、午後 0:45～5:15

拠点名	住所	電話番号	FAX 番号
北海道営業所	〒 003-0004 北海道札幌市白石区東札幌 4 条 3-5-13 プラザエルム 1F 右	(011)820-2201	(011)820-2208
東北営業所	〒 983-0038 宮城県仙台市宮城野区新田 3 丁目 18-25	(022)283-6181	(022)283-6196
首都圏営業所	〒 154-8560 東京都世田谷区池尻 3-1-3	(03)6758-7003	(03)6758-7011
中部営業所	〒 461-0004 愛知県名古屋市東区葵 1-13-8 アーバンネット布池ビル 1F	(052)930-0613	(052)930-0614
関西営業所	〒 564-0051 大阪府吹田市豊津町 31-11	(06)6385-8605	(06)6385-8623
広島サービスステーション	〒 732-0016 広島県広島市東区戸坂出江 1-2-25 ロイヤルハイツシモダ 101 号室	(082)516-0370	(082)516-0371
九州営業所	〒 812-0892 福岡県福岡市博多区東那珂 2-4-9	(092)451-6318	(092)441-3980

設定メニュー構成図

設定メニュー構成図については、以下を参照してください。

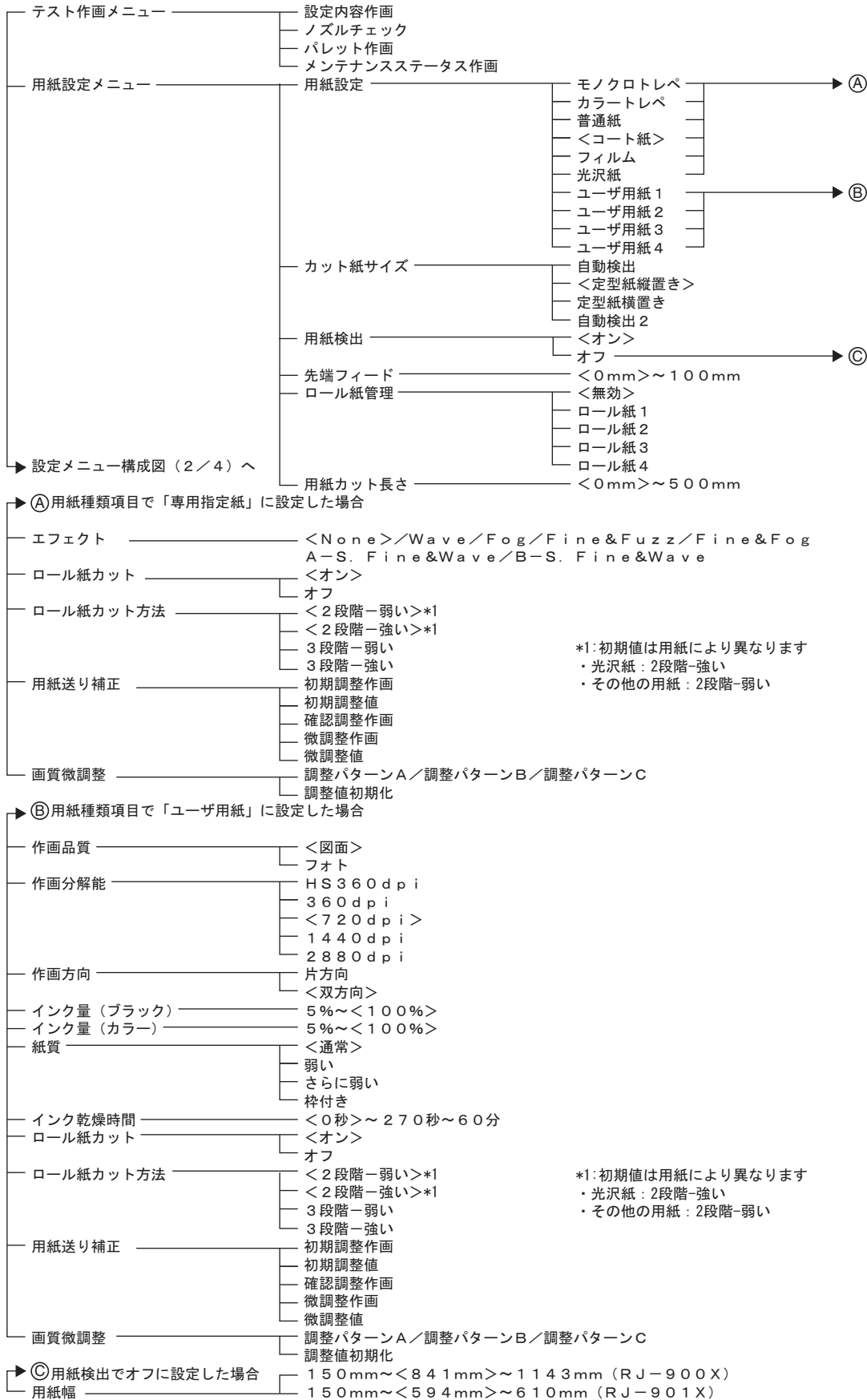
注 記

- 各設定項目の詳細については、以下を参照してください。

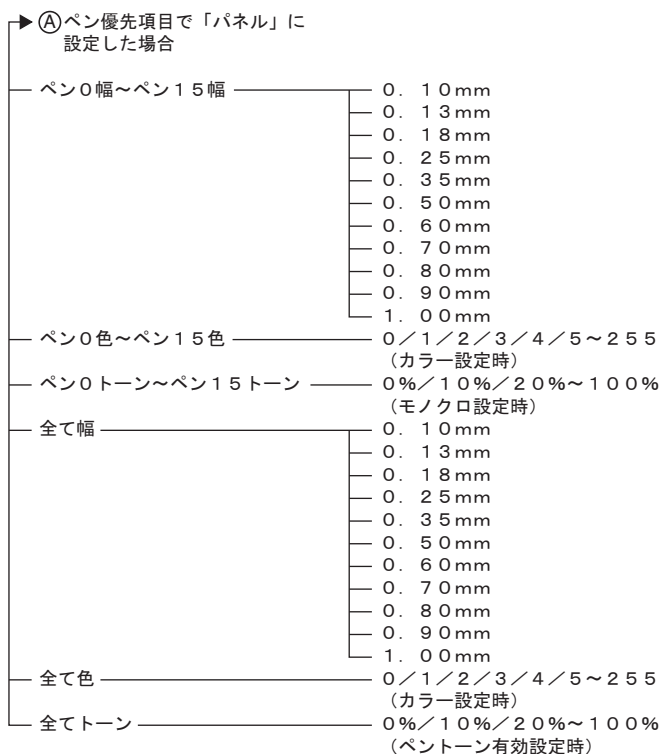
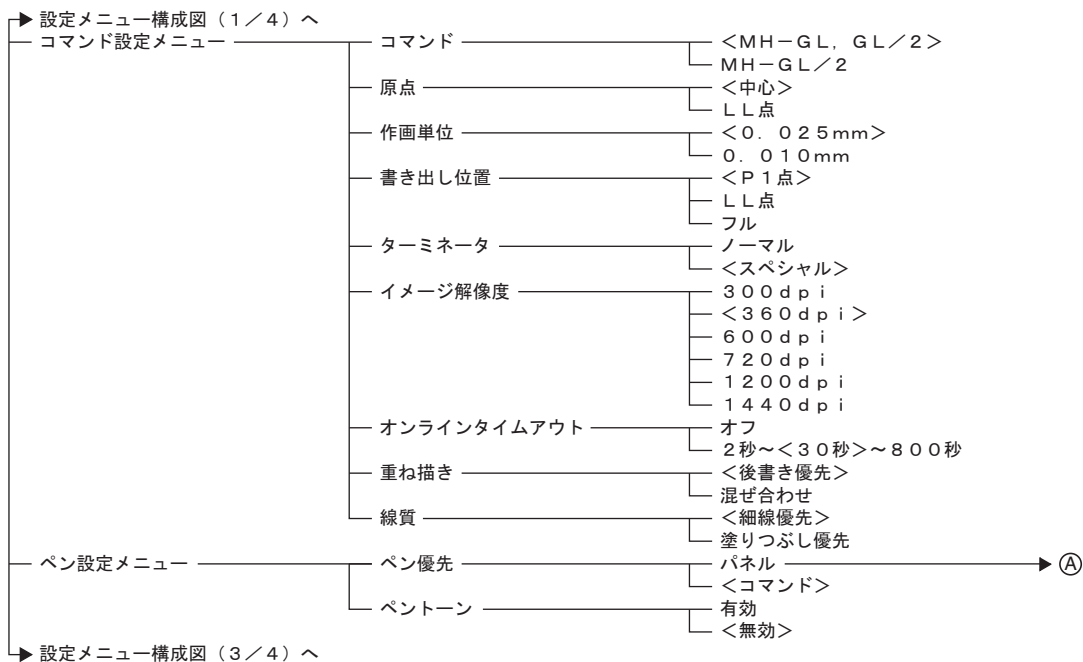
☞「[4.5.1 設定メニューの項目](#)」

- < > 部は、工場出荷時の設定値（初期値）です。
-

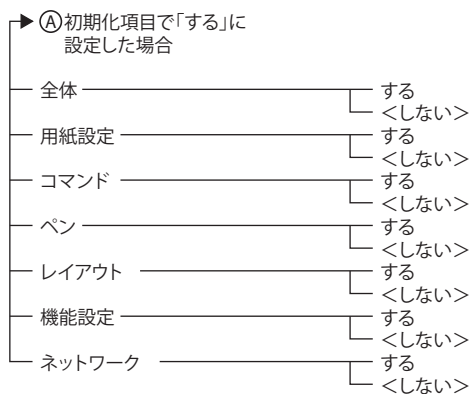
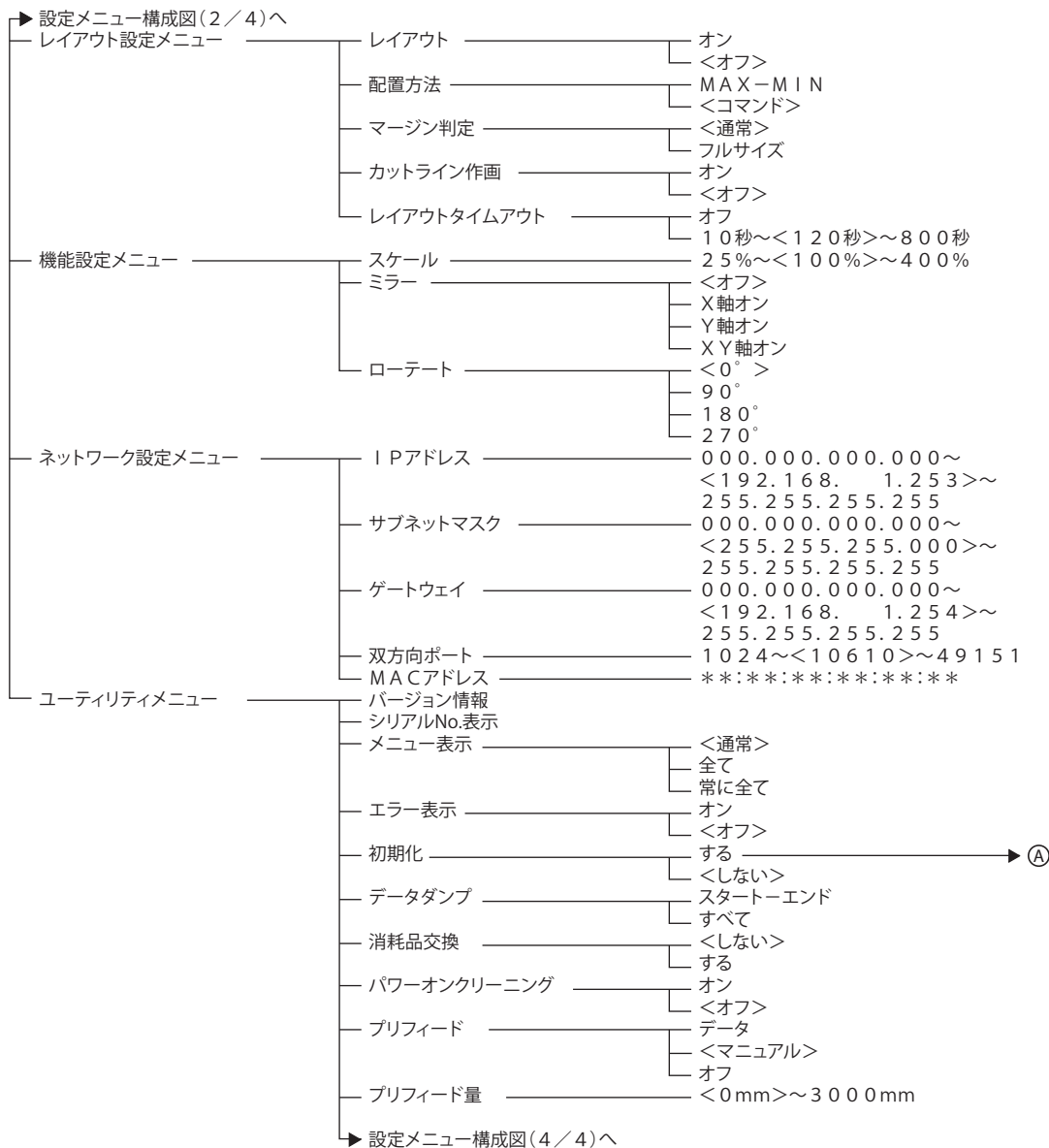
設定メニュー構成図 (RJ-901X、RJ-900X) (1/4)



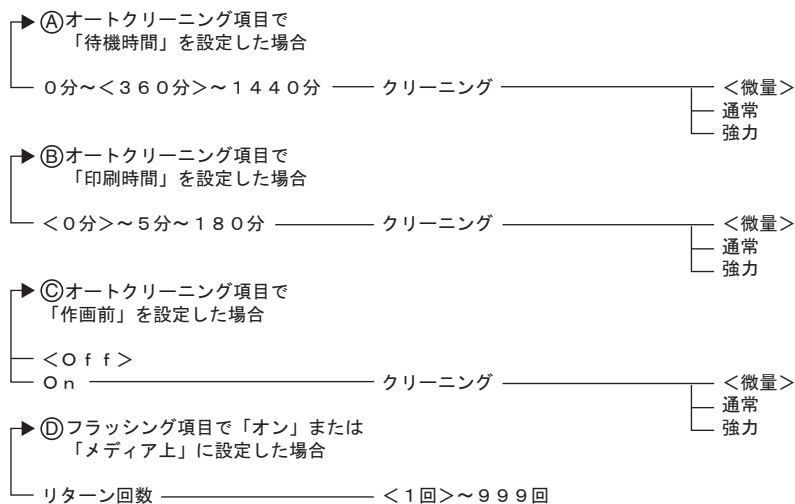
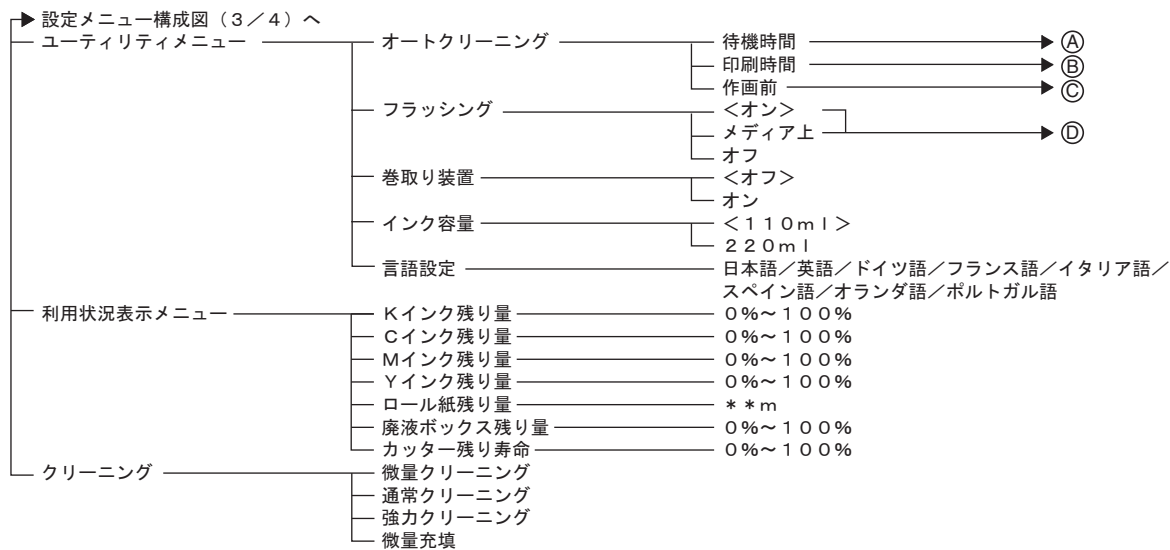
設定メニュー構成図 (RJ-901X、RJ-900X) (2/4)



設定メニュー構成図 (RJ-901X、RJ-900X) (3/4)



設定メニュー構成図 (RJ-901X、RJ-900X) (4/4)





技術サポートお問い合わせシート

プロッタの運用で技術的に困りのことがございましたら、この用紙をコピーして太枠内の必要事項をご記入の上、下記FAX番号にお送りください。担当者がFAXまたはお電話で回答いたします。

武藤工業株式会社		カスタマーサポート		FAX 0120-184711			
問い合わせ	年	月	日	回答	年	月	日
貴社名		TEL		FAX			
部署名							
御担当者		様					
お問い合わせ内容		お問い合わせ製品名: RJ-901X, RJ-900X					
(どの様な操作をしたら: どの様な現象が起きたか: プロッタのエラー表示は: 詳しく記入してください)							
回 答 欄		(カスタマーサポート担当者氏名:)					
(別紙回答: 有・無)							

武藤工業株式会社 国内営業部 カスタマーサポート
〒154-8560 東京都世田谷区池尻3-1-3
TEL : 0120-174911 FAX : 0120-184711

MUTOH

武藤工業株式会社

東京都世田谷区池尻3-1-3 〒154-8560 TEL(03)6758-7000(大代表)

- お問い合わせは
MUTOHホームページ (<http://www.mutoh.co.jp/>)
- ・製品案内 (<http://www.mutoh.co.jp/products/index.html>)
- ・製品サポート (<http://www.mutoh.co.jp/support/index.html>)